# 太宰府市の地域福祉に関する
# 市民アンケート
# 結果報告書

平成 28 年 10 月

太宰府市

# 目　次

**Ⅰ　住民意識調査の概要 ..... 1**
１．住民意識調査の目的 ..... 2
２．住民意識調査の方法と回収状況 ..... 2
３．報告書の見方 ..... 3
**Ⅱ　調査結果 ..... 5**
１．調査対象者について ..... 6
○　あなたの戸籍上の性別はどちらですか。 ..... 6
○　あなたの年齢は、何歳ですか。 ..... 6
○　あなたが住んでいる小学校区はどちらですか。 ..... 7
○　あなたの主な職業は何ですか。 ..... 7
○　あなたの家族構成はどのようになっていますか。 ..... 8
○　あなたが現在一緒に住んでいるご家族のなかに、つぎのような人はいますか。 ..... 8
○　あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。 ..... 9
２．「福祉」について ..... 10
問１　あなたは「福祉」に関心をお持ちですか。 ..... 10
問１－１　「福祉」のどのような分野にもっとも関心がありますか。 ..... 13
問２　これからの「福祉」のあり方は、どのようであるべきだと思いますか。 ..... 13
問３　あなたは、住民が福祉について理解を深めるためには、どのような機会が必要だと思いますか。 ..... 17
３．地域での生活について ..... 21
問４　あなたは、これからも現在住んでいるところに住み続けたいと思いますか。 ..... 21
問４－１　どのような点で住み続けたいと思いますか。 ..... 24
問４－２　どのような点で住み続けたくないと思いますか。 ..... 25
問５　あなたは、普段近所の人とどの程度のつきあいをされていますか。 ..... 26
問５－１　つきあいがほとんどないのはなぜですか。 ..... 29
問６　毎日の暮らしのなかでのあなたの困りごとはどのようなことですか。また、それについて支援は必要ですか。 ..... 30
問７　日々の暮らしのなかで困りごとを抱える人から助けを求められた時、あなた自身はどう対応したいと思いますか。 ..... 32
問７－１　そのように考えるのはどのような理由からですか。 ..... 35
問８　あなたやご家族に助けが必要になった時、地域の人たちにどのような支援をしてほしいと思いますか。 ..... 36
問９　地域での人と人とのかかわりについて、あなたのお考えに近いものをお選びください。 ..... 40
問 10　地震や台風などの災害時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。 ..... 43
問 11　あなたがお住まいの地域の出来事として、家族などによる虐待について耳にしたことがありますか。 ..... 47
問 12　あなたがお住まいの地域の出来事として、夫婦間の暴力について耳にしたことがありますか。 ..... 47
問 13　もしあなたの周囲で、虐待が発生しているとあなた自身が思われたら、最初にどのように対応しますか。 ..... 48

問 14 認知症と思われる人がまちのなかで戸惑っている様子を見かけた時、あなた自身はどのように対応したいと思いますか。 ..... 52
問 14-１ そのように考えるのはどのような理由からですか。 ..... 55
問 15 あなたの身近なところで、困っている人がいた場合、あなた自身はどのような支援ができると思いますか。 ..... 56
４．地域活動やボランティア活動について ..... 60
問 16 あなたは現在、自治会や子ども会、長寿クラブの活動など、地域活動をしていますか。 ..... 60
問 16-1 どんな活動をしていますか。（あてはまるものすべてに〇） ..... 63
問 16-2 どのような目的で活動していますか。（１つだけ〇） ..... 63
問 16-3 現在活動していない理由は何ですか。（１つだけ〇） ..... 64
問 17 あなたは、問 16 のような地域での活動以外に、個人的にボランティア活動に参加したことがありますか。 ..... 65
問 18 あなたは、今後、次のような福祉にかかわる地域活動やボランティア活動などに参加したいと思いますか。 ..... 69
問 18-1 参加したくないのはなぜですか。 ..... 73
問 19 今後、地域における支え合いや助け合いの活動を活発にしていくことが大切になってきます。そのためには、どのようなことが重要だと思いますか。 ..... 74
５．福祉サービスについて ..... 78
問 20 あなたは、現在、「福祉サービス」に関する情報について、誰から、どんな媒体から、どこの施設から入手していますか。 ..... 78
問 21 あなた自身やご家族が、生活上の困りごとを抱えた時、家族以外で、どこ（誰）に相談しますか。 ..... 90
問 22 福祉サービス利用者が、自分に最適な福祉サービスを選び、安心して利用するため、市役所ではどのようなことに取り組む必要があると思いますか。 ..... 94
問 23 住民が住み慣れた地域で、安心して暮らしていくためには、どのような福祉のあり方が大切だと思いますか。 ..... 98
問 24 私たち一人ひとりが安心して地域のなかで暮らしていくために、市民のひとりとして、あなたができることはどんなことがあると思いますか。 ..... 102
問 25 あなたは日ごろの生活のなかで、障がいのある人への配慮がなされている、または、なされていない（差別がある）と感じたことがありますか。 ..... 106
問 26 あなたは市内の公共施設（市役所など）が高齢者や障がいのある人などに配慮されていると思いますか。 ..... 110
問 27 あなたは市内の民間施設が高齢者や障がいのある人などに配慮されていると思いますか。 ..... 113
問 28 あなたはどのような方法で買い物を行っていますか。（〇は３つまで） ..... 116
問 29 あなたは問 28 で〇をつけた方法で買い物を行ったうえで、住んでいる場所が買い物に不便だと思いますか。 ..... 120
（附属資料）使用した調査票 ..... 125

# Ⅰ　住民意識調査の概要

# １．住民意識調査の目的

「地域福祉」とは、地域社会でともに暮らす人々が、障がいの有無や年齢に関係なく、互いに支え合い、助け合いながら、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような地域社会をみんなで築いていく取り組みのことです。人と人とのつながりを基本として、福祉サービスを必要とする人たちの社会参加を促す「ともに支え合う社会づくり」のために、地域福祉の推進が求められています。

法律においても、平成 12 年に「社会福祉事業法」から「社会福祉法」に改正された際に、地域社会のあり方として住民同士の互いの支え合い・助け合いによる支援と、公的な福祉サービスの充実を両輪とした「地域福祉の推進」の必要性が第４条に明記されました。

本調査は、「第三次太宰府市地域福祉計画」の策定にあたり、市内にお住まいの方々の福祉観、地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、市民の方々のご意見やご提言を広くお聞きし、同計画に反映していくことを目的に実施しました。

# ２．住民意識調査の方法と回収状況

- 調査地域　　：太宰府市全域
- 調査対象者　：太宰府市在住の 20 歳以上 1,000 名を無作為抽出
- 調査方法　　：郵送による配布・回収
- 調査期間　　：配布　平成 28 年７月 12 日（火）
  有効とした到着日　平成 28 年８月 19 日（金）まで

| 配布数（Ａ） | 回収票数（Ｂ） | 回収率 （Ｂ）／（Ａ） |
|---|---|---|
| 1,000 | 465 | 46.5% |

# ３．報告書の見方

●回答結果の割合「％」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第２位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から１つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0％にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

●複数回答（複数の選択肢から２つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0％を超える場合があります。

●図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

●図表中の「N」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

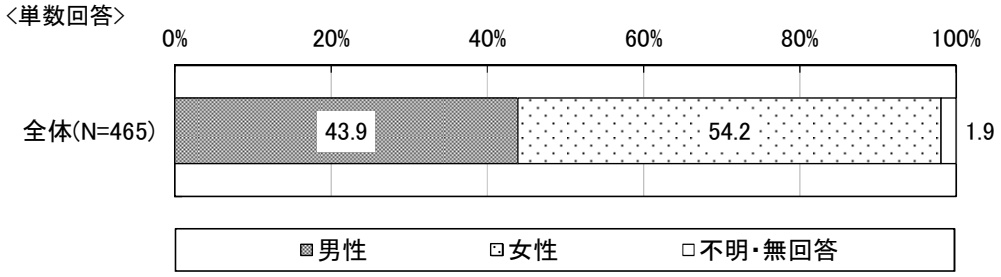
●本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

●その他回答などで、個人などが特定される可能性のある内容については、若干の修正をして掲載しています。

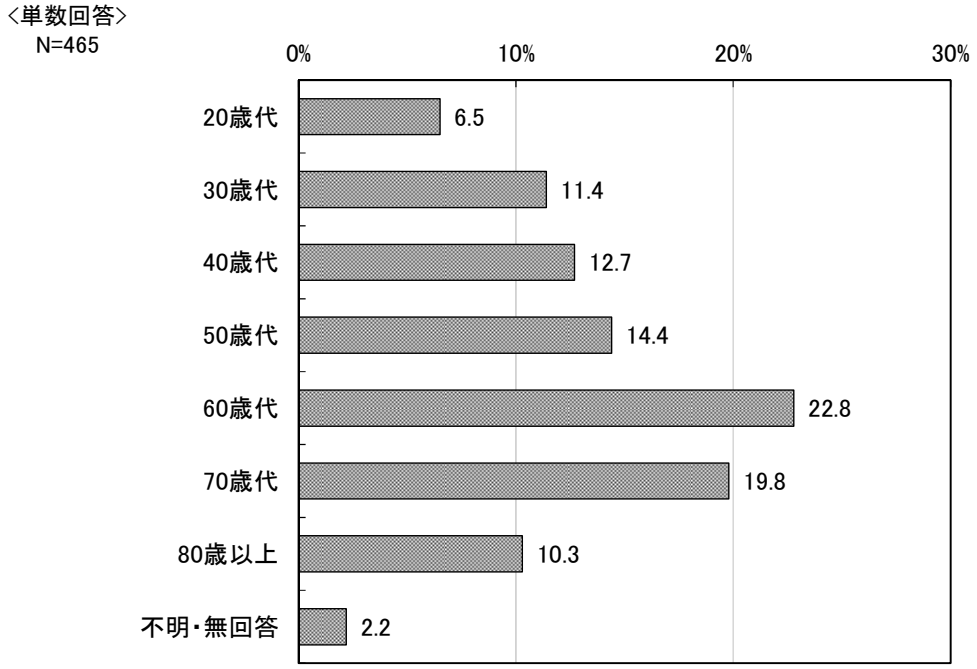
# II　調査結果

# １．調査対象者について

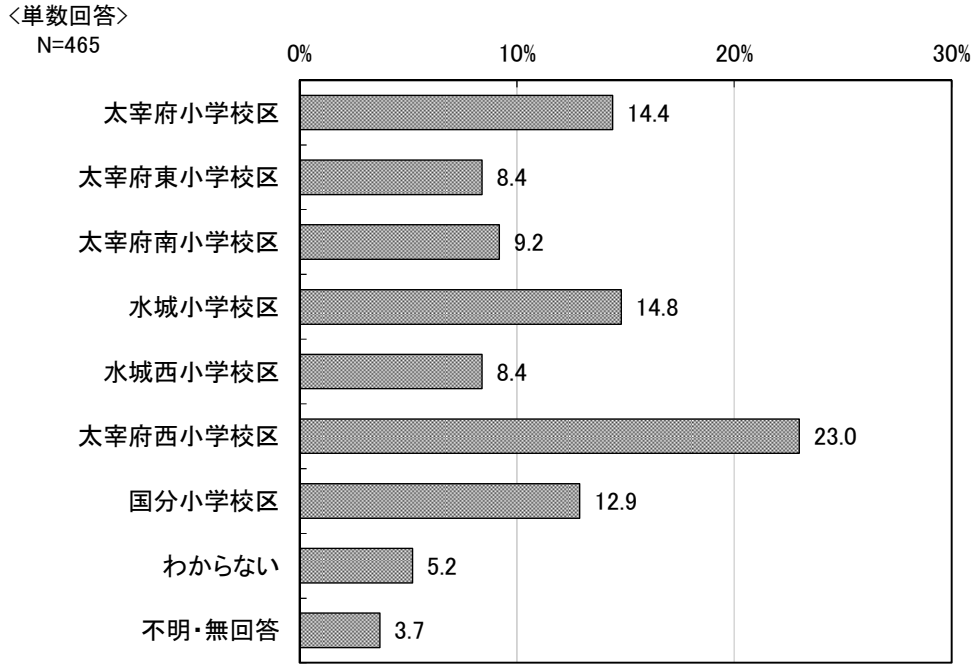
## ○　あなたの戸籍上の性別はどちらですか。（１つだけ○）



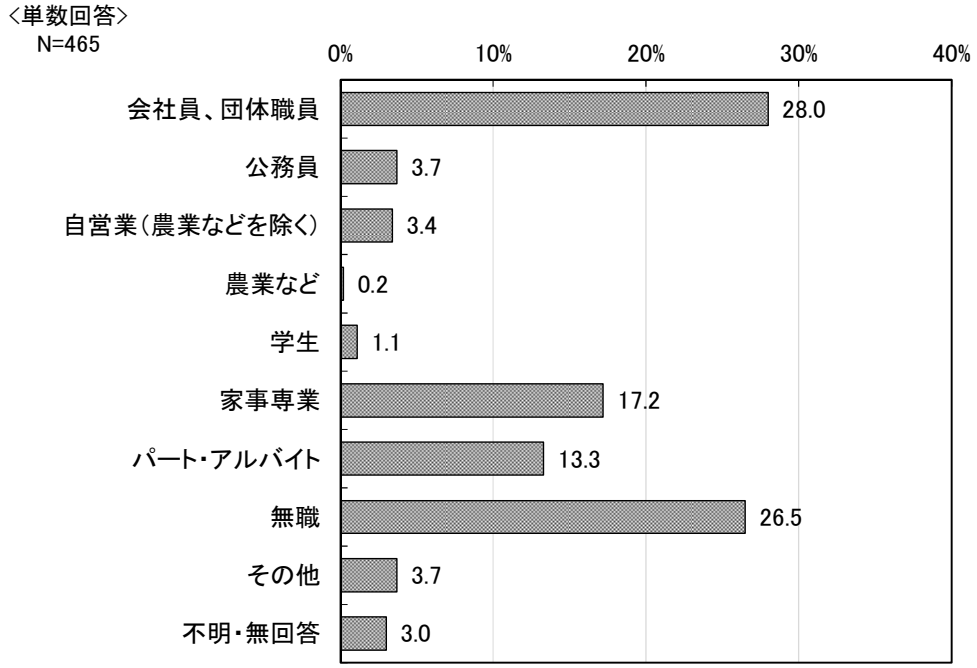

## ○　あなたの年齢は、何歳ですか。（１つだけ○）



## ○　あなたが住んでいる小学校区はどちらですか。（１つだけ○）



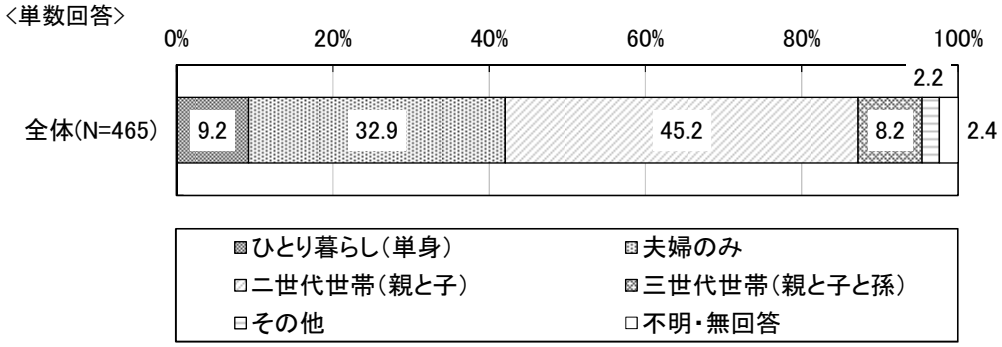

## ○　あなたの主な職業は何ですか。（１つだけ○）




【その他回答】

・年金生活者（２）
・非常勤勤務
・嘱託職員
・ワークサポートセンター
・サービス業
・医師
・タクシー乗務員
・契約社員
・教師

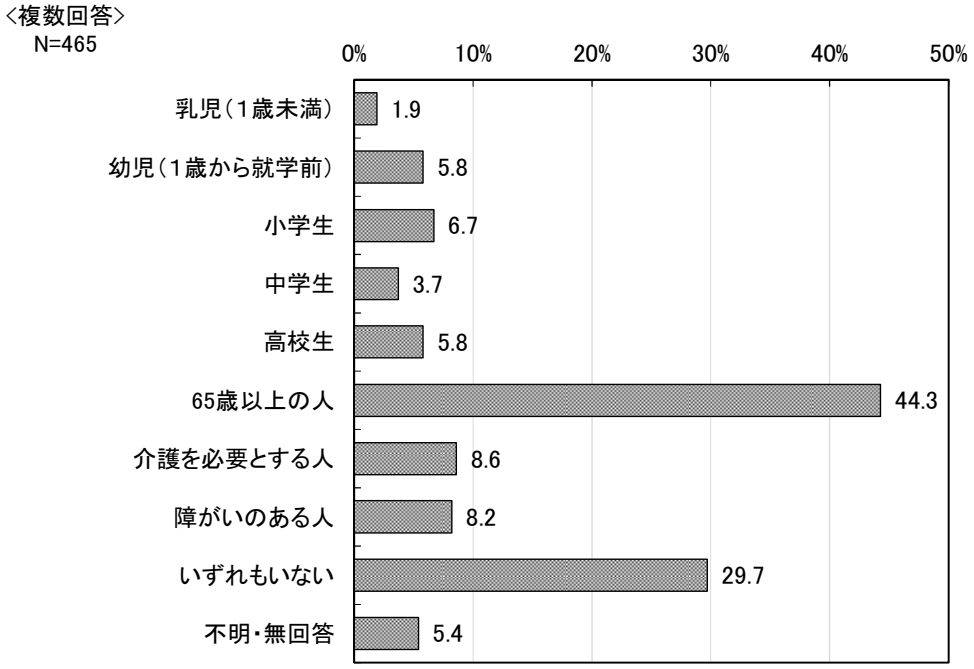
## ○　あなたの家族構成はどのようになっていますか。（１つだけ○）



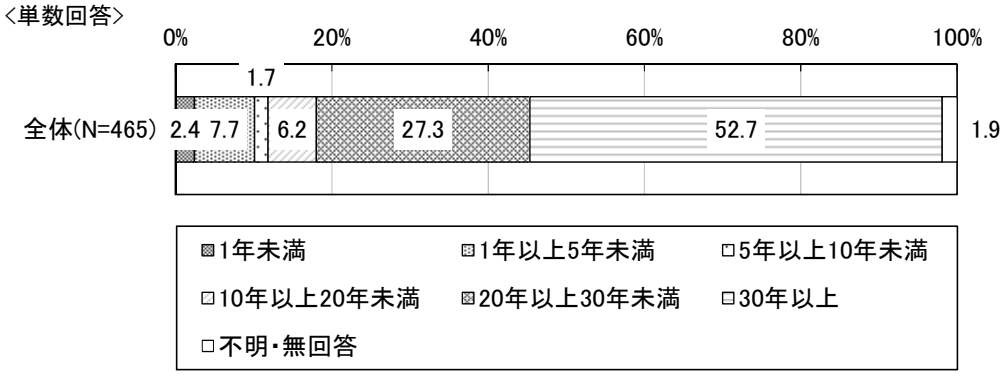

【その他回答】

・兄弟・姉妹

## ○　あなたが現在一緒に住んでいるご家族のなかに、つぎのような人（あなた自身も含みます）はいますか。（あてはまるものすべてに○）

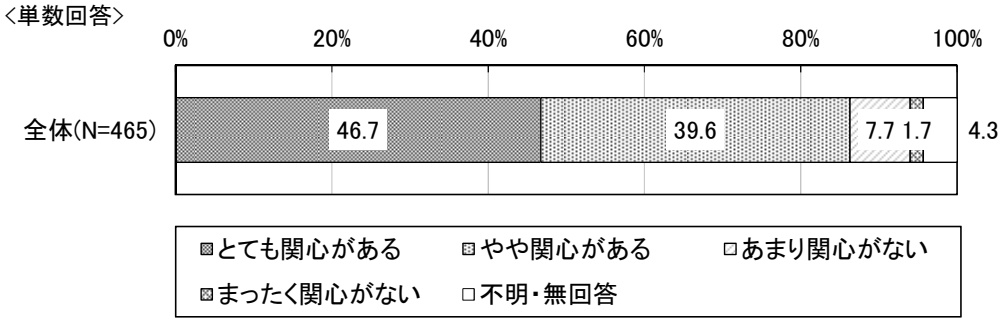


## ○　あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。（１つだけ○）



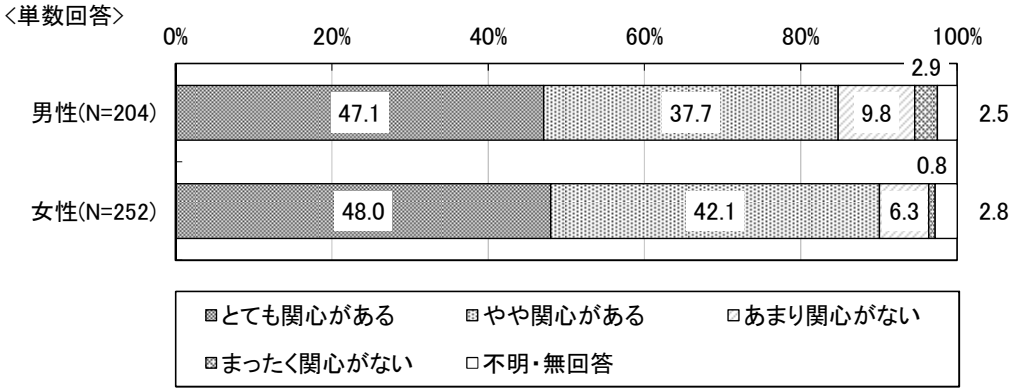
# ２．「福祉」について

**問１　あなたは「福祉」に関心をお持ちですか。（１つだけ○）**



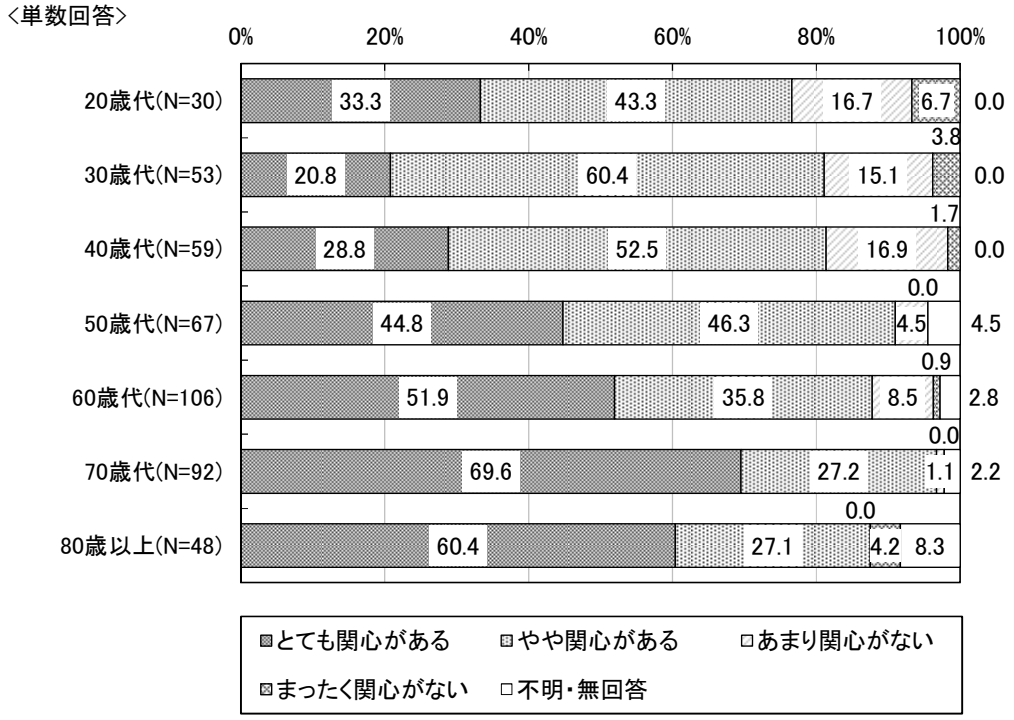

「とても関心がある」と「やや関心がある」をあわせた『関心がある』人が 86.3%と約８割を占めています。また、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」をあわせた『関心がない』人が 9.4%となっています。

【性別グラフ】



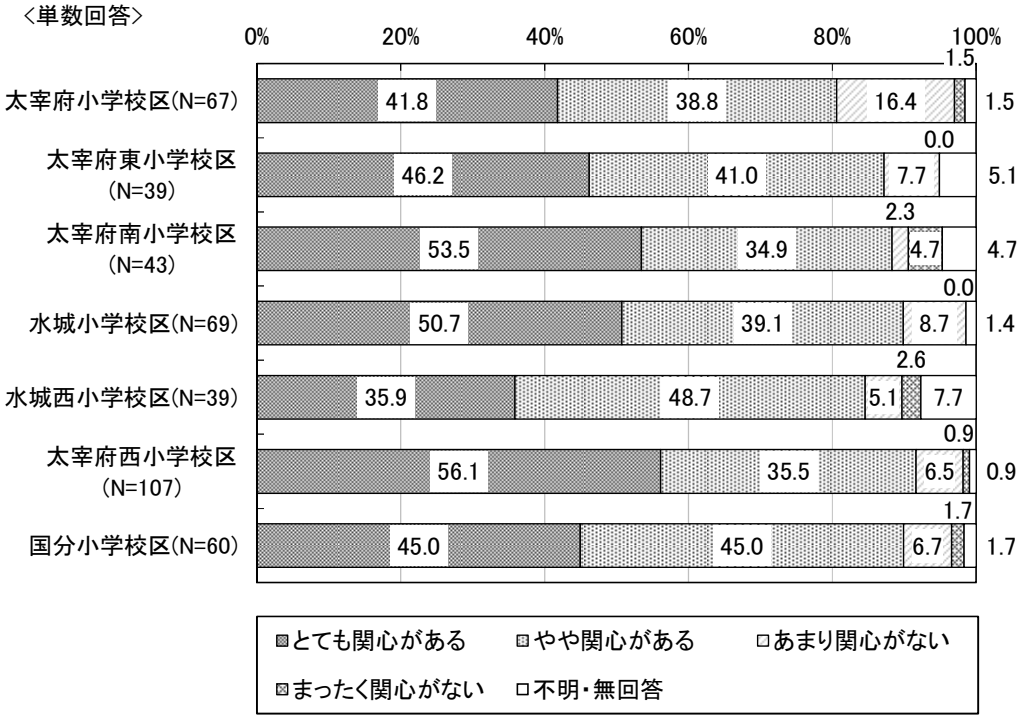

性別にみると、「とても関心がある」と「やや関心がある」をあわせた『関心がある』人の割合が、女性が 90.1%、男性は 84.8%となっており、女性が男性を 5.3 ポイント上回っています。

【年代別グラフ】



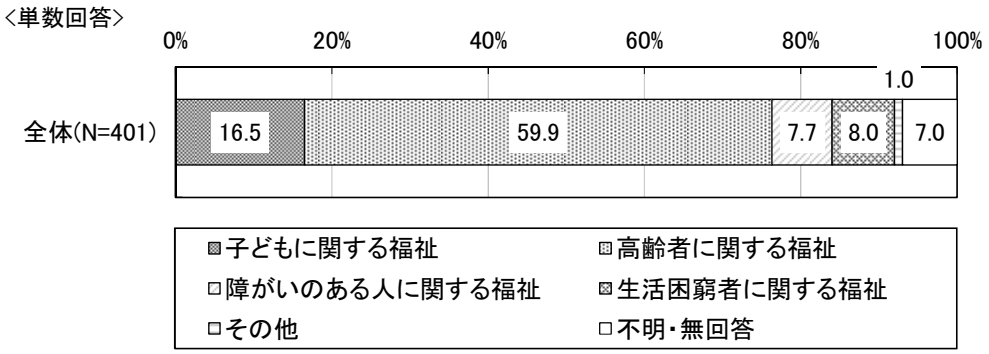

年代別にみると、「とても関心がある」と「やや関心がある」をあわせた『関心がある』人の割合が 70 歳代で 96.8%と最も高くなっています。一方、20 歳代では 76.6%と他の年代と比較してやや低くなっています。

【小学校区別グラフ】




小学校区別にみると、「とても関心がある」と「やや関心がある」をあわせた『関心がある』人の割合が太宰府西小学校区で 91.6%と他の校区と比較して高くなっています。

## 問１－１　「福祉」のどのような分野にもっとも関心がありますか。（１つだけ○）




「高齢者に関する福祉」が 59.9%と最も高く、次いで「子どもに関する福祉」が 16.5%、「生活困窮者に関する福祉」が 8.0%となっています。

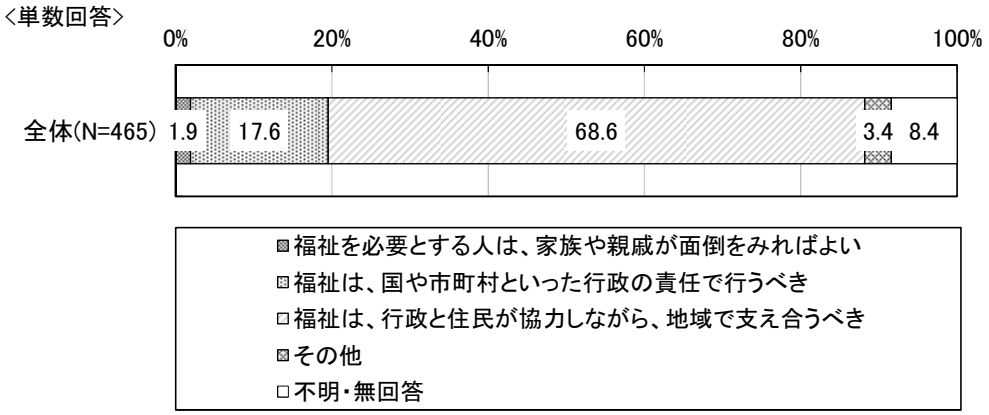
**【その他回答】**

・ひとつだけは選べない

・ひとつではだめ。福祉は全て関連してくる

・全ての人々に関しての福祉・生活しやすいまちづくり

## 問２　これからの「福祉」のあり方は、どのようであるべきだと思いますか。（１つだけ○）




「福祉は、行政と住民が協力しながら、地域で支え合うべき」が 68.6%と最も高く、次いで「福祉は、国や市町村といった行政の責任で行うべき」が 17.6%、「福祉を必要とする人は、家族や親戚が面倒をみればよい」が 1.9%となっています。

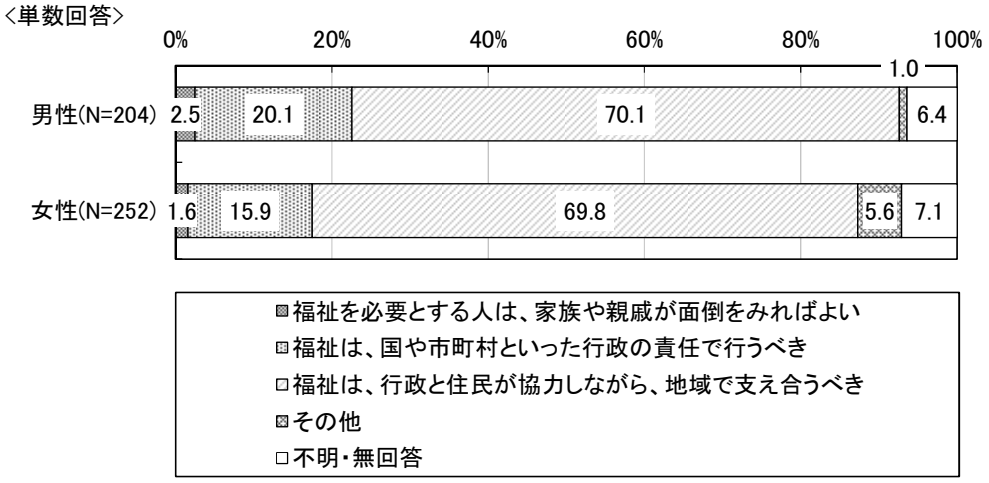
**【その他回答】**

・家族が面倒をみるのは当たり前なので、国や市町村はそれを手助けできるようにしてほしい

・家族と国や市町村などの行政の支えが必要

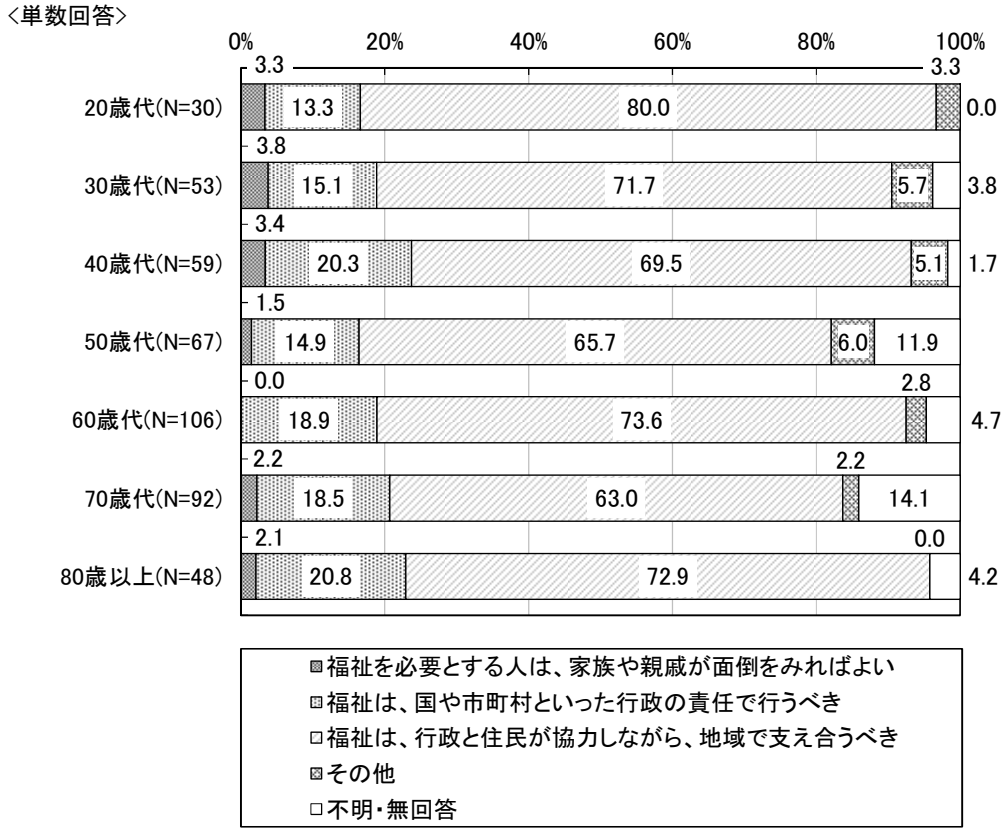
・行政と家族、親戚が支える
・「福祉を必要とする人は、家族や親戚が面倒をみればよい」と「福祉は、国や市町村といった行政の責任で行うべき」が協力し合うべき
・行政と住民で協力。今の時代地域でというのは難しいと思う
・福祉は国や市町村といった行政が責任を持ち、地域住民の参画が必要
・行政を中心として住民と協力しながら地域で支え合うべき
・「福祉は、国や市町村といった行政の責任で行うべき」＋「福祉は、行政と住民が協力しながら、地域で支え合うべき」
・行政を頼ることができるよう窓口を広くもってほしい。それにより家族、地域で支えることができる
・「福祉を必要とする人は、家族や親戚が面倒をみればよい」が理想だが、難しい事も多いため、行政、住民の協力と併せる事が必要
・３つの調和がとれているべきだと思う
・自助と共助の共存が望ましいと思う

【性別グラフ】



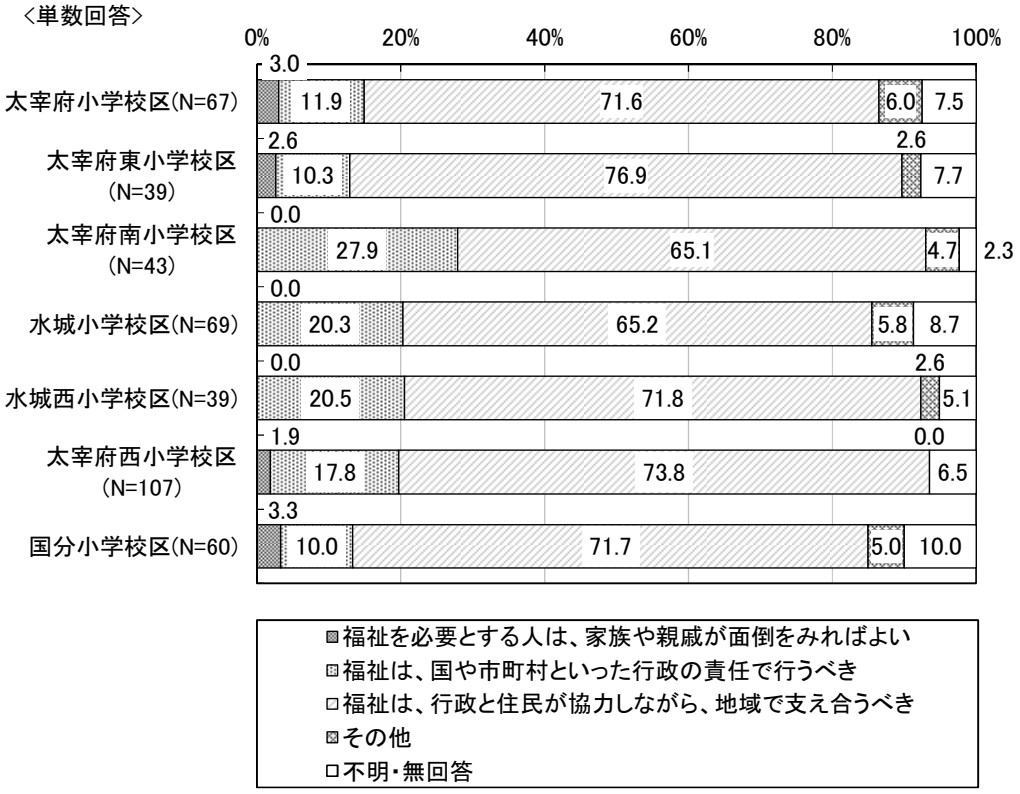

性別にみると、男女ともに「福祉は、行政と住民が協力しながら、地域で支え合うべき」の割合が最も高く、男性が 70.1％、女性は 69.8％となっており、男女間での大きな差はみられません。

【年代別グラフ】



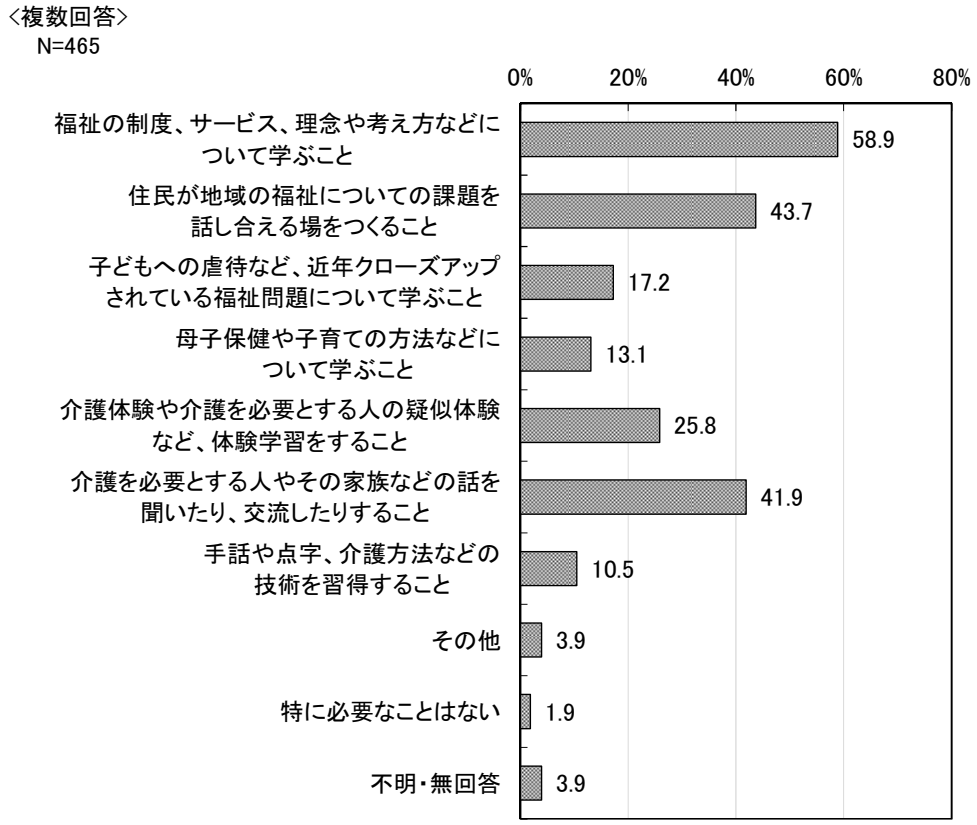

年代別にみると、どの年代においても「福祉は、行政と住民が協力しながら、地域で支え合うべき」の割合が最も高くなっています。また、40 歳代、80 歳以上では「福祉は、国や市町村といった行政の責任で行うべき」の割合が他の年代と比較してやや高くなっています。

【小学校区別グラフ】




小学校区別にみると、どの小学校区においても「福祉は、行政と住民が協力しながら、地域で支え合うべき」の割合が最も高くなっています。また、太宰府南小学校区では「福祉は、国や市町村といった行政の責任で行うべき」が、国分小学校区では「福祉を必要とする人は、家族や親戚が面倒をみればよい」の割合が他の小学校区と比較してやや高くなっています。

**問３　あなたは、住民が福祉について理解を深めるためには、どのような機会が必要だと思いますか。（○は３つまで）**



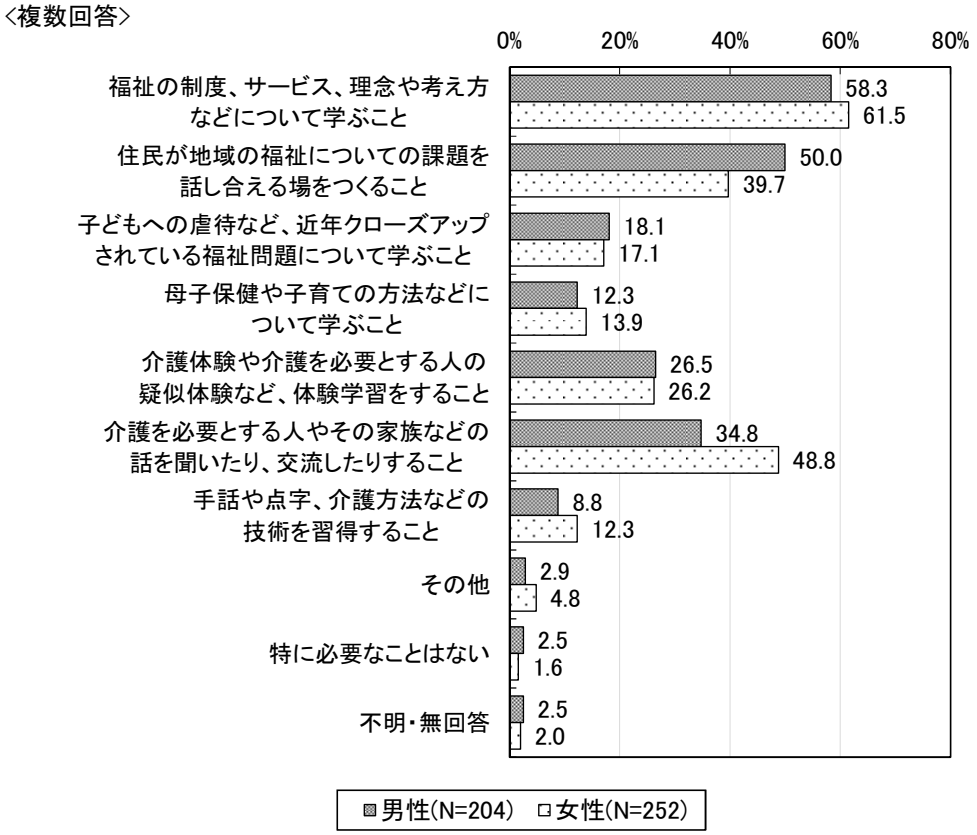

「福祉の制度、サービス、理念や考え方などについて学ぶこと」が 58.9%と最も高く、次いで「住民が地域の福祉についての課題を話し合える場をつくること」が 43.7%、「介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること」が 41.9%、となっています。

**【その他回答】**

・わが身に振りかからないとなかなか積極的になれない。普段から広報やポスターなどで観念的に情報を植えつける
・実際に学ぶ場が設けられても、自ら学びに行くことは少ない。行政から効果的な方法で情報発信してほしい
・もっと詳しく頻回に広報などで知らせるべき（利用の仕方、相談場所、方法、手当など）
・公民館を利用して普及活動を行う
・活用できる福祉の具体例を知る事
・今、地域で必要としている事に目を向けて行動する事
・自助努力→福祉、介護保険等に頼る前にトレーニングジム等、サポートの場をつくる
・近隣が仲良しである事
・行政区の自治会活動の中で老人クラブと色々なイベント等を通じて交流を図ること

・「住民が地域の福祉についての課題を話し合える場をつくること」の場が地区の公民館で行われ、回覧板等でその情報が分かること
・子育て中の親が勉強する場が必要だと思う
・障害児を集めて福祉センターにてパンつくりをしていました
・市との協同
・全て必要である

【性別グラフ】




性別にみると、男女ともに「福祉の制度、サービス、理念や考え方などについて学ぶこと」の割合が最も高く、女性が 61.5%、男性が 58.3%となっています。また、「介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること」では、女性が 48.8%、男性は 34.8%で女性が男性を 14.0 ポイント上回っています。

【年代別表】

単位：%

| 〈複数回答〉 | 福祉の制度、サービス、理念や考え方などについて学ぶこと | 住民が地域の福祉についての課題を話し合える場をつくること | 子どもへの虐待など、近年クローズアップされている福祉問題について学ぶこと | 母子保健や子育ての方法などについて学ぶこと | 介護体験や介護を必要とする人の疑似体験など、体験学習をすること | 介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること | 手話や点字、介護方法などの技術を習得すること | その他 | 特に必要なことはない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=30) | 43.3 | 33.3 | 20.0 | 26.7 | 33.3 | 43.3 | 16.7 | 6.7 | 10.0 | 0.0 |
| 30 歳代(N=53) | 71.7 | 26.4 | 26.4 | 37.7 | 26.4 | 41.5 | 15.1 | 3.8 | 0.0 | 1.9 |
| 40 歳代(N=59) | 64.4 | 35.6 | 22.0 | 13.6 | 28.8 | 27.1 | 15.3 | 3.4 | 3.4 | 3.4 |
| 50 歳代(N=67) | 59.7 | 46.3 | 17.9 | 13.4 | 25.4 | 40.3 | 11.9 | 4.5 | 1.5 | 1.5 |
| 60 歳代(N=106) | 60.4 | 52.8 | 14.2 | 3.8 | 26.4 | 45.3 | 14.2 | 4.7 | 0.9 | 1.9 |
| 70 歳代(N=92) | 57.6 | 47.8 | 12.0 | 7.6 | 28.3 | 51.1 | 3.3 | 4.3 | 0.0 | 2.2 |
| 80 歳代以上(N=48) | 56.3 | 54.2 | 16.7 | 8.3 | 16.7 | 41.7 | 2.1 | 0.0 | 4.2 | 4.2 |

年代別にみると、すべての年代において「福祉の制度、サービス、理念や考え方などについて学ぶこと」の割合が高く、30 歳代では 71.7%と他の年代と比較して高くなっています。また、20 歳代では「介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること」の割合も高くなっています。

【小学校区別表】

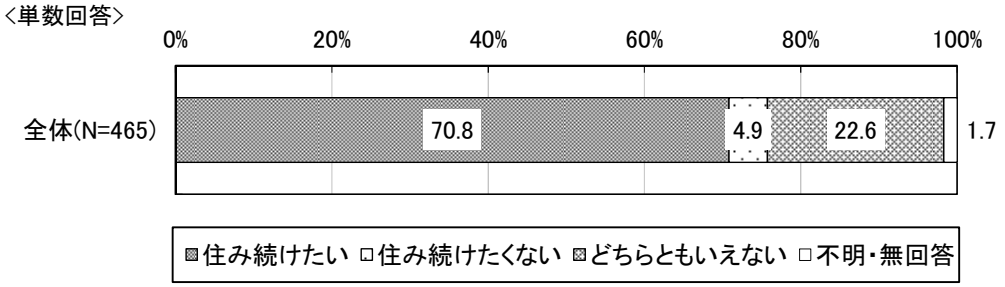
単位：%

| 〈複数回答〉 | 福祉の制度、サービス、理念や考え方などについて学ぶこと | 住民が地域の福祉についての課題を話し合える場をつくること | 子どもへの虐待など、近年クローズアップされている福祉問題について学ぶこと | 母子保健や子育ての方法などについて学ぶこと | 介護体験や介護を必要とする人の疑似体験など、体験学習をすること | 介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること | 手話や点字、介護方法などの技術を習得すること | その他 | 特に必要なことはない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区 (N=67) | 62.7 | 52.2 | 17.9 | 13.4 | 35.8 | 37.3 | 6.0 | 3.0 | 1.5 | 1.5 |
| 太宰府東小学校区 (N=39) | 43.6 | 69.2 | 10.3 | 12.8 | 23.1 | 53.8 | 10.3 | 5.1 | 0.0 | 2.6 |
| 太宰府南小学校区 (N=43) | 58.1 | 37.2 | 14.0 | 11.6 | 30.2 | 46.5 | 14.0 | 2.3 | 2.3 | 0.0 |
| 水城小学校区 (N=69) | 58.0 | 44.9 | 17.4 | 21.7 | 26.1 | 26.1 | 14.5 | 8.7 | 2.9 | 4.3 |
| 水城西小学校区 (N=39) | 51.3 | 41.0 | 20.5 | 15.4 | 20.5 | 46.2 | 5.1 | 5.1 | 0.0 | 5.1 |
| 太宰府西小学校区 (N=107) | 66.4 | 41.1 | 15.0 | 7.5 | 25.2 | 48.6 | 15.0 | 3.7 | 0.9 | 0.9 |
| 国分小学校区 (N=60) | 66.7 | 36.7 | 30.0 | 11.7 | 23.3 | 48.3 | 10.0 | 1.7 | 1.7 | 0.0 |

小学校区別にみると、太宰府東小学校区では「住民が地域の福祉についての課題を話し合える場をつくること」の割合が高く、その他の小学校区では「福祉の制度、サービス、理念や考え方などについて学ぶこと」の割合が高くなっています。

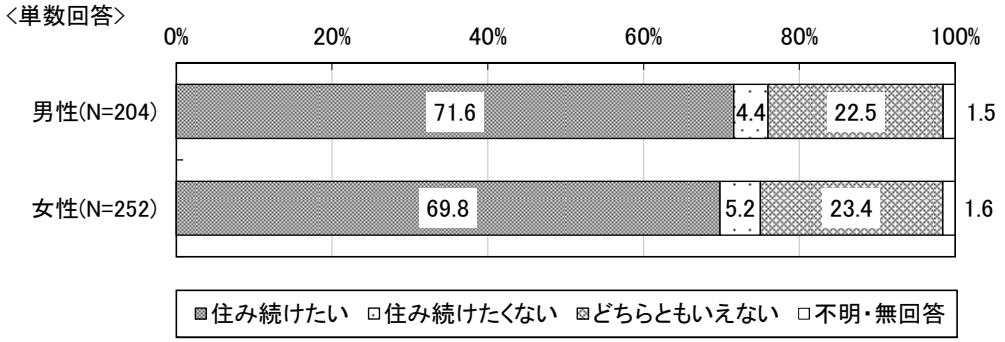
# ３．地域での生活について

**問４　あなたは、これからも現在住んでいるところに住み続けたいと思いますか。**
**（１つだけ○）**



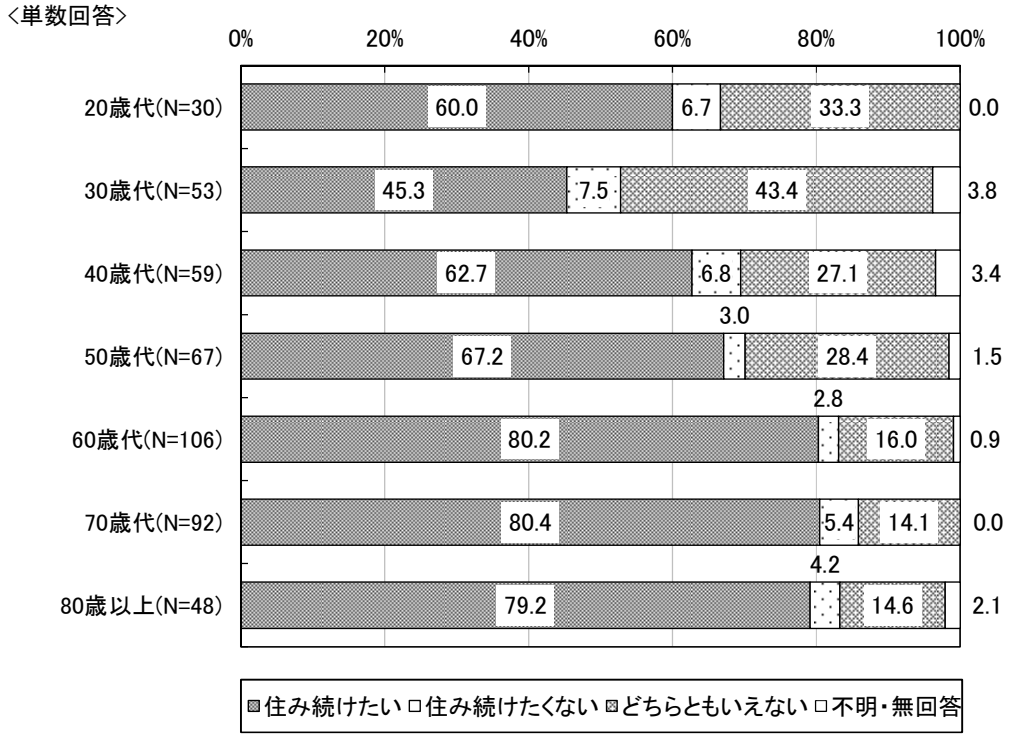

「住み続けたい」が 70.8%、「どちらともいえない」が 22.6%、「住み続けたくない」が 4.9%となっており、約７割の人が「住み続けたい」と回答しています。

【性別グラフ】



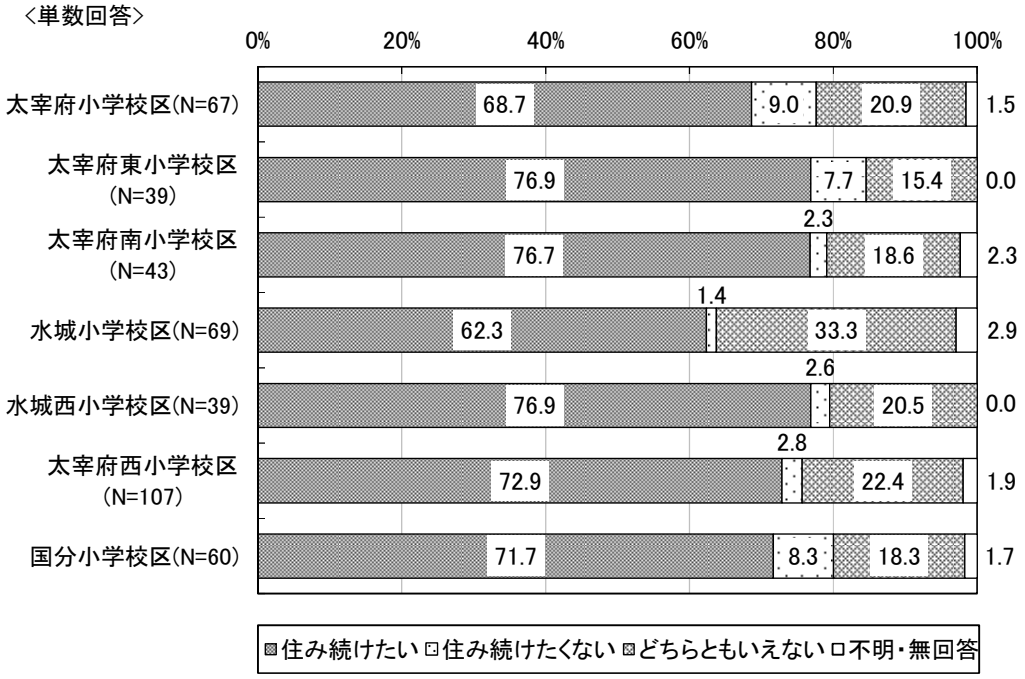

性別にみると、男女ともに「住み続けたい」の割合が最も高く、男性が 71.6%、女性は 69.8%となっており、男女間に大きな差はみられません。

【年代別グラフ】



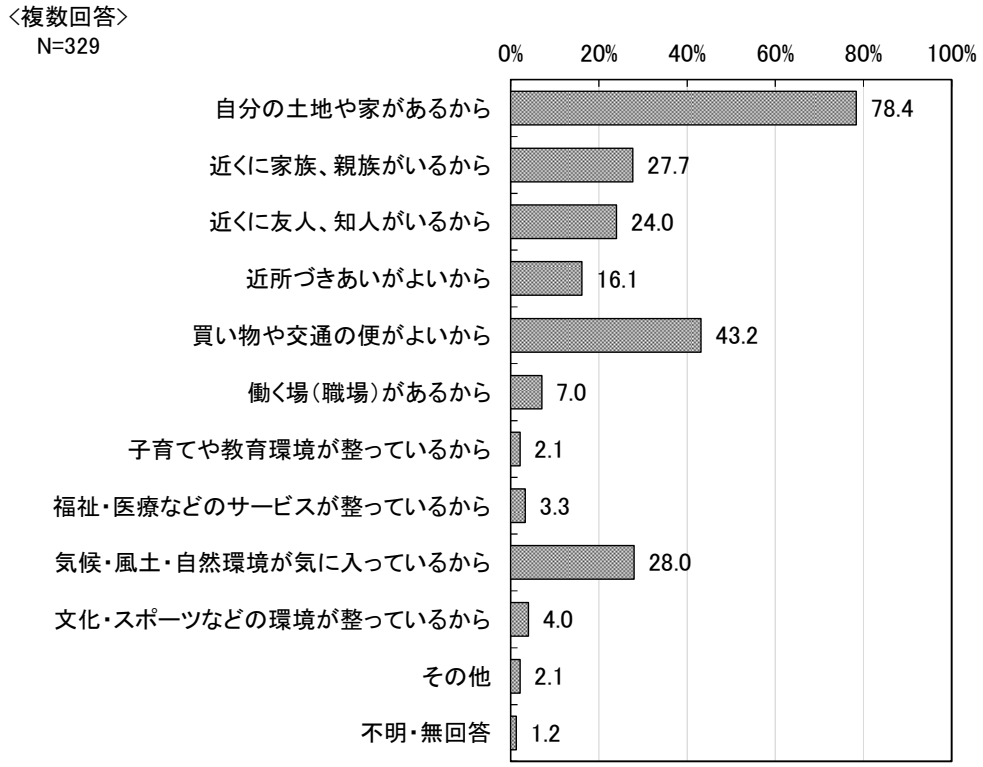

年代別にみると、どの年代においても「住み続けたい」と回答した人の割合が最も高く、60 歳代以上では約８割を占めています。一方、30 歳代では「住み続けたくない」が 7.5%と他の年代と比較してやや高くなっています。

【小学校区別グラフ】




小学校区別にみると、どの小学校区においても「住み続けたい」と回答した人の割合が高くなっていますが、水城小学校区では 62.3%と他の小学校区と比較してやや低くなっています。また、太宰府小学校区では「住み続けたくない」が 9.0%と、他の小学校区と比較してやや高くなっています。

**※問４で「１　住み続けたい」と回答した人にうかがいます。**
**問４－１　どのような点で住み続けたいと思いますか。（○は３つまで）**

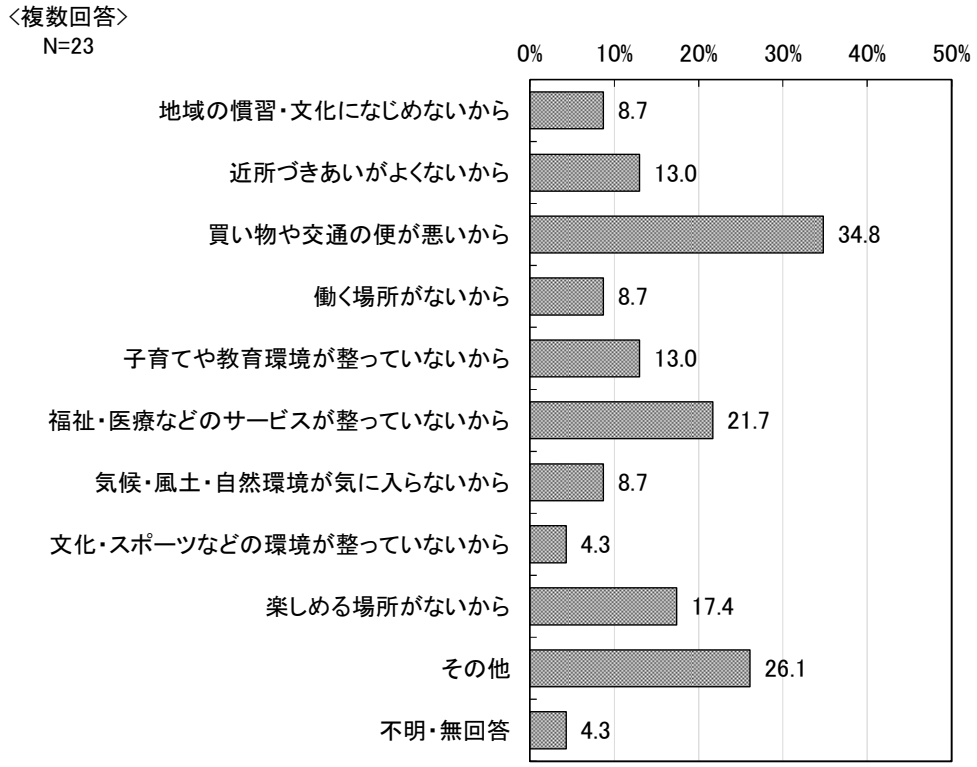



「自分の土地や家があるから」が 78.4％と最も高く、次いで「買い物や交通の便がよいから」が 43.2％、「気候・風土・自然環境が気に入っているから」が 28.0％となっています。

**【その他回答】**

・子どもの友だちがいるから
・歴史公園が近所にあり、散歩に適した環境だから
・近くに図書館があるから
・他に行くところもない

**※問４で「２　住み続けたくない」と回答した人にうかがいます。**
**問４－２　どのような点で住み続けたくないと思いますか。（○は３つまで）**

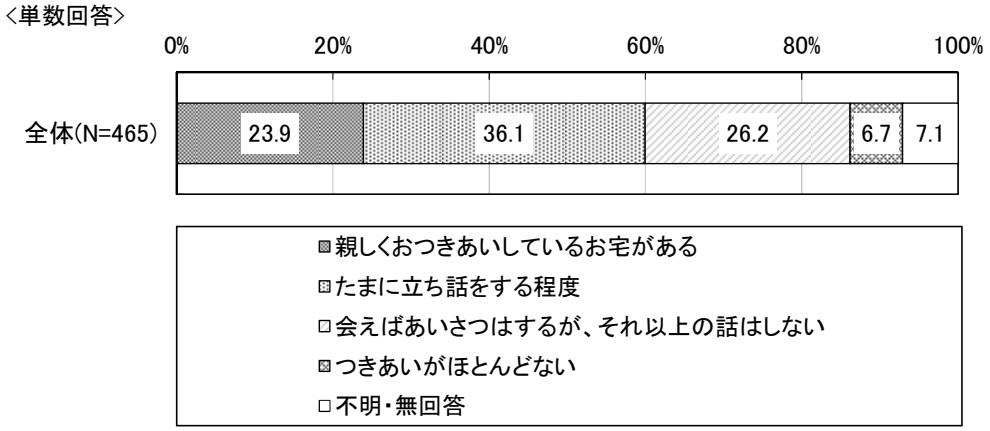



「買い物や交通の便が悪いから」が 34.8%と最も高く、次いで「福祉・医療などのサービスが整っていないから」が 21.7%、「楽しめる場所がないから」が 17.4%となっています。

**【その他回答】**

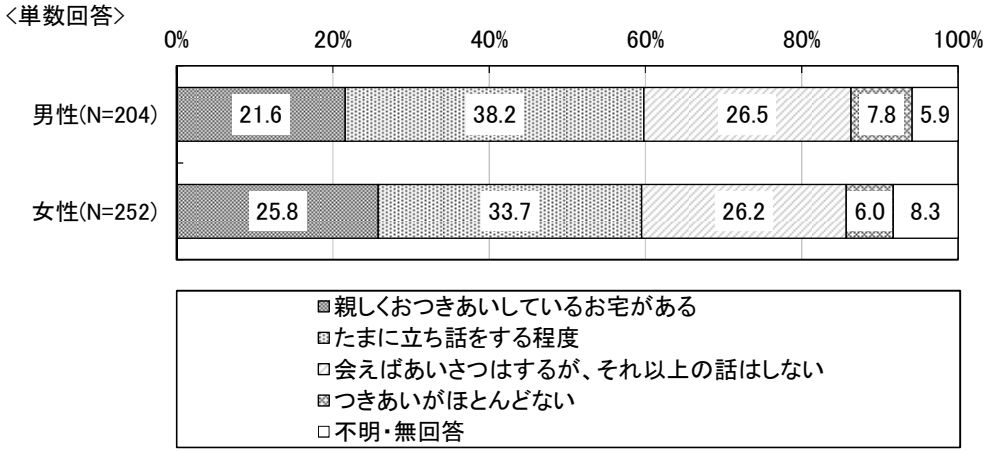
・転勤で住んで長くなったものの、何でも終わりにはじかれる
・望んでいない転勤で住み始めたため
・税金高い。水道代高い。対応遅い
・行政の問題点が多すぎる

## 問５　あなたは、普段近所の人とどの程度のつきあいをされていますか。（１つだけ○）



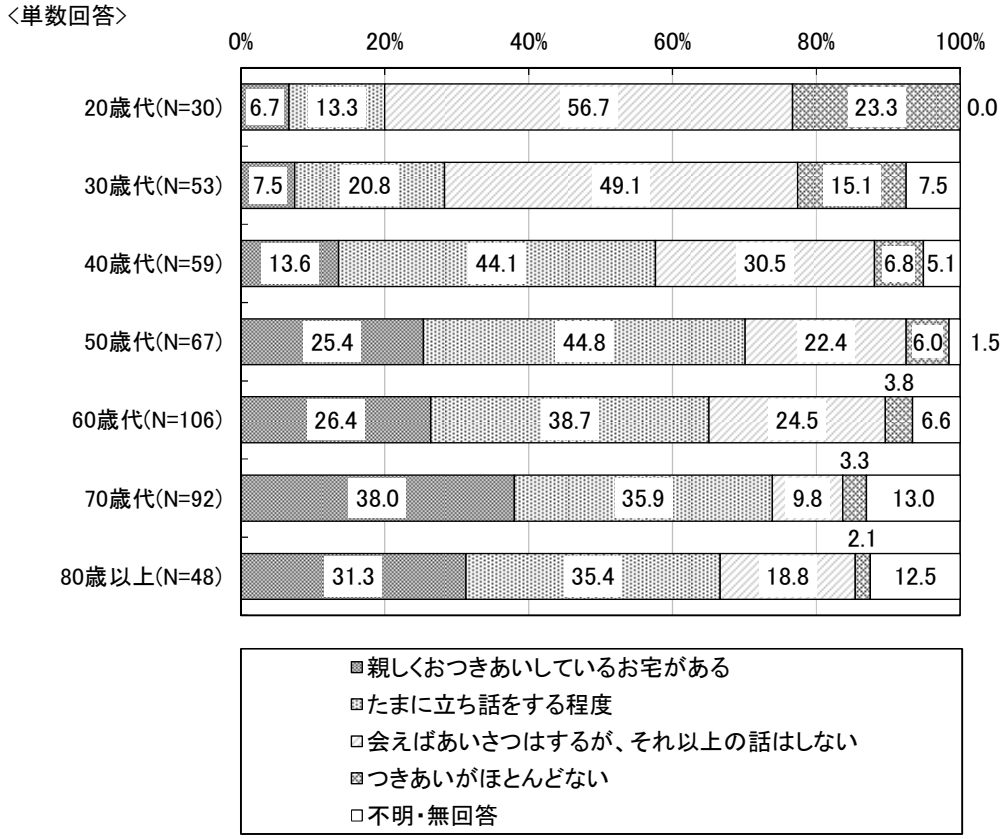

「たまに立ち話をする程度」が 36.1％と最も高く、次いで「会えばあいさつはするが、それ以上の話はしない」が 26.2％、「親しくおつきあいしているお宅がある」が 23.9％となっています。

【性別グラフ】



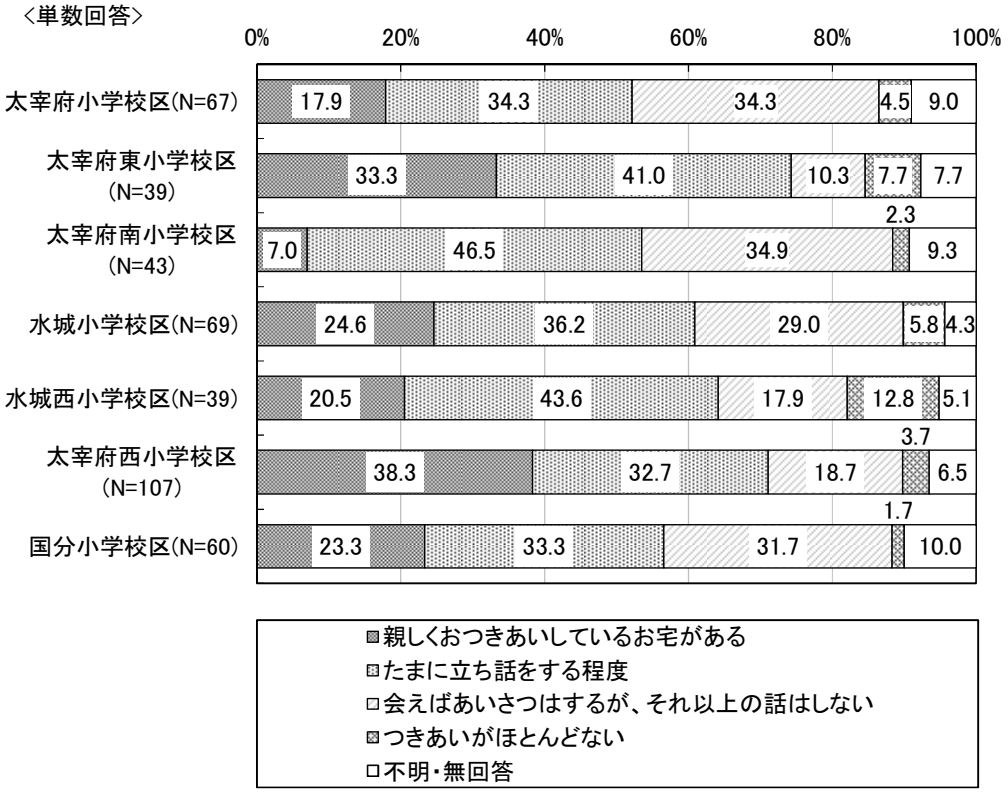

性別にみると、男女ともに「たまに立ち話をする程度」の割合が最も高く、男性が 38.2％、女性は 33.7％と、男性が女性を 4.5 ポイント上回っています。また、「親しくおつきあいしているお宅がある」では、女性が 25.8％、男性が 21.6％と、女性が男性を 4.2 ポイント上回っています。

【年代別グラフ】




年代別にみると、年代が上がるほど「親しくおつきあいしているお宅がある」の割合が高くなる傾向がみられ、70 歳代では 38.0%と他の年代と比較して高くなっています。一方、20 歳代では「つきあいがほとんどない」が 23.3%と他の年代と比較して高くなっています。

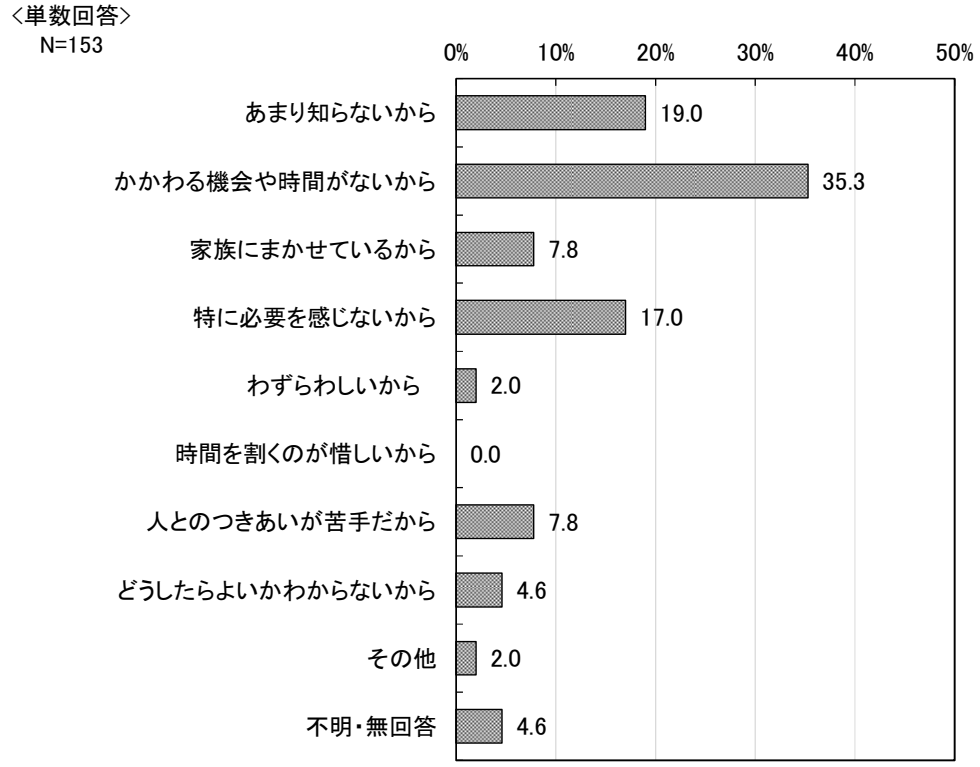
【小学校区別グラフ】




小学校区別にみると、太宰府西小学校区では「親しくおつきあいしているお宅がある」が、その他の小学校区では「たまに立ち話をする程度」の割合が高くなっています。一方、太宰府南小学校区では「親しくおつきあいしているお宅がある」が 7.0%と、他の小学校区と比較して低くなっています。また、水城西小学校区では「つきあいがほとんどない」が 12.8%と、他の小学校区と比較して高くなっています。

**※問５で「３　会えばあいさつはするが、それ以上の話はしない」、「４　つきあいがほとんどない」と回答した人にうかがいます。**

**問５－１　つきあいがほとんどないのはなぜですか。（１つだけ○）**



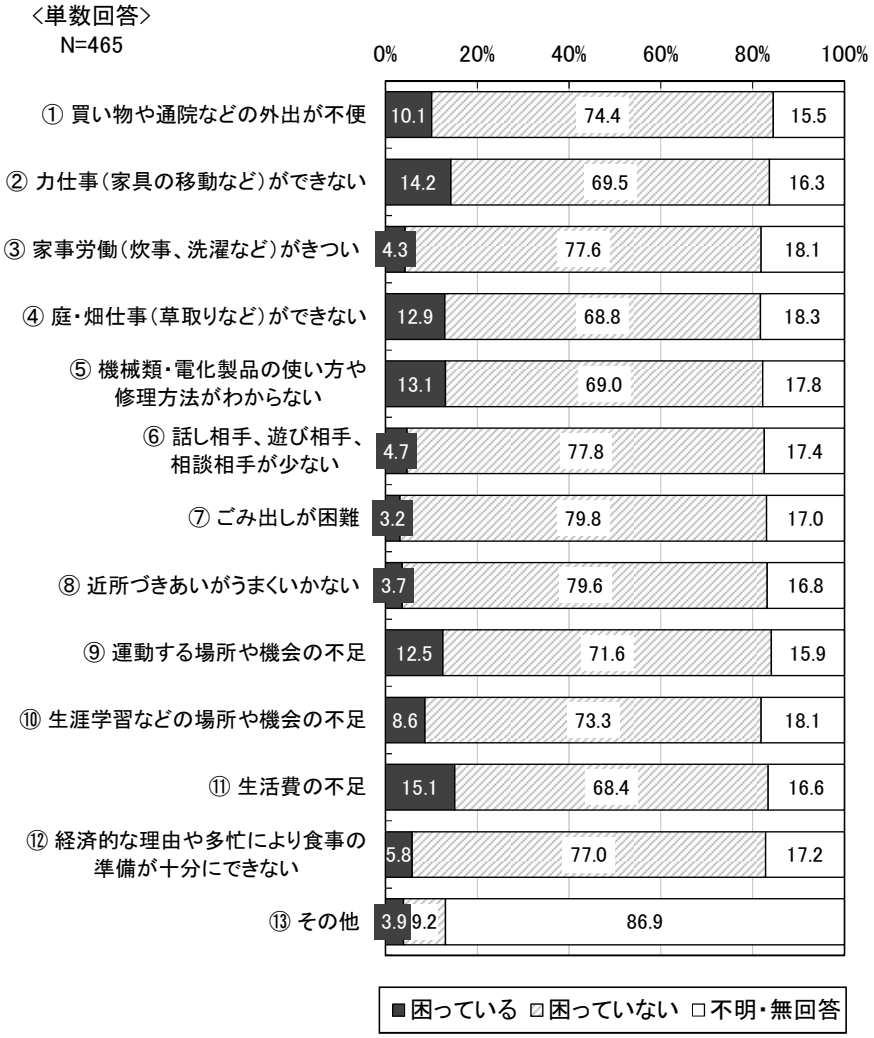

「かかわる機会や時間がないから」が 35.3%と最も高く、次いで「あまり知らないから」が 19.0%、「特に必要を感じないから」が 17.0%となっています。

**【その他回答】**

・仕事で帰りが遅く会わない
・施設に入所中のため
・入院中のため
・高齢のため

**問６　毎日の暮らしのなかでのあなたの困りごとはどのようなことですか。また、それについて支援は必要ですか。（①～⑬それぞれ、Ａ、Ｂの項目ごとに１つだけ○）**

≪Ａ 困り度≫




どの項目においても、「困っていない」の割合が高くなっていますが、『生活費の不足』、『力仕事（家具の移動など）ができない』では、他の項目と比較して「困っている」の割合がやや高くなっています。

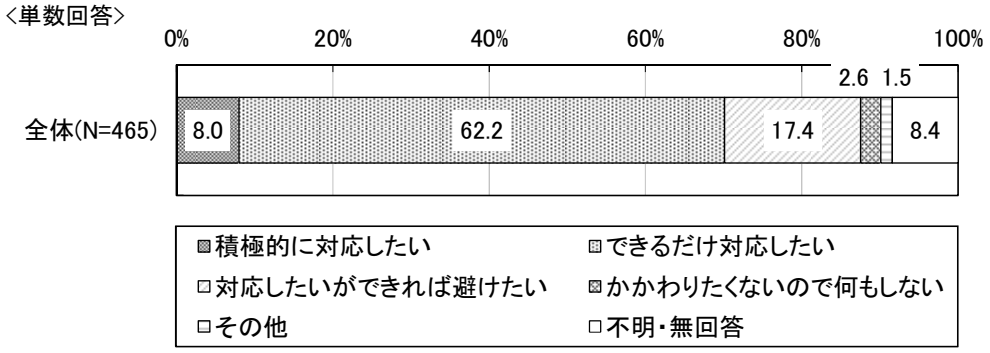
≪B 支援の必要性≫

どの項目においても、「支援は必要ない」の割合が高くなっていますが、『庭・畑仕事（草取りなど）ができない』、『力仕事（家具の移動など）ができない』、『生活費の不足』では、他の項目と比較して「支援が必要」の割合がやや高くなっています。

【その他回答】

・現在は車の運転ができるが、将来は？
・バスが少なすぎる
・駅が遠い
・家屋の維持や修繕等
・知人が少ない
・地区のイベント等で近所づきあいをしたい
・足腰を痛め老後に不安を感じている
・今はいいが先が不安
・税金が高い
・年金生活で家賃が高い
・急な休校の時、子どもを預ける場所がない
・遊具のある公園が近所にない
・子どもの遊び場が少ない
・入院中の母親の退院後の支援
・両親の介護認定がおりない
・介護で自分の自由がない
・一人暮らしの方への支援
・土日、夜、役所が機能していない

**問７　日々の暮らしのなかで困りごとを抱える人から助けを求められた時、あなた自身はどう対応したいと思いますか。（１つだけ○）**

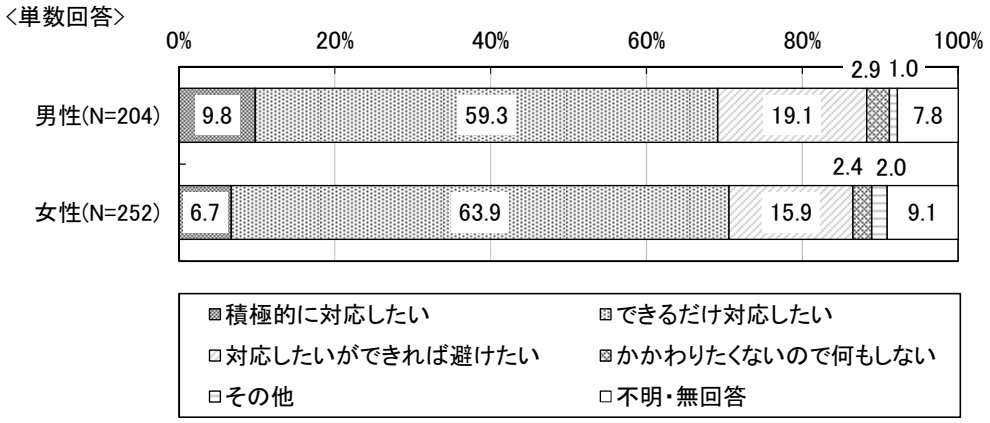



「できるだけ対応したい」が 62.2%と最も高く、次いで「対応したいができれば避けたい」が 17.4%、「積極的に対応したい」が 8.0%となっています。

【その他回答】

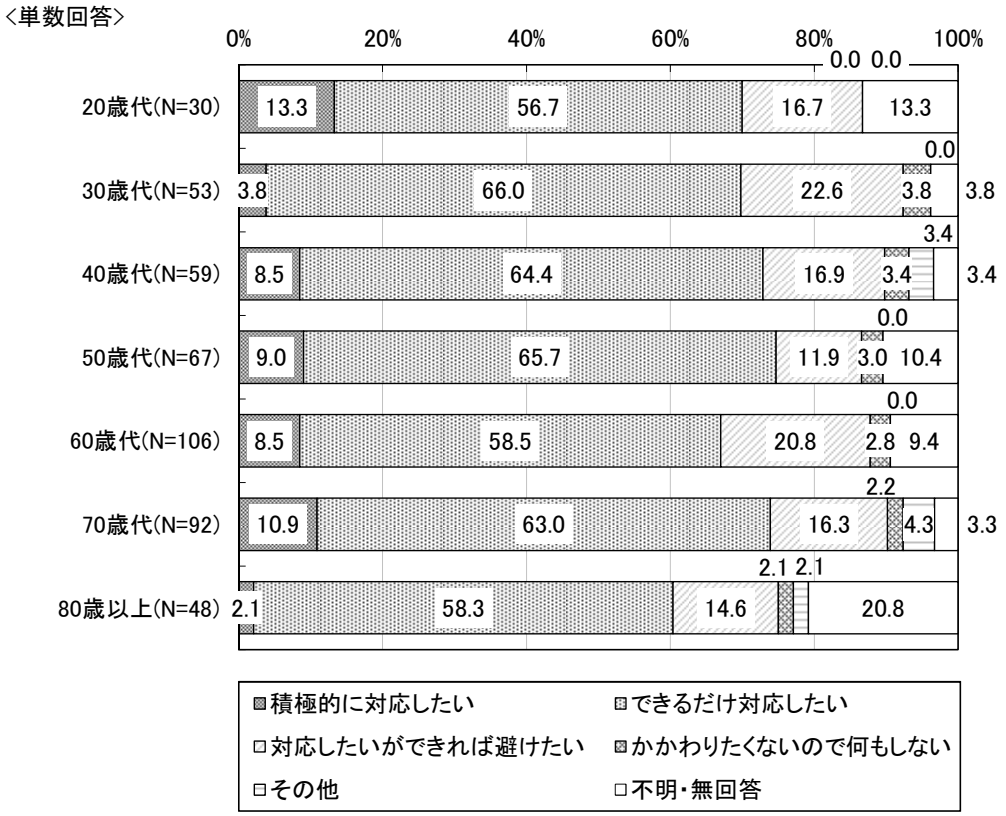
・内容により対応の仕方がある
・対応したくてもできるかどうかわからない
・自分でうまく対応できるかわからないので、市等にお願いしたい
・高齢のため（２）
・自分たちの事で精一杯で人の事を考える暇がない
・主人の世話と毎日の生活で余裕がない

【性別グラフ】



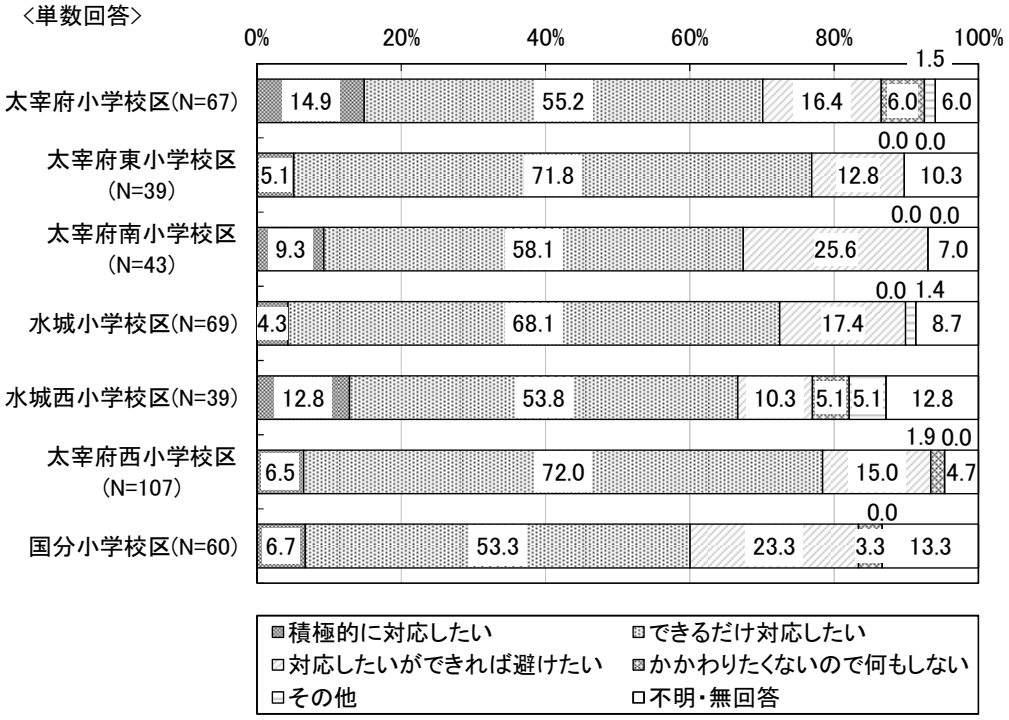

性別にみると、男女ともに「できるだけ対応したい」の割合が最も高く、女性が 63.9%、男性は 59.3%と女性が男性を 4.6 ポイント上回っています。また、「積極的に対応したい」では、男性が 9.8%、女性は 6.7%と男性が女性を 3.1 ポイント上回っています。

【年代別グラフ】




年代別にみると、どの年代においても「できるだけ対応したい」の割合が最も高くなっています。また、20 歳代では「積極的に対応したい」が 13.3%と他の年代と比較して高くなっています。

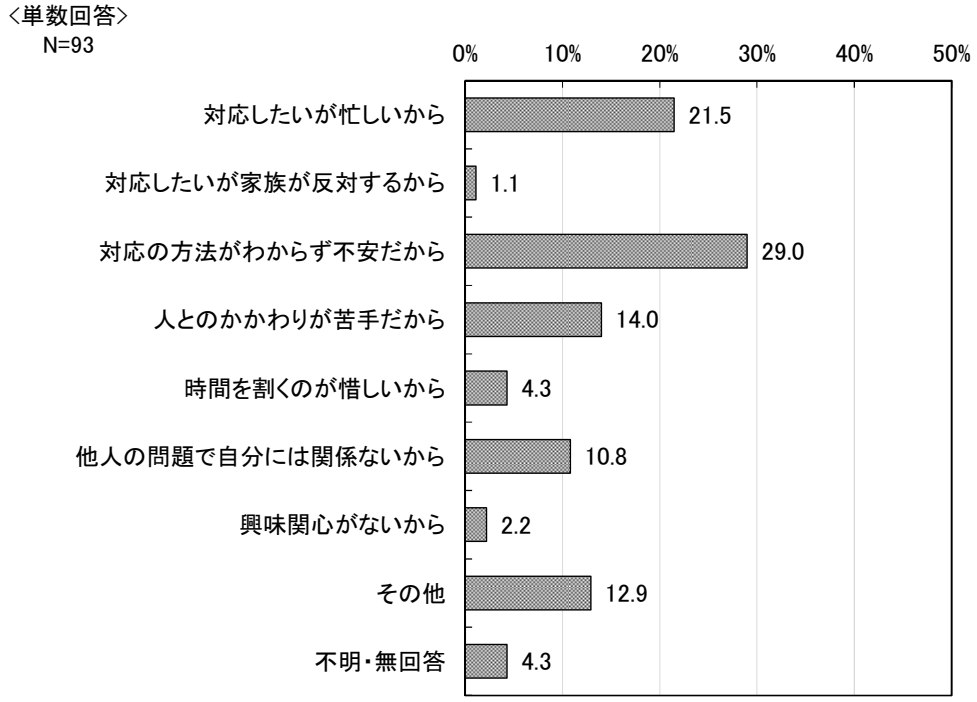
【小学校区別グラフ】




小学校区別にみると、どの小学校区においても「できるだけ対応したい」の割合が最も高くなっています。また、太宰府小学校区では「積極的に対応したい」が 14.9%と他の小学校区と比較して高くなっています。

**※問７で「３ 対応したいができれば避けたい」、「４ かかわりたくないので何もしない」と回答した人にうかがいます。**

**問７－１ そのように考えるのはどのような理由からですか。（１つだけ○）**

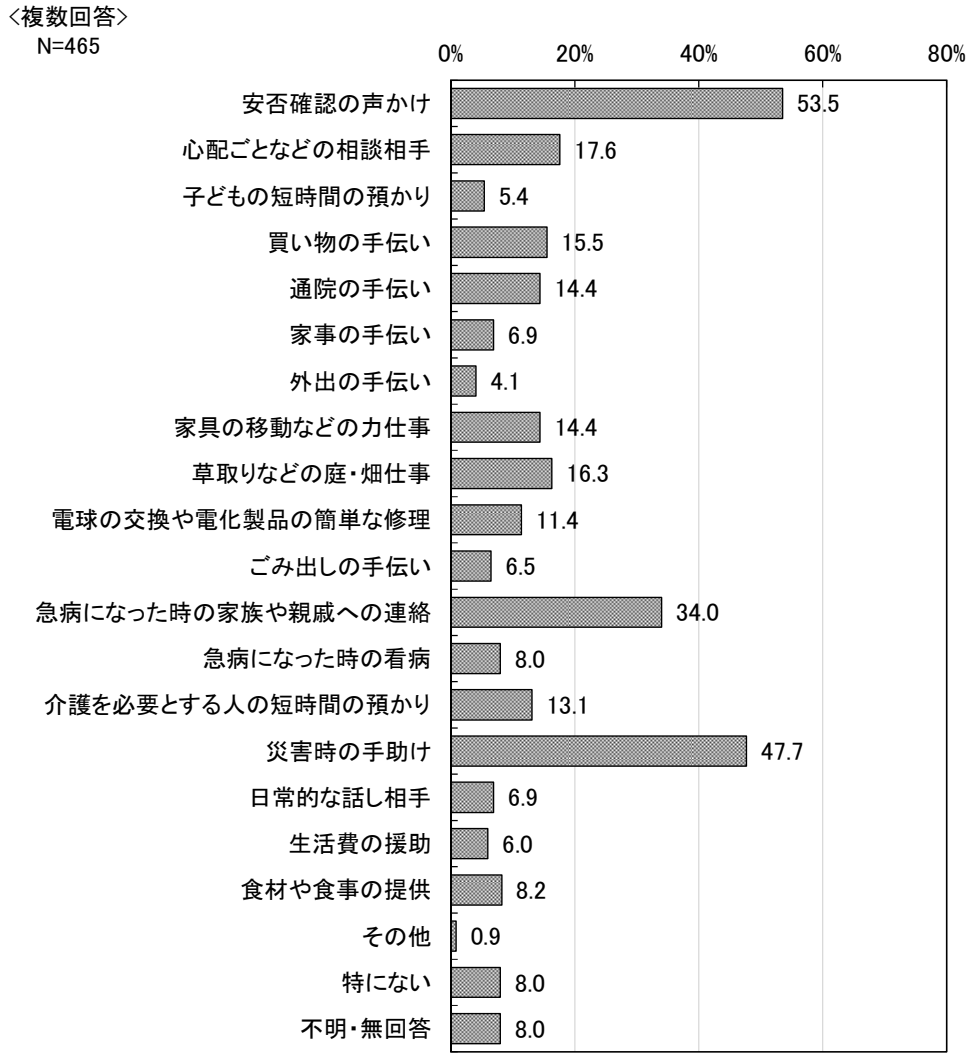



「対応の方法がわからず不安だから」が 29.0%と最も高く、次いで「対応したいが忙しいから」が 21.5%、「人とのかかわりが苦手だから」が 14.0%となっています。

**【その他回答】**

・その人がどんな人かわからないから（２）
・他人への深入りは難しい
・助けの程度によるが、家族や行政が責任を持つべき
・まず公務員が働くべきだから
・世話をしたいが自分の体力がない
・自分の体が不自由だから
・（私の）体の具合による
・高齢のため
・持病がある
・家族が障害者なので

## 問８　あなたやご家族に助けが必要になった時、地域の人たちにどのような支援をしてほしいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

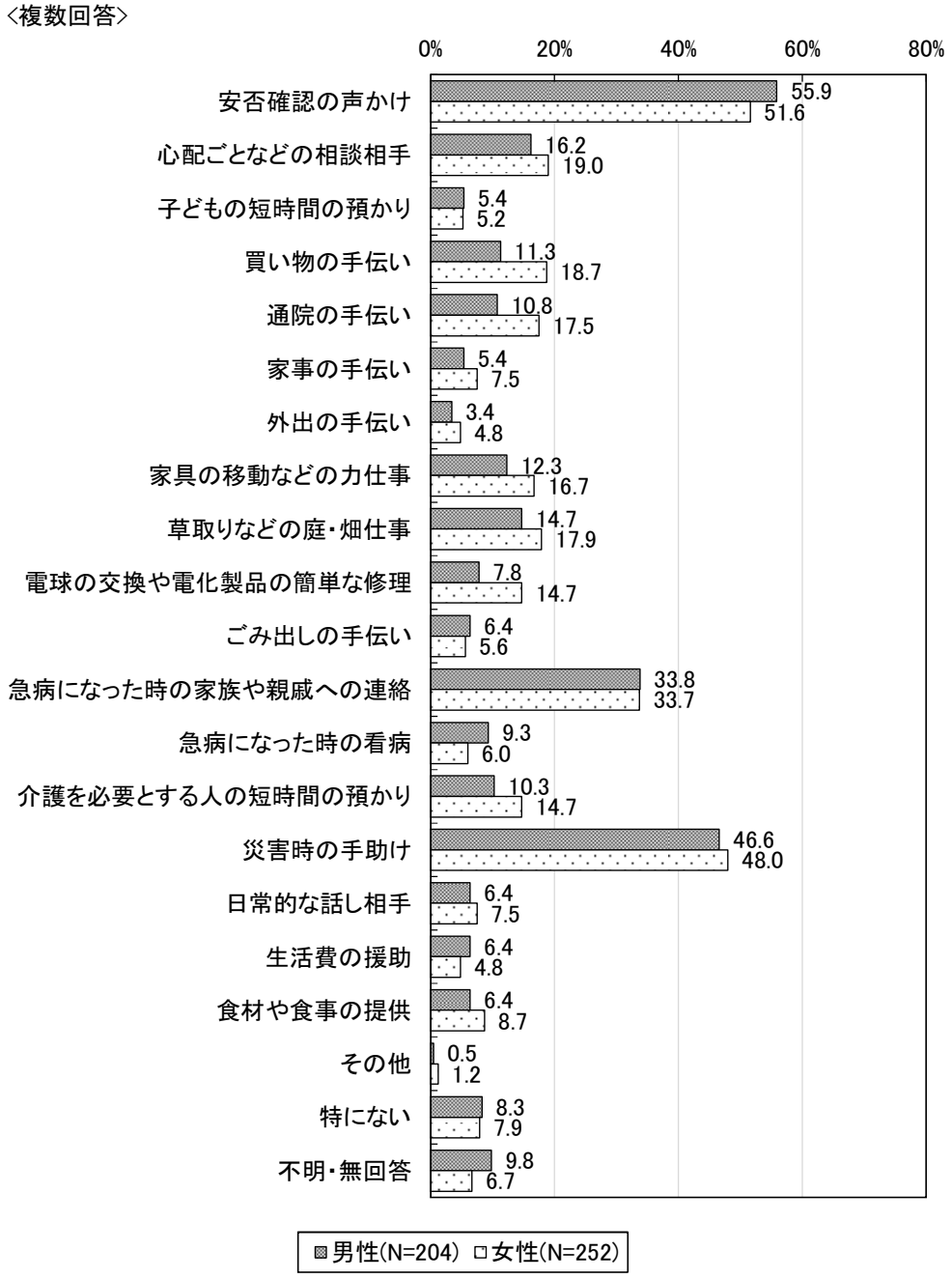



「安否確認の声かけ」が 53.5%と最も高く、次いで「災害時の手助け」が 47.7%、「急病になった時の家族や親戚への連絡」が 34.0%となっています。

**【その他回答】**

・子どもの見守り
・その時の状況による
・わからない（２）

【性別グラフ】




性別にみると、男女ともに「安否確認の声かけ」の割合が高く、男性が 55.9%、女性は 51.6%と、男性が女性を 4.3 ポイント上回っています。また、「買い物の手伝い」では、女性が 18.7%、男性は 11.3%と、女性が男性を 7.4 ポイント上回っています。

【年齢別表】

単位：%

| 〈複数回答〉 | 安否確認の声かけ | 心配ごとなどの相談相手 | 子どもの短時間の預かり | 買い物の手伝い | 通院の手伝い | 家事の手伝い | 外出の手伝い | 家具の移動などの力仕事 | 草取りなどの庭・畑仕事 | 電球の交換や電化製品の簡単な修理 | ごみ出しの手伝い |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=63) | 43.3 | 20.0 | 6.7 | 10.0 | 13.3 | 3.3 | 3.3 | 23.3 | 3.3 | 10.0 | 3.3 |
| 30 歳代(N=127) | 60.4 | 22.6 | 13.2 | 11.3 | 13.2 | 5.7 | 5.7 | 11.3 | 9.4 | 7.5 | 7.5 |
| 40 歳代(N=142) | 69.5 | 13.6 | 11.9 | 13.6 | 15.3 | 8.5 | 5.1 | 22.0 | 13.6 | 10.2 | 6.8 |
| 50 歳代(N=104) | 59.7 | 28.4 | 7.5 | 26.9 | 23.9 | 14.9 | 4.5 | 11.9 | 17.9 | 13.4 | 10.4 |
| 60 歳代(N=176) | 46.2 | 17.0 | 2.8 | 16.0 | 13.2 | 2.8 | 3.8 | 15.1 | 23.6 | 8.5 | 2.8 |
| 70 歳代(N=140) | 50.0 | 12.0 | 0.0 | 13.0 | 10.9 | 3.3 | 4.3 | 14.1 | 16.3 | 17.4 | 6.5 |
| 80 歳代以上(N=35) | 45.8 | 14.6 | 0.0 | 12.5 | 12.5 | 10.4 | 2.1 | 6.3 | 18.8 | 12.5 | 4.2 |

| 〈複数回答〉 | 急病になった時の家族や親戚への連絡 | 急病になった時の看病 | 介護を必要とする人の短時間の預かり | 災害時の手助け | 日常的な話し相手 | 生活費の援助 | 食材や食事の提供 | その他 | 特にない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=63) | 40.0 | 0.0 | 6.7 | 60.0 | 10.0 | 6.7 | 10.0 | 0.0 | 6.7 | 3.3 |
| 30 歳代(N=127) | 30.2 | 5.7 | 7.5 | 41.5 | 7.5 | 3.8 | 9.4 | 3.8 | 7.5 | 9.4 |
| 40 歳代(N=142) | 33.9 | 6.8 | 18.6 | 55.9 | 6.8 | 13.6 | 11.9 | 0.0 | 11.9 | 3.4 |
| 50 歳代(N=104) | 37.3 | 11.9 | 22.4 | 58.2 | 9.0 | 9.0 | 20.9 | 0.0 | 3.0 | 4.5 |
| 60 歳代(N=176) | 34.0 | 4.7 | 16.0 | 50.0 | 9.4 | 2.8 | 4.7 | 0.0 | 6.6 | 9.4 |
| 70 歳代(N=140) | 34.8 | 9.8 | 6.5 | 39.1 | 2.2 | 3.3 | 0.0 | 2.2 | 10.9 | 9.8 |
| 80 歳代以上(N=35) | 25.0 | 10.4 | 6.3 | 31.3 | 6.3 | 2.1 | 2.1 | 0.0 | 10.4 | 14.6 |

年代別でみると、20 歳代、50 歳代では「災害時の手助け」、30 歳代から 50 歳代、70 歳代以上では「安否確認の声かけ」の割合が高くなっています。

【小学校区別表】

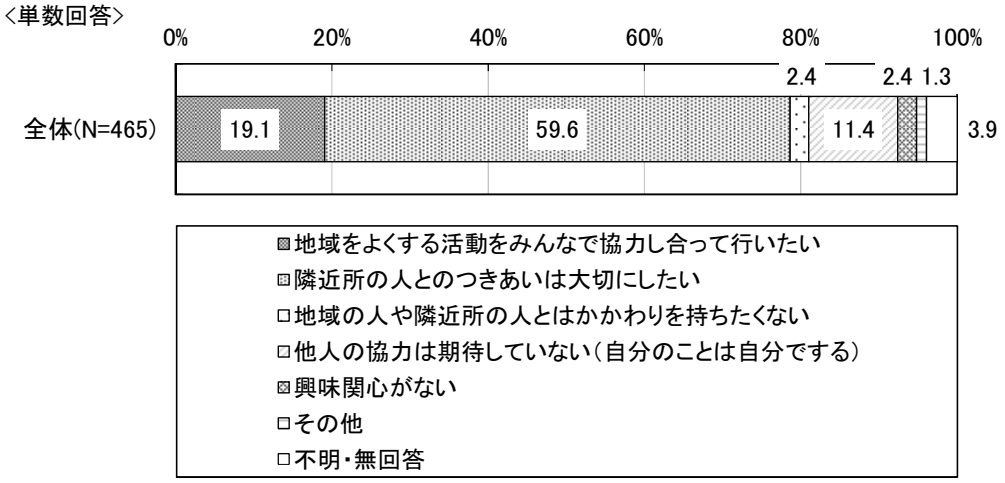
単位：%

| 〈複数回答〉 | 安否確認の声かけ | 心配ごとなどの相談相手 | 子どもの短時間の預かり | 買い物の手伝い | 通院の手伝い | 家事の手伝い | 外出の手伝い | 家具の移動などの力仕事 | 草取りなどの庭・畑仕事 | 電球の交換や電化製品の簡単な修理 | ごみ出しの手伝い |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区(N=67) | 55.2 | 19.4 | 6.0 | 22.4 | 17.9 | 13.4 | 10.4 | 22.4 | 20.9 | 14.9 | 9.0 |
| 太宰府東小学校区(N=39) | 61.5 | 23.1 | 0.0 | 7.7 | 10.3 | 2.6 | 0.0 | 10.3 | 7.7 | 7.7 | 0.0 |
| 太宰府南小学校区(N=43) | 41.9 | 18.6 | 2.3 | 18.6 | 18.6 | 2.3 | 4.7 | 16.3 | 27.9 | 14.0 | 4.7 |
| 水城小学校区(N=69) | 59.4 | 23.2 | 8.7 | 17.4 | 14.5 | 4.3 | 0.0 | 11.6 | 23.2 | 15.9 | 8.7 |
| 水城西小学校区(N=39) | 59.0 | 20.5 | 7.7 | 10.3 | 5.1 | 2.6 | 2.6 | 7.7 | 5.1 | 12.8 | 2.6 |
| 太宰府西小学校区(N=107) | 51.4 | 10.3 | 5.6 | 15.9 | 11.2 | 7.5 | 4.7 | 15.9 | 16.8 | 6.5 | 5.6 |
| 国分小学校区(N=60) | 50.0 | 15.0 | 1.7 | 11.7 | 15.0 | 5.0 | 5.0 | 15.0 | 15.0 | 11.7 | 6.7 |

| 〈複数回答〉 | 急病になった時の家族や親戚への連絡 | 急病になった時の看病 | 介護を必要とする人の短時間の預かり | 災害時の手助け | 日常的な話し相手 | 生活費の援助 | 食材や食事の提供 | その他 | 特にない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区(N=67) | 34.3 | 11.9 | 11.9 | 43.3 | 11.9 | 11.9 | 9.0 | 0.0 | 11.9 | 6.0 |
| 太宰府東小学校区(N=39) | 33.3 | 5.1 | 12.8 | 51.3 | 10.3 | 0.0 | 5.1 | 0.0 | 10.3 | 7.7 |
| 太宰府南小学校区(N=43) | 37.2 | 14.0 | 23.3 | 46.5 | 11.6 | 7.0 | 7.0 | 0.0 | 4.7 | 9.3 |
| 水城小学校区(N=69) | 36.2 | 7.2 | 14.5 | 55.1 | 2.9 | 5.8 | 8.7 | 2.9 | 5.8 | 7.2 |
| 水城西小学校区(N=39) | 33.3 | 7.7 | 5.1 | 38.5 | 2.6 | 2.6 | 2.6 | 2.6 | 7.7 | 7.7 |
| 太宰府西小学校区(N=107) | 36.4 | 2.8 | 10.3 | 45.8 | 7.5 | 1.9 | 7.5 | 0.9 | 7.5 | 6.5 |
| 国分小学校区(N=60) | 25.0 | 1.7 | 10.0 | 46.7 | 6.7 | 1.7 | 3.3 | 0.0 | 8.3 | 10.0 |

小学校区別にみると、太宰府南小学校区では「災害時の手助け」、それ以外の小学校区では「安否確認の声かけ」の割合が高くなっています。

## 問９ 地域での人と人とのかかわりについて、あなたのお考えに近いものをお選びください。（１つだけ○）

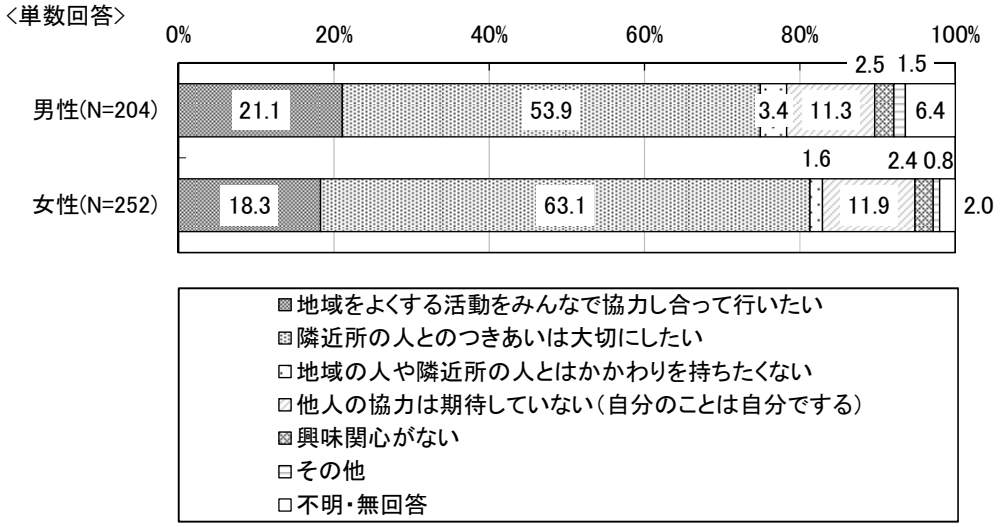



「隣近所の人とのつきあいは大切にしたい」が 59.6%と最も高く、次いで「地域をよくする活動をみんなで協力し合って行いたい」が 19.1%、「他人の協力は期待していない（自分のことは自分でする）」が 11.4%となっています。

【その他回答】

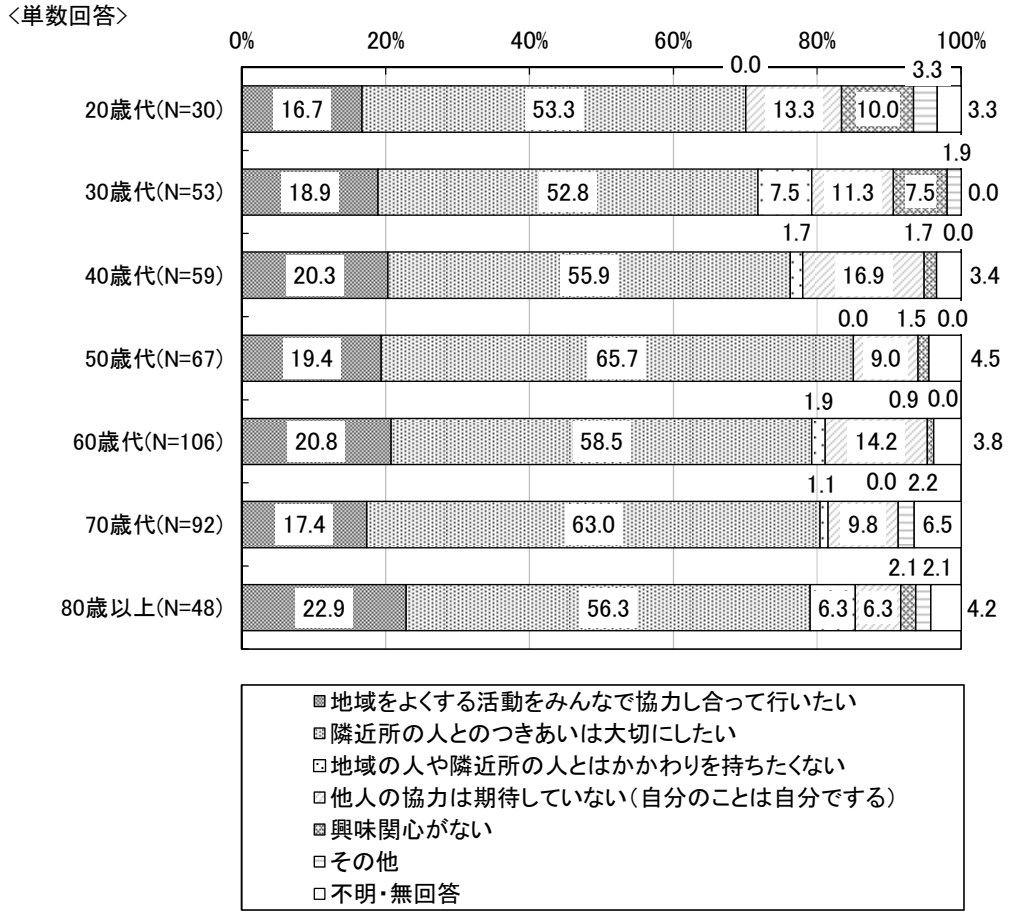
・地域の人とは、いつでも助け合うことのできる関係でいたい

【性別グラフ】



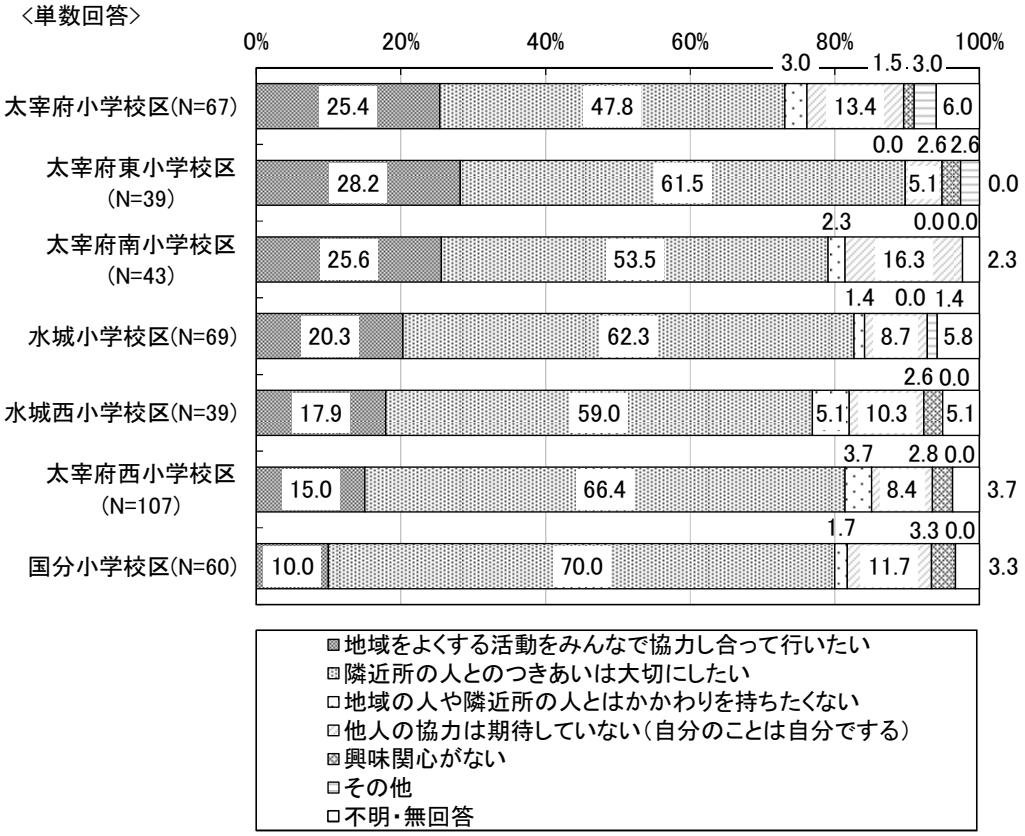

性別にみると、男女ともに「隣近所の人とのつきあいは大切にしたい」の割合が最も高く、女性が 63.1%、男性が 53.9%となっており、女性が男性を 9.2 ポイント上回っています。

【年代別グラフ】



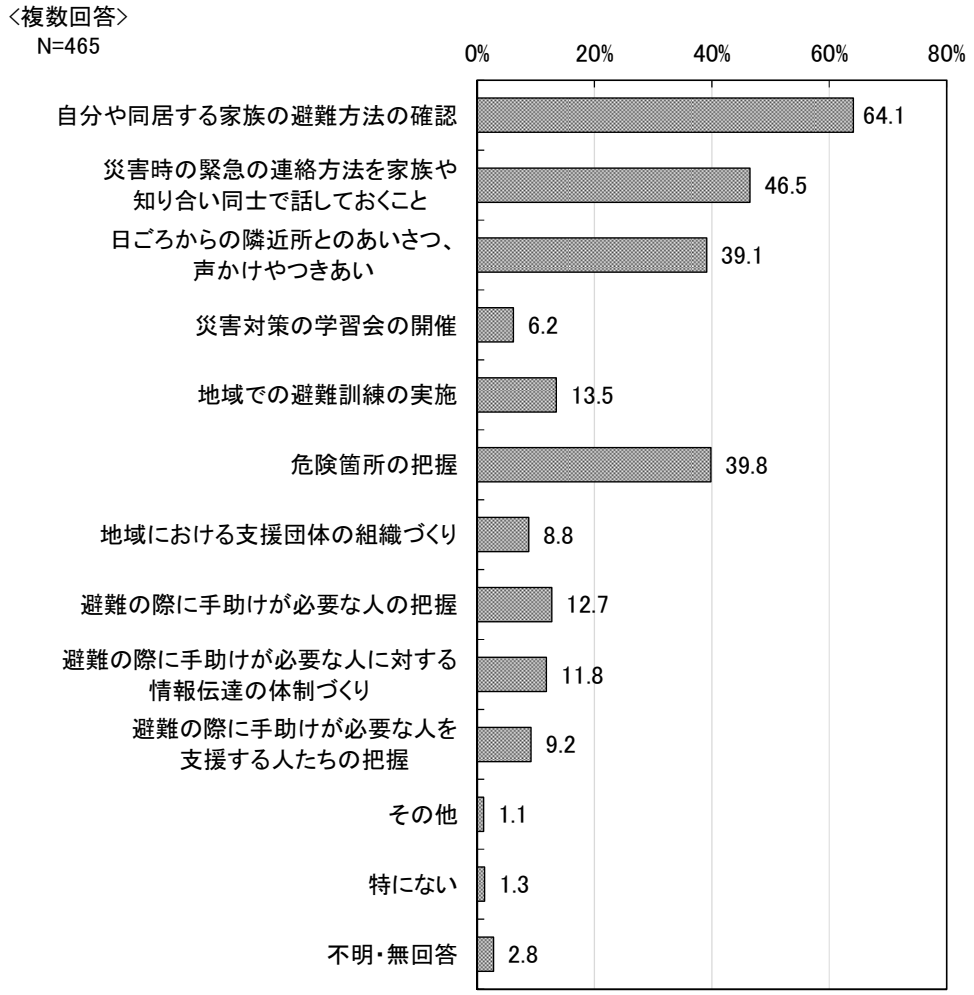

年代別にみると、どの年代においても「隣近所の人とのつきあいは大切にしたい」の割合が最も高くなっています。また、80 歳以上では「地域をよくする活動をみんなで協力し合って行いたい」が 22.9%と他の年代と比較して高くなっています。一方、40 歳代では「他人の協力は期待していない（自分のことは自分でする）」が 16.9%と、他の年代と比較して高くなっています。

【小学校区別グラフ】




小学校区別にみると、どの小学校区においても「隣近所の人とのつきあいは大切にしたい」の割合が高く、国分小学校区では 70.0%と他の小学校区と比較して高くなっています。また、太宰府東小学校区では「地域をよくする活動をみんなで協力し合って行いたい」が 28.2%と他の小学校区と比較して高くなっています。

**問 10 地震や台風などの災害時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。（○は３つまで）**

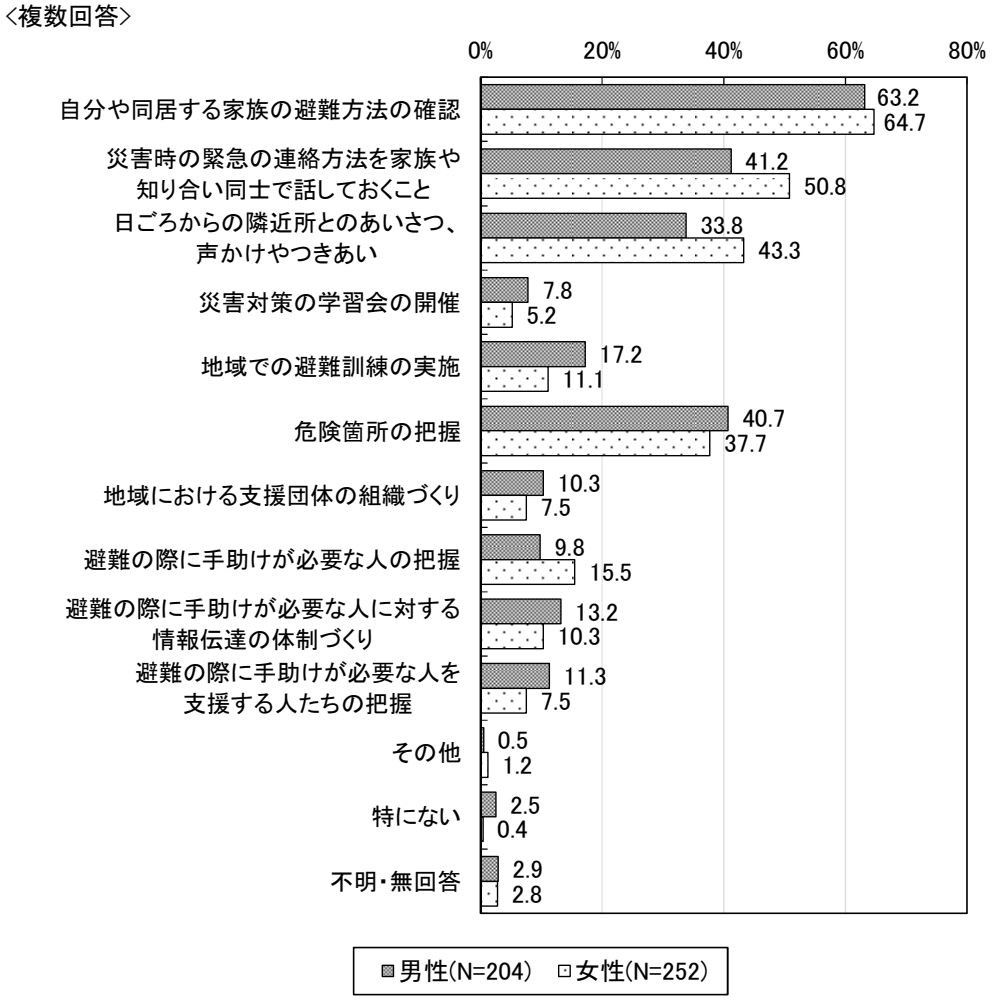



「自分や同居する家族の避難方法の確認」が 64.1％と最も高く、次いで「災害時の緊急の連絡方法を家族や知り合い同士で話しておくこと」が 46.5％、「危険箇所の把握」が 39.8％となっています。

**【その他回答】**

・災害が起きても安心して住める街づくり
・自治体からの正しく早い情報提供
・全て重要

【性別グラフ】




性別にみると、男女ともに「自分や同居する家族の避難方法の確認」の割合が高くなっています。また、「災害時の緊急の連絡方法を家族や知り合い同士で話しておくこと」、「日ごろからの隣近所とのあいさつ、声かけやつきあい」では、女性が男性を 9 ポイント以上、「危険箇所の把握」では、男性が女性を 3.0 ポイント上回っています。

【年齢別表】

単位：%

| 〈複数回答〉 | 自分や同居する家族の避難方法の確認 | 災害時の緊急の連絡方法を家族や知り合い同士で話しておくこと | 日ごろからの隣近所とのあいさつ、声かけやつきあい | 災害対策の学習会の開催 | 地域での避難訓練の実施 | 危険箇所の把握 | 地域における支援団体の組織づくり | 避難の際に手助けが必要な人の把握 | 避難の際に手助けが必要な人に対する情報伝達の体制づくり | 避難の際に手助けが必要な人を支援する人たちの把握 | その他 | 特にない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=30) | 70.0 | 60.0 | 23.3 | 3.3 | 6.7 | 60.0 | 3.3 | 16.7 | 13.3 | 6.7 | 3.3 | 0.0 | 3.3 |
| 30 歳代(N=53) | 75.5 | 52.8 | 24.5 | 3.8 | 18.9 | 58.5 | 7.5 | 9.4 | 11.3 | 7.5 | 1.9 | 1.9 | 0.0 |
| 40 歳代(N=59) | 78.0 | 44.1 | 32.2 | 10.2 | 13.6 | 40.7 | 8.5 | 15.3 | 11.9 | 6.8 | 1.7 | 0.0 | 1.7 |
| 50 歳代(N=67) | 65.7 | 50.7 | 43.3 | 6.0 | 10.4 | 35.8 | 9.0 | 11.9 | 16.4 | 6.0 | 1.5 | 0.0 | 3.0 |
| 60 歳代(N=106) | 62.3 | 48.1 | 45.3 | 3.8 | 9.4 | 39.6 | 10.4 | 8.5 | 7.5 | 10.4 | 0.0 | 1.9 | 2.8 |
| 70 歳代(N=92) | 53.3 | 43.5 | 44.6 | 9.8 | 21.7 | 29.3 | 10.9 | 14.1 | 13.0 | 8.7 | 0.0 | 1.1 | 5.4 |
| 80 歳以上(N=48) | 52.1 | 31.3 | 43.8 | 4.2 | 12.5 | 22.9 | 6.3 | 20.8 | 10.4 | 18.8 | 0.0 | 4.2 | 2.1 |

年代別にみると、どの年代においても「自分や同居する家族の避難方法の確認」の割合が最も高くなっています。また、20 歳代、30 歳代では「危険箇所の把握」が他の年代と比較して高くなっています。

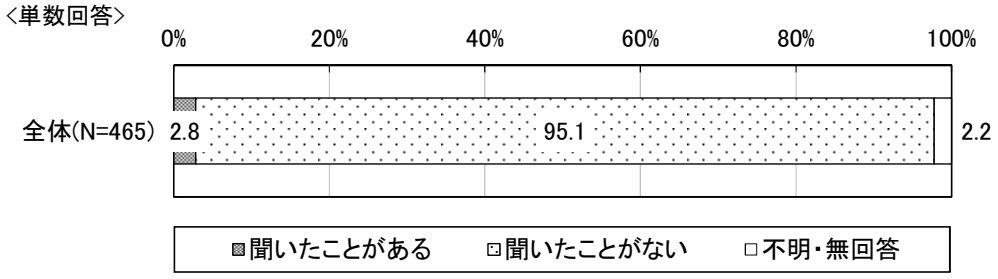
【小学校区別表】

単位：%

| 〈複数回答〉 | 自分や同居する家族の避難方法の確認 | 災害時の緊急の連絡方法を家族や知り合い同士で話しておくこと | 日ごろからの隣近所とのあいさつ、声かけやつきあい | 災害対策の学習会の開催 | 地域での避難訓練の実施 | 危険箇所の把握 | 地域における支援団体の組織づくり | 避難の際に手助けが必要な人の把握 | 避難の際に手助けが必要な人に対する情報伝達の体制づくり | 避難の際に手助けが必要な人を支援する人たちの把握 | その他 | 特にない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区(N=67) | 58.2 | 44.8 | 31.3 | 6.0 | 10.4 | 43.3 | 6.0 | 14.9 | 14.9 | 11.9 | 1.5 | 3.0 | 4.5 |
| 太宰府東小学校区(N=39) | 64.1 | 48.7 | 43.6 | 0.0 | 10.3 | 35.9 | 15.4 | 10.3 | 17.9 | 23.1 | 2.6 | 2.6 | 0.0 |
| 太宰府南小学校区(N=43) | 65.1 | 48.8 | 39.5 | 7.0 | 11.6 | 30.2 | 9.3 | 14.0 | 4.7 | 7.0 | 0.0 | 0.0 | 2.3 |
| 水城小学校区(N=69) | 69.6 | 47.8 | 36.2 | 8.7 | 20.3 | 42.0 | 10.1 | 11.6 | 13.0 | 7.2 | 0.0 | 0.0 | 2.9 |
| 水城西小学校区(N=39) | 59.0 | 35.9 | 51.3 | 12.8 | 12.8 | 41.0 | 5.1 | 15.4 | 17.9 | 7.7 | 0.0 | 2.6 | 0.0 |
| 太宰府西小学校区(N=107) | 68.2 | 53.3 | 39.3 | 7.5 | 16.8 | 34.6 | 8.4 | 16.8 | 8.4 | 7.5 | 0.0 | 0.0 | 2.8 |
| 国分小学校区(N=60) | 61.7 | 41.7 | 46.7 | 5.0 | 6.7 | 48.3 | 8.3 | 6.7 | 8.3 | 6.7 | 0.0 | 3.3 | 5.0 |

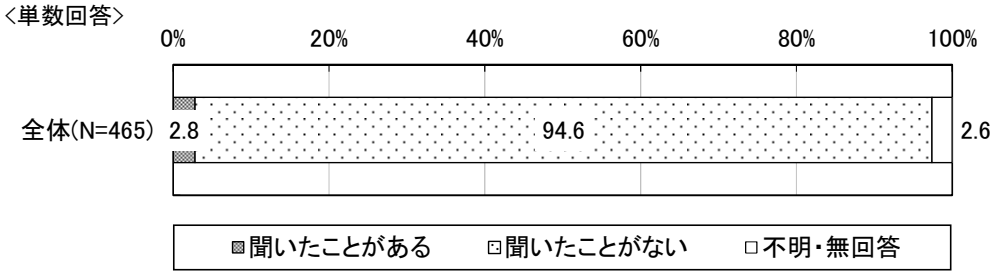
小学校区別にみると、どの小学校区においても「自分や同居する家族の避難方法の確認」の割合が最も高くなっています。

**問 11 あなたがお住まいの地域の出来事として、家族などによる虐待について耳にしたことがありますか。（１つだけ○）**



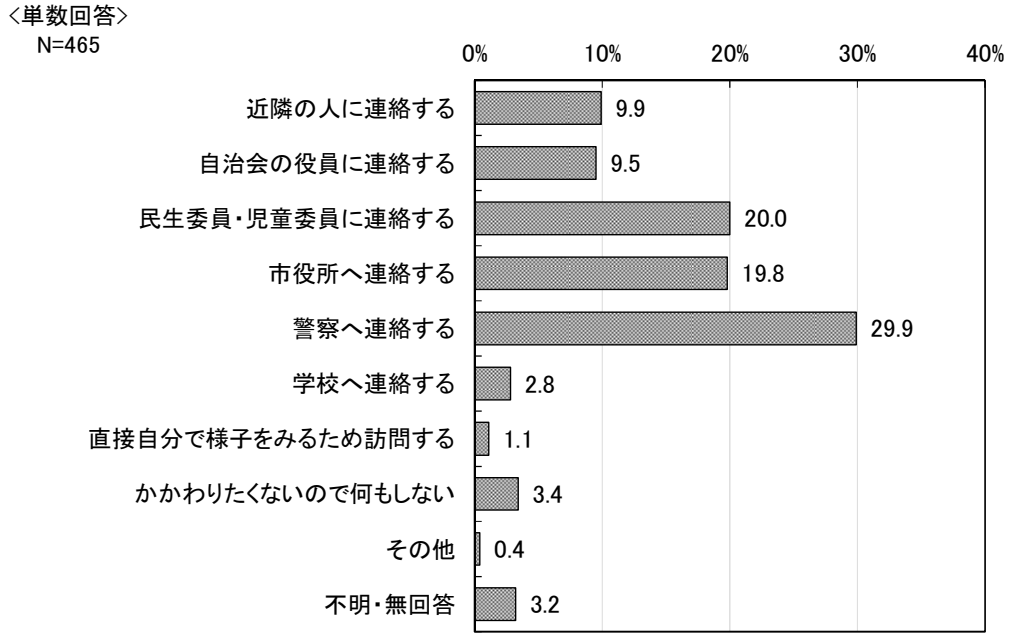

「聞いたことがない」が 95.1％と９割を超えています。

**問 12 あなたがお住まいの地域の出来事として、夫婦間の暴力について耳にしたことがありますか。（１つだけ○）**




「聞いたことがない」が 94.6％と９割を超えています。

**問 13 もしあなたの周囲で、虐待が発生しているとあなた自身が思われたら、最初にどのように対応しますか。（１つだけ○）**



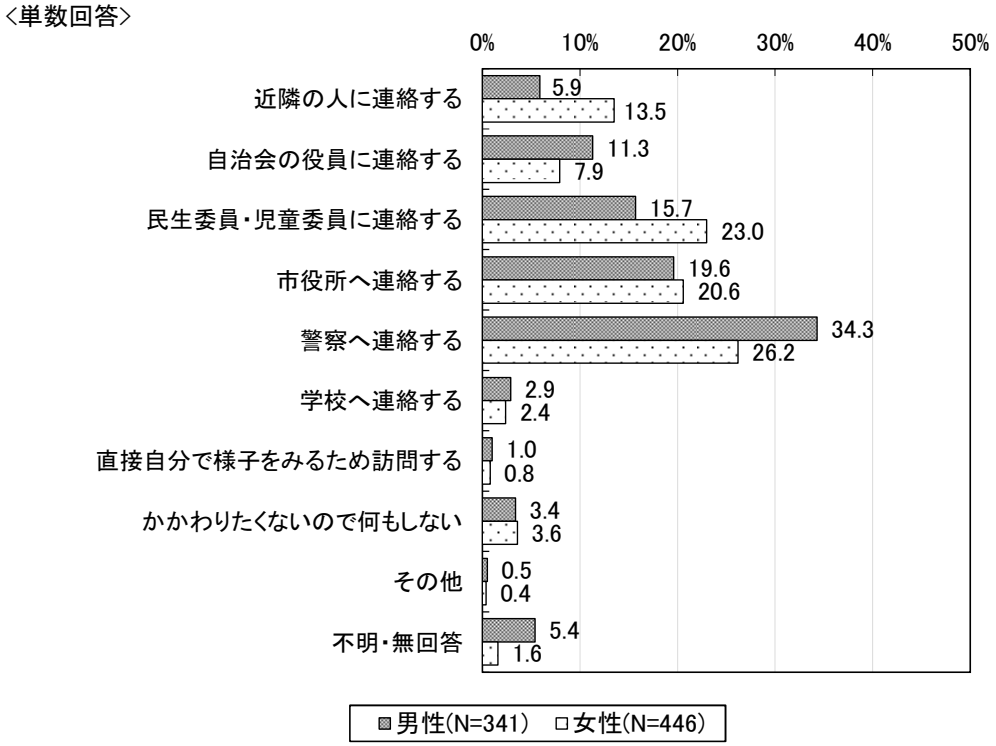

「警察へ連絡する」が 29.9%と最も高く、次いで「民生委員・児童委員に連絡する」が 20.0%、「市役所へ連絡する」が 19.8%となっています

**【その他回答】**

・家族に相談

・わからない

【性別グラフ】




性別でみると、男女ともに「警察へ連絡する」の割合が最も高く、男性が 34.3%、女性は 26.2%と男性が女性より 8.1 ポイント上回っています。また、「近隣の人に連絡する」、「民生委員・児童委員に連絡する」では、女性が男性より７ポイント以上、上回っています。

【年齢別表】

単位：%

| 〈単数回答〉 | 近隣の人に連絡する | 自治会の役員に連絡する | 民生委員・児童委員に連絡する | 市役所へ連絡する | 警察へ連絡する | 学校へ連絡する | 直接自分で様子をみるため訪問する | かかわりたくないので何もしない | その他 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=30) | 10.0 | 6.7 | 3.3 | 10.0 | 40.0 | 6.7 | 6.7 | 6.7 | 3.3 | 6.7 |
| 30 歳代(N=53) | 3.8 | 3.8 | 5.7 | 32.1 | 41.5 | 3.8 | 1.9 | 5.7 | 0.0 | 1.9 |
| 40 歳代(N=59) | 5.1 | 0.0 | 18.6 | 37.3 | 28.8 | 5.1 | 1.7 | 3.4 | 0.0 | 0.0 |
| 50 歳代(N=67) | 10.4 | 6.0 | 20.9 | 22.4 | 29.9 | 4.5 | 0.0 | 1.5 | 0.0 | 4.5 |
| 60 歳代(N=106) | 13.2 | 11.3 | 18.9 | 17.9 | 30.2 | 1.9 | 0.0 | 2.8 | 0.9 | 2.8 |
| 70 歳代(N=92) | 8.7 | 14.1 | 30.4 | 13.0 | 26.1 | 0.0 | 0.0 | 2.2 | 0.0 | 5.4 |
| 80 歳以上(N=48) | 18.8 | 18.8 | 27.1 | 8.3 | 18.8 | 0.0 | 0.0 | 6.3 | 0.0 | 2.1 |

年代別にみると、20 歳代、30 歳代、50 歳代、60 歳代では「警察へ連絡する」、40 歳代では「市役所へ連絡する」、70 歳代、80 歳以上では「民生委員・児童委員に連絡する」の割合が高くなっています。

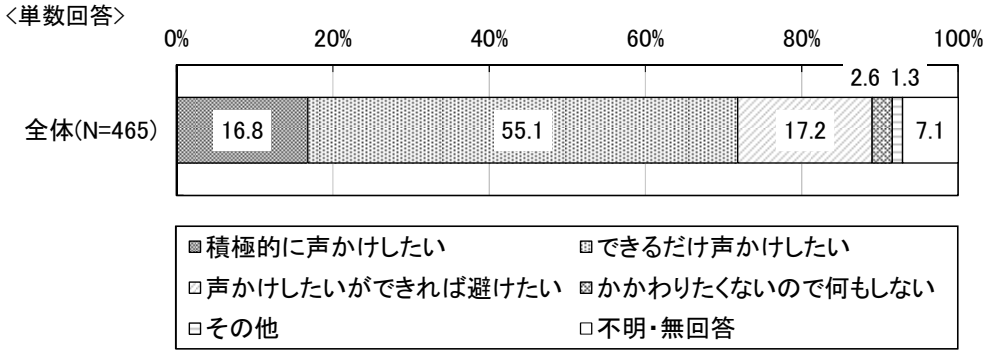
【小学校区別表】

単位：%

| 〈単数回答〉 | 近隣の人に連絡する | 自治会の役員に連絡する | 民生委員・児童委員に連絡する | 市役所へ連絡する | 警察へ連絡する | 学校へ連絡する | 直接自分で様子をみるため訪問する | かかわりたくないので何もしない | その他 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区 (N=67) | 7.5 | 9.0 | 22.4 | 14.9 | 31.3 | 4.5 | 0.0 | 3.0 | 0.0 | 7.5 |
| 太宰府東小学校区 (N=39) | 15.4 | 10.3 | 17.9 | 25.6 | 28.2 | 0.0 | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 太宰府南小学校区 (N=43) | 14.0 | 11.6 | 18.6 | 25.6 | 18.6 | 7.0 | 0.0 | 2.3 | 0.0 | 2.3 |
| 水城小学校区 (N=69) | 8.7 | 4.3 | 24.6 | 24.6 | 29.0 | 4.3 | 0.0 | 1.4 | 0.0 | 2.9 |
| 水城西小学校区 (N=39) | 0.0 | 12.8 | 15.4 | 23.1 | 35.9 | 5.1 | 0.0 | 5.1 | 0.0 | 2.6 |
| 太宰府西小学校区 (N=107) | 15.0 | 9.3 | 19.6 | 14.0 | 32.7 | 0.9 | 1.9 | 4.7 | 0.0 | 1.9 |
| 国分小学校区 (N=60) | 6.7 | 15.0 | 21.7 | 25.0 | 23.3 | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 3.3 | 3.3 |

小学校区別にみると、太宰府南小学校区、国分小学校区では「市役所へ連絡する」、それ以外の小学校区では「警察へ連絡する」の割合が高くなっています。

**問 14 認知症と思われる人がまちのなかで戸惑っている様子を見かけた時、あなた自身はどのように対応したいと思いますか。（１つだけ○）**

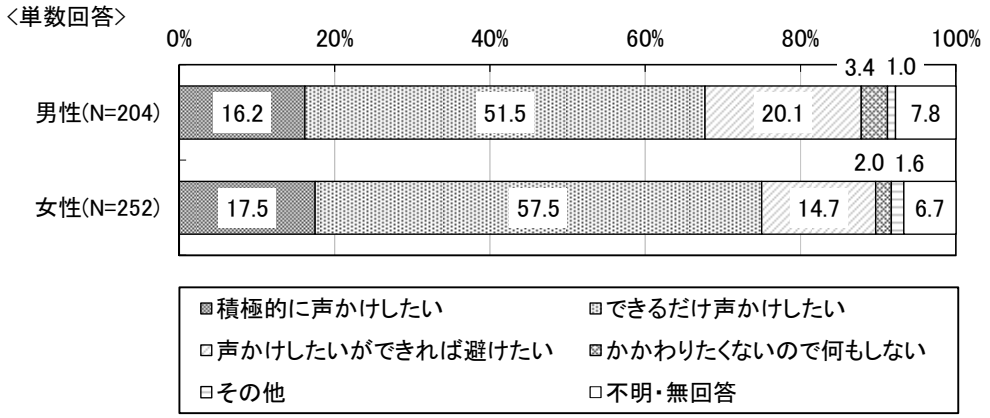



「できるだけ声かけしたい」が 55.1%と最も高く、次いで「声かけしたいができれば避けたい」が 17.2%、「積極的に声かけしたい」が 16.8%となっています。

**【その他回答】**

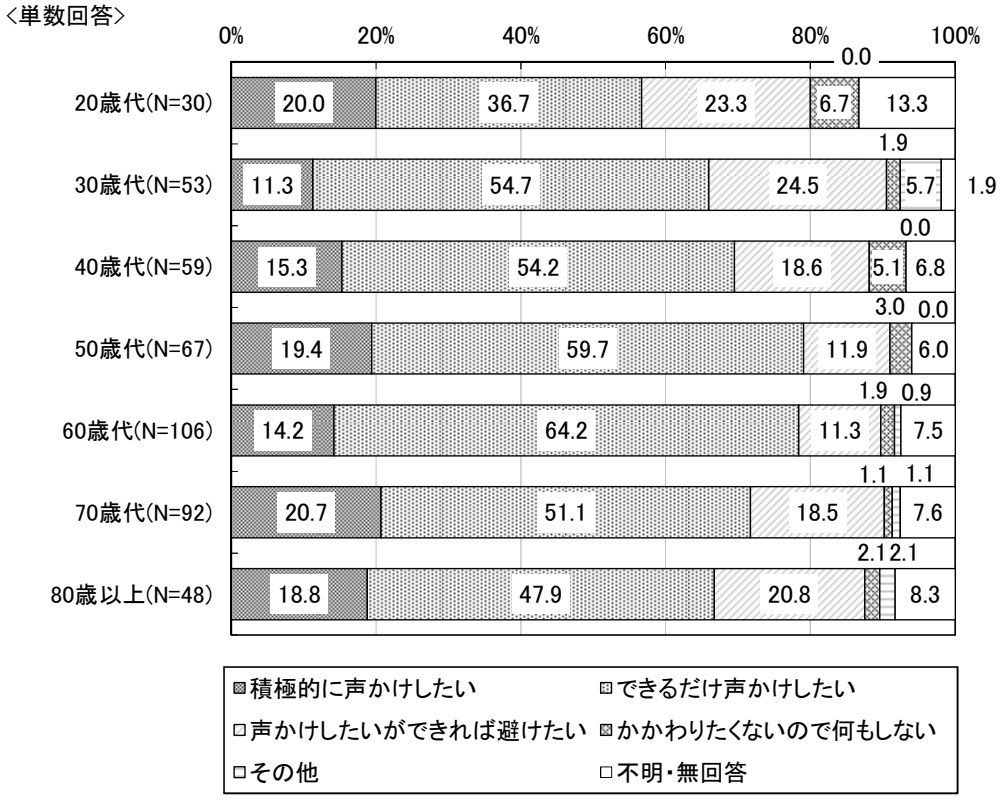
・一人では声かけしにくいので、家族もしくは知人を呼んでから声かけする
・声かけはせず警察に連絡する
・外との接点がない
・高齢のため（２）

**【性別グラフ】**



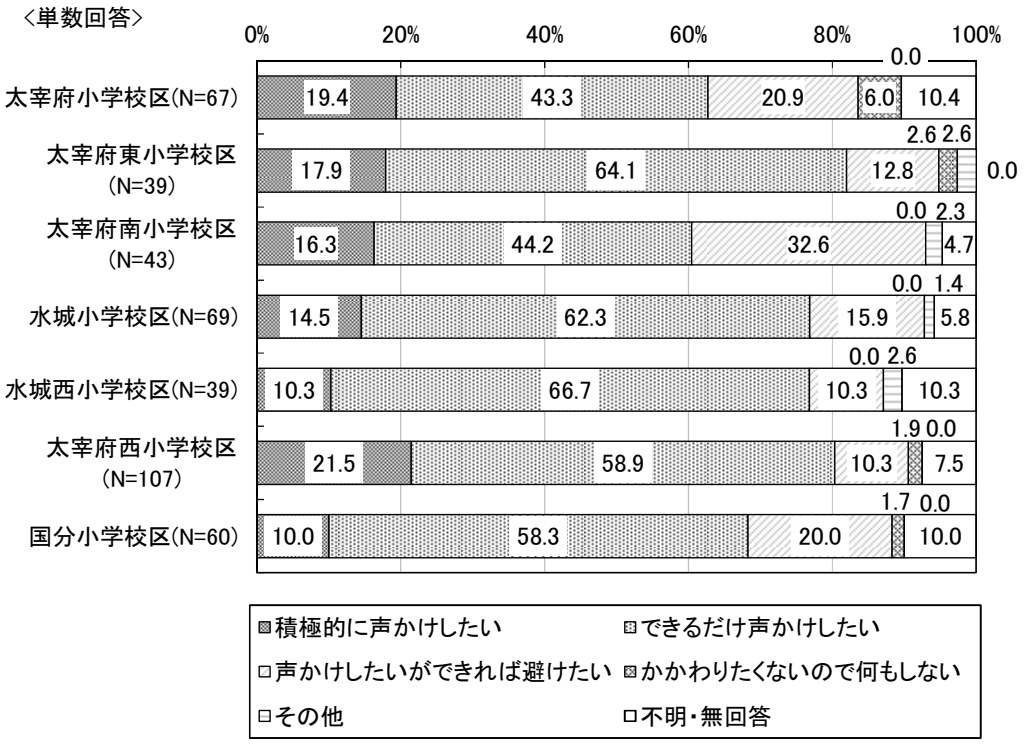

性別にみると、男女ともに「できるだけ声かけしたい」の割合が高く、女性が 57.5%、男性が 51.5%と、女性が男性より 6.0 ポイント上回っています。また、「声かけしたいができれば避けたい」では、男性が女性より 5.4 ポイント上回っています。

【年代別グラフ】




年代別にみると、どの年代においても「できるだけ声かけしたい」の割合が高くなっています。また、70 歳代では「積極的に声かけしたい」が 20.7%と、他の年代と比較してやや高くなっています。

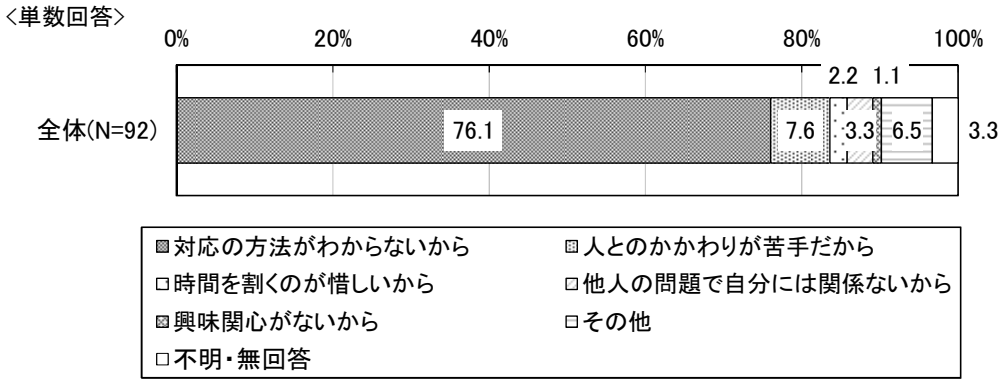
【小学校区別グラフ】




小学校区別にみると、どの小学校区においても「できるだけ声かけしたい」の割合が高くなっています。また、太宰府西小学校区では「積極的に声かけしたい」が 21.5%と、他の小学校区と比較して高くなっています。一方、太宰府小学校区では「かかわりたくないので何もしない」が 6.0%と、他の小学校区と比較してやや高くなっています。

**※問 14 で「声かけしたいができれば避けたい」、「４　かかわりたくないので何もしない」と回答した人にうかがいます。**

**問 14-１　そのように考えるのはどのような理由からですか。（１つだけ○）**

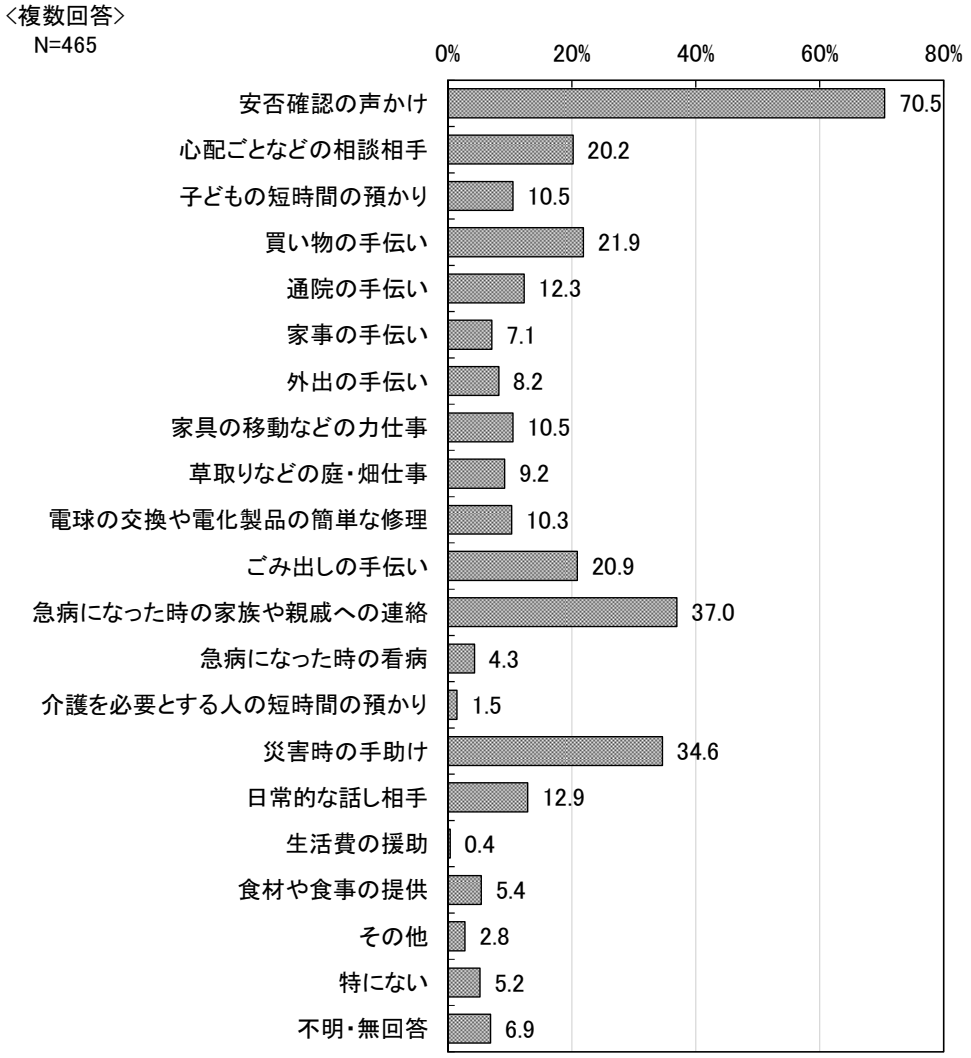



「対応の方法がわからないから」が 76.1％と、約８割を占めています。

**【その他回答】**

・どのタイプの認知症かわからないので、子どもに危険があると嫌だから
・危険なので
・認知症はそう簡単ではないから
・持病があるから
・高齢のため
・多忙のため
・身内がしっかりしていないと戸惑うだけ

**問 15 あなたの身近なところで、困っている人がいた場合、あなた自身はどのような支援ができると思いますか。（あてはまるものすべてに○）**

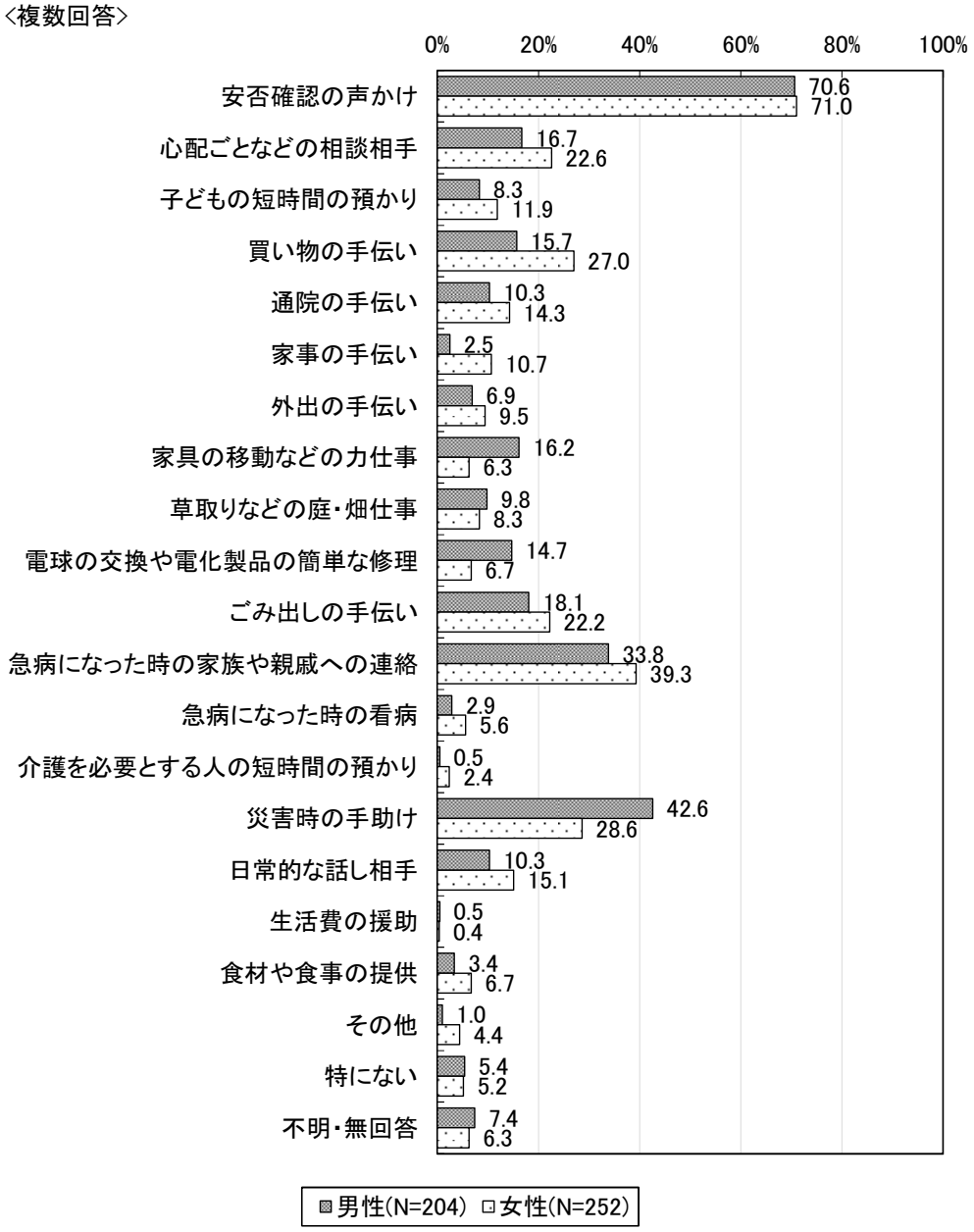



「安否確認の声かけ」が 70.5%と最も高く、次いで「急病になった時の家族や親戚への連絡」が 37.0%、「災害時の手助け」が 34.6%となっています。

**【その他回答】**

・求められて時間があれば何でもしたいと思っている
・自分にできる事はする
・状況に応じて対応を考えたい
・医療用装具の付け方
・警察への連絡
・自治体等への連絡
・高齢のため困難（３）

【性別グラフ】




性別にみると、男女ともに「安否確認の声かけ」の割合が高くなっています。また、「災害時の手助け」では男性が女性より 14.0 ポイント、「買い物の手伝い」では女性が男性より 11.3 ポイント上回っています。

【年齢別表】

単位：%

| 〈複数回答〉 | 安否確認の声かけ | 心配ごとなどの相談相手 | 子どもの短時間の預かり | 買い物の手伝い | 通院の手伝い | 家事の手伝い | 外出の手伝い | 家具の移動などの力仕事 | 草取りなどの庭・畑仕事 | 電球の交換や電化製品の簡単な修理 | ごみ出しの手伝い |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=63) | 63.3 | 30.0 | 10.0 | 33.3 | 13.3 | 10.0 | 10.0 | 26.7 | 13.3 | 20.0 | 30.0 |
| 30 歳代(N=127) | 71.7 | 18.9 | 11.3 | 20.8 | 11.3 | 5.7 | 7.5 | 11.3 | 11.3 | 7.5 | 22.6 |
| 40 歳代(N=142) | 74.6 | 20.3 | 15.3 | 22.0 | 11.9 | 13.6 | 8.5 | 20.3 | 10.2 | 11.9 | 20.3 |
| 50 歳代(N=104) | 77.6 | 14.9 | 13.4 | 26.9 | 17.9 | 9.0 | 16.4 | 14.9 | 11.9 | 11.9 | 29.9 |
| 60 歳代(N=176) | 73.6 | 20.8 | 10.4 | 27.4 | 17.0 | 8.5 | 7.5 | 6.6 | 9.4 | 11.3 | 18.9 |
| 70 歳代(N=140) | 69.6 | 20.7 | 7.6 | 15.2 | 6.5 | 3.3 | 7.6 | 5.4 | 5.4 | 7.6 | 18.5 |
| 80 歳代以上(N=35) | 56.3 | 18.8 | 4.2 | 10.4 | 6.3 | 0.0 | 0.0 | 2.1 | 4.2 | 6.3 | 4.2 |

| 〈複数回答〉 | 急病になった時の家族や親戚への連絡 | 急病になった時の看病 | 介護を必要とする人の短時間の預かり | 災害時の手助け | 日常的な話し相手 | 生活費の援助 | 食材や食事の提供 | その他 | 特にない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=63) | 43.3 | 0.0 | 0.0 | 46.7 | 26.7 | 0.0 | 3.3 | 0.0 | 3.3 | 10.0 |
| 30 歳代(N=127) | 35.8 | 5.7 | 1.9 | 43.4 | 7.5 | 0.0 | 7.5 | 3.8 | 3.8 | 9.4 |
| 40 歳代(N=142) | 37.3 | 3.4 | 0.0 | 40.7 | 10.2 | 0.0 | 1.7 | 5.1 | 10.2 | 6.8 |
| 50 歳代(N=104) | 41.8 | 7.5 | 3.0 | 43.3 | 11.9 | 1.5 | 7.5 | 1.5 | 4.5 | 3.0 |
| 60 歳代(N=176) | 36.8 | 3.8 | 1.9 | 34.9 | 13.2 | 0.0 | 5.7 | 0.9 | 2.8 | 4.7 |
| 70 歳代(N=140) | 33.7 | 6.5 | 0.0 | 28.3 | 13.0 | 1.1 | 6.5 | 3.3 | 3.3 | 9.8 |
| 80 歳代以上(N=35) | 33.3 | 0.0 | 4.2 | 10.4 | 14.6 | 0.0 | 2.1 | 6.3 | 12.5 | 6.3 |

年代別にみると、どの年代においても「安否確認の声かけ」の割合が高くなっています。また、20 歳代では「災害時の手助け」が 46.7%と他の年代と比較して高くなっています。

【小学校区別表】

単位：%

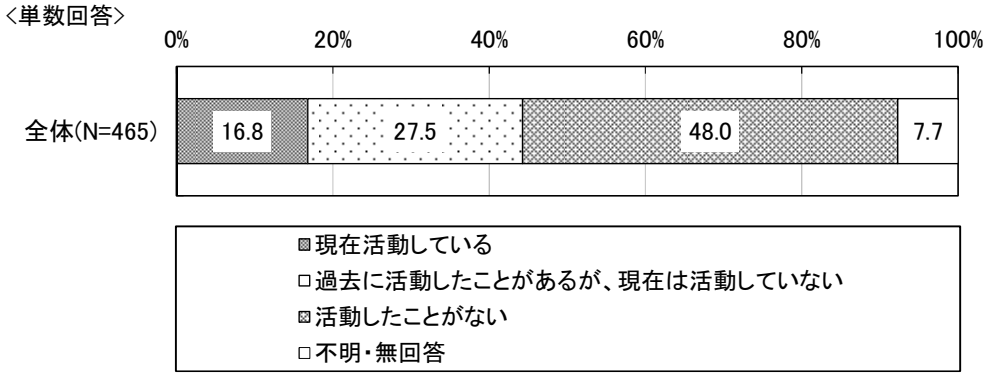
| 〈複数回答〉 | 安否確認の声かけ | 心配ごとなどの相談相手 | 子どもの短時間の預かり | 買い物の手伝い | 通院の手伝い | 家事の手伝い | 外出の手伝い | 家具の移動などの力仕事 | 草取りなどの庭・畑仕事 | 電球の交換や電化製品の簡単な修理 | ごみ出しの手伝い |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区(N=67) | 62.7 | 14.9 | 7.5 | 25.4 | 11.9 | 4.5 | 13.4 | 19.4 | 13.4 | 10.4 | 23.9 |
| 太宰府東小学校区(N=39) | 74.4 | 23.1 | 7.7 | 15.4 | 5.1 | 2.6 | 5.1 | 10.3 | 5.1 | 10.3 | 5.1 |
| 太宰府南小学校区(N=43) | 58.1 | 16.3 | 11.6 | 16.3 | 14.0 | 4.7 | 9.3 | 2.3 | 2.3 | 2.3 | 14.0 |
| 水城小学校区(N=69) | 78.3 | 15.9 | 13.0 | 23.2 | 8.7 | 8.7 | 4.3 | 7.2 | 7.2 | 5.8 | 18.8 |
| 水城西小学校区(N=39) | 82.1 | 12.8 | 7.7 | 5.1 | 5.1 | 2.6 | 2.6 | 7.7 | 5.1 | 2.6 | 23.1 |
| 太宰府西小学校区(N=107) | 72.9 | 25.2 | 12.1 | 30.8 | 15.0 | 8.4 | 7.5 | 11.2 | 8.4 | 11.2 | 19.6 |
| 国分小学校区(N=60) | 73.3 | 21.7 | 13.3 | 23.3 | 18.3 | 13.3 | 11.7 | 11.7 | 16.7 | 20.0 | 35.0 |

| 〈複数回答〉 | 急病になった時の家族や親戚への連絡 | 急病になった時の看病 | 介護を必要とする人の短時間の預かり | 災害時の手助け | 日常的な話し相手 | 生活費の援助 | 食材や食事の提供 | その他 | 特にない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区(N=67) | 31.3 | 3.0 | 1.5 | 43.3 | 10.4 | 1.5 | 7.5 | 3.0 | 6.0 | 7.5 |
| 太宰府東小学校区(N=39) | 53.8 | 10.3 | 2.6 | 43.6 | 12.8 | 0.0 | 0.0 | 5.1 | 5.1 | 5.1 |
| 太宰府南小学校区(N=43) | 44.2 | 2.3 | 2.3 | 32.6 | 11.6 | 0.0 | 2.3 | 4.7 | 4.7 | 14.0 |
| 水城小学校区(N=69) | 36.2 | 4.3 | 0.0 | 37.7 | 8.7 | 0.0 | 2.9 | 0.0 | 2.9 | 8.7 |
| 水城西小学校区(N=39) | 30.8 | 2.6 | 0.0 | 35.9 | 10.3 | 0.0 | 0.0 | 2.6 | 5.1 | 2.6 |
| 太宰府西小学校区(N=107) | 37.4 | 5.6 | 0.0 | 29.0 | 15.0 | 0.9 | 7.5 | 1.9 | 7.5 | 3.7 |
| 国分小学校区(N=60) | 36.7 | 3.3 | 5.0 | 30.0 | 20.0 | 0.0 | 11.7 | 0.0 | 1.7 | 6.7 |

小学校区別にみると、どの小学校区においても「安否確認の声かけ」の割合が高くなっています。

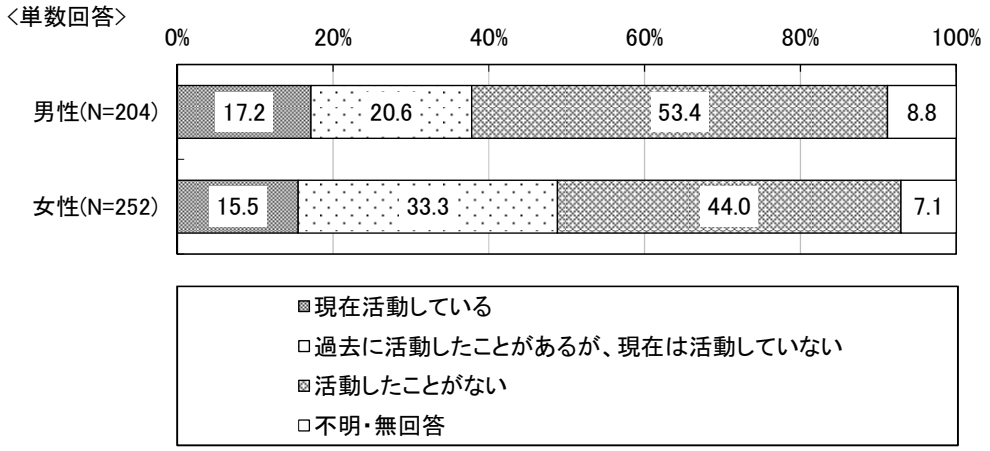
# ４． 地域活動やボランティア活動について

**問 16 あなたは現在、自治会や子ども会、長寿クラブ（老人クラブ）の活動など、地域活動をしていますか。（１つだけ○）**



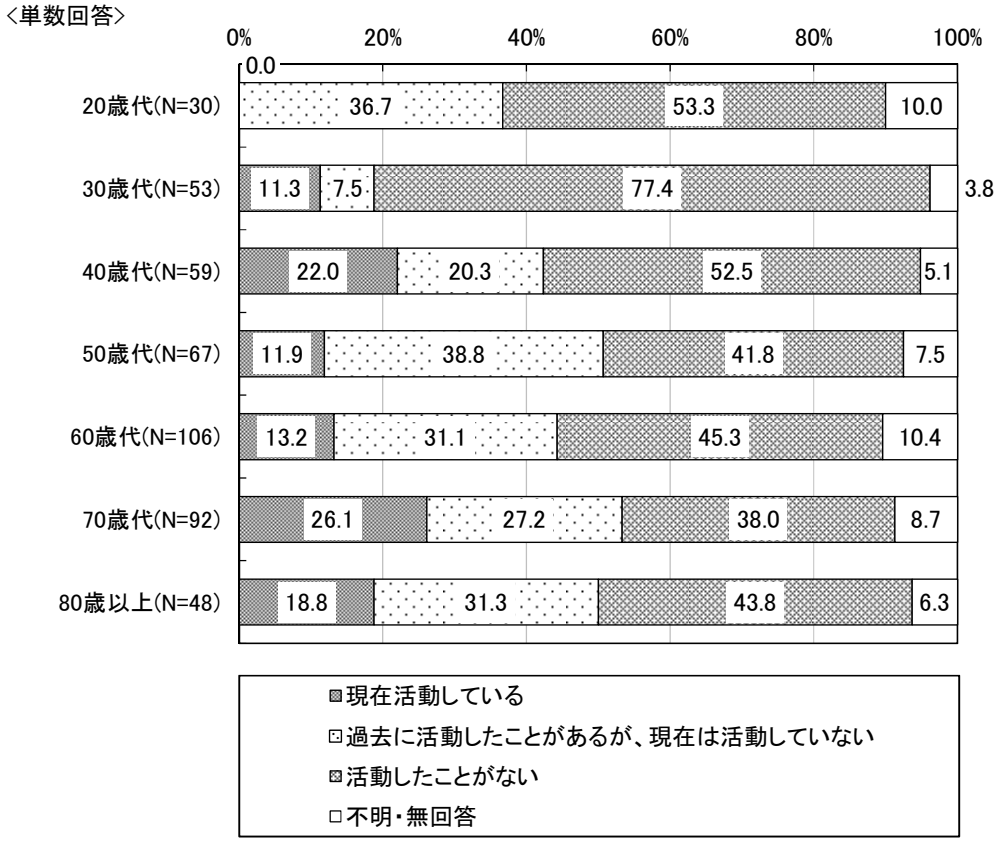

「活動したことがない」が 48.0%、「過去に活動したことがあるが、現在は活動していない」が 27.5%、「現在活動している」が 16.8%となっています。

【性別グラフ】



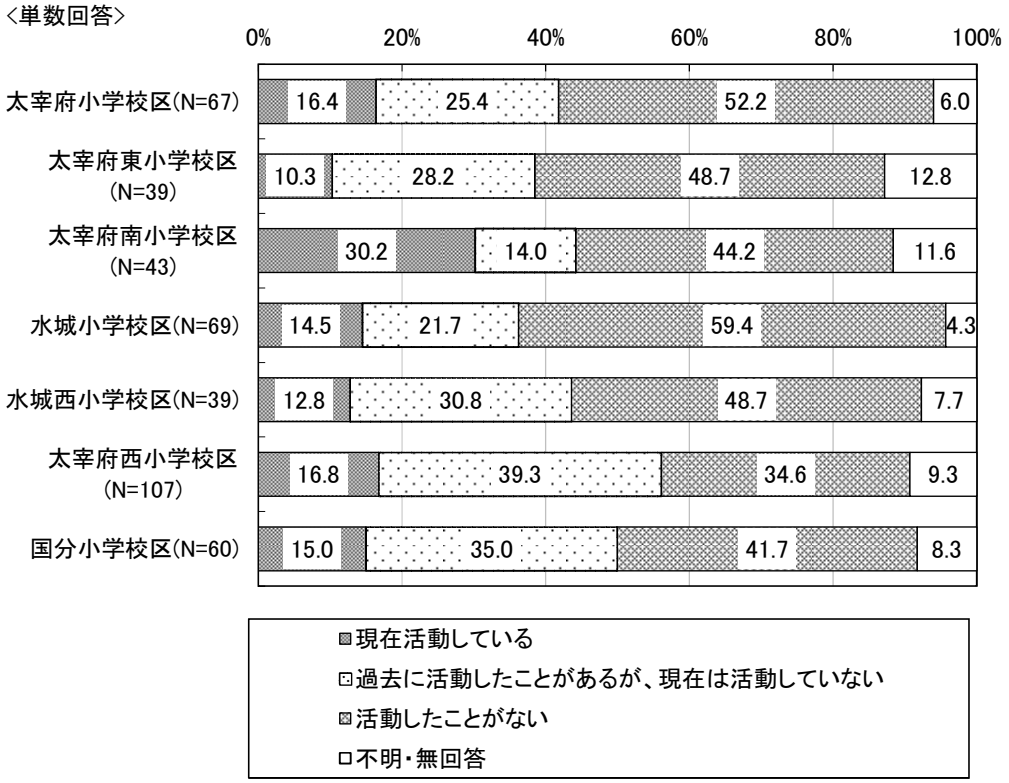

性別にみると、男女ともに「活動したことがない」の割合が高く、男性が 53.4%、女性は 44.0%と男性が女性より 9.4 ポイント上回っています。

【年代別グラフ】




年代別にみると、どの年代においても「活動したことがない」の割合が高く、30 歳代では 77.4%と他の年代と比較して高くなっています。また、70 歳代では「現在活動している」が 26.1%と、他の年代と比較してやや高くなっています。

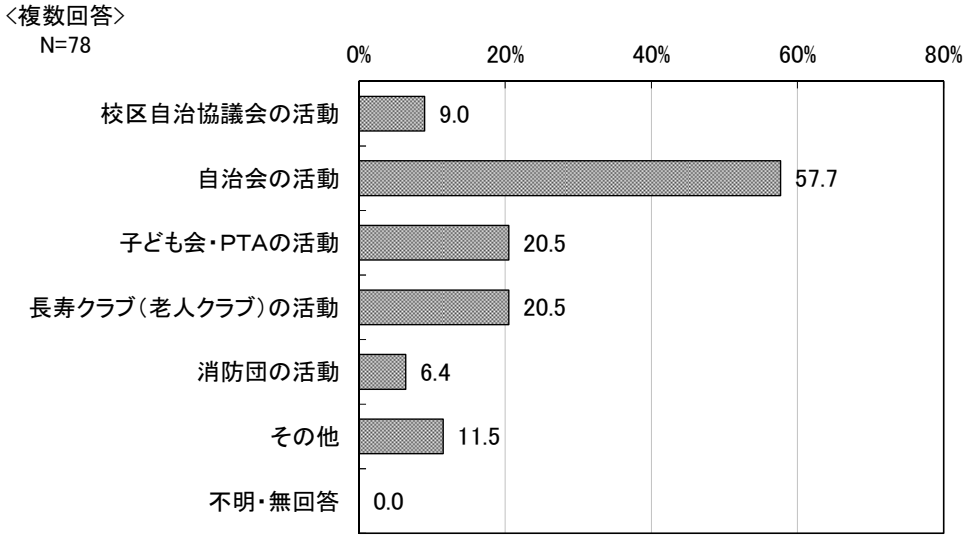
【小学校区別グラフ】




小学校区別にみると、太宰府西小学校区では「過去に活動したことがあるが、現在は活動していない」が、その他の小学校区では「活動したことがない」の割合が高くなっています。

**※問 16 で「1　現在活動している」と回答した人にうかがいます。**

**問 16-1 どんな活動をしていますか。（あてはまるものすべてに○）**

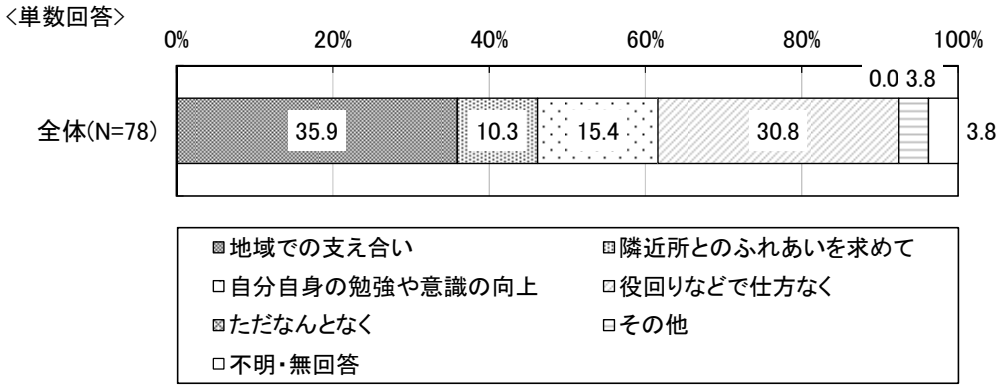



「自治会の活動」が 57.7%と約６割を占めています。次いで「子ども会・PTA の活動」、「長寿クラブ（老人クラブ）の活動」が 20.5%となっています。

**【その他回答】**

・隣組長　・子どもスポーツクラブ指導　・アンビシャス　・ひまわり会
・防犯、防火環境ボランティア　・視覚障がい者への朗読活動　・県障害者スポーツ指導員
・任意のボランティア団体　・剣道の指導

**問 16-2 どのような目的で活動していますか。（１つだけ○）**



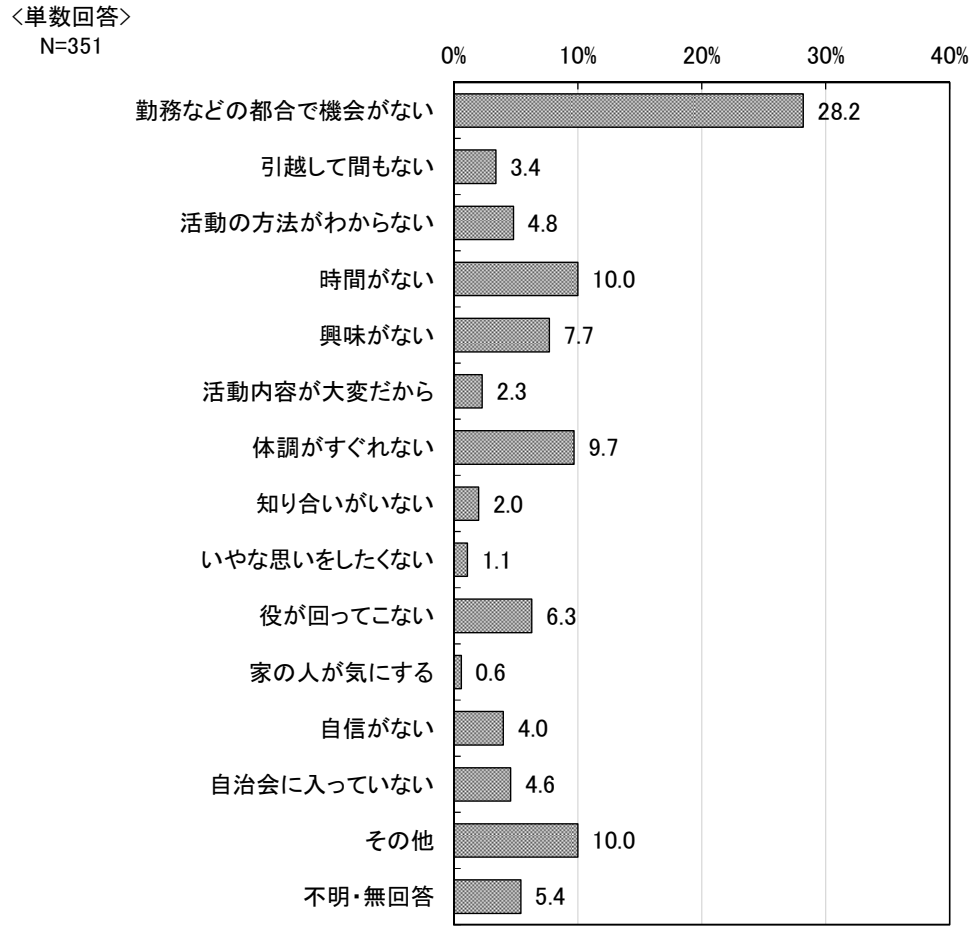

「地域での支え合い」が 35.9%と最も高く、次いで「役回りなどで仕方なく」が 30.8%、「自分自身の勉強や意識の向上」が 15.4%となっています。

**【その他回答】**

・交流が良くなるように

**※問 16 で「2 過去に活動したことがあるが、現在は活動していない」、「3 活動したことがない」と回答した人にうかがいます。**

**問 16-3 現在活動していない理由は何ですか。（1つだけ○）**

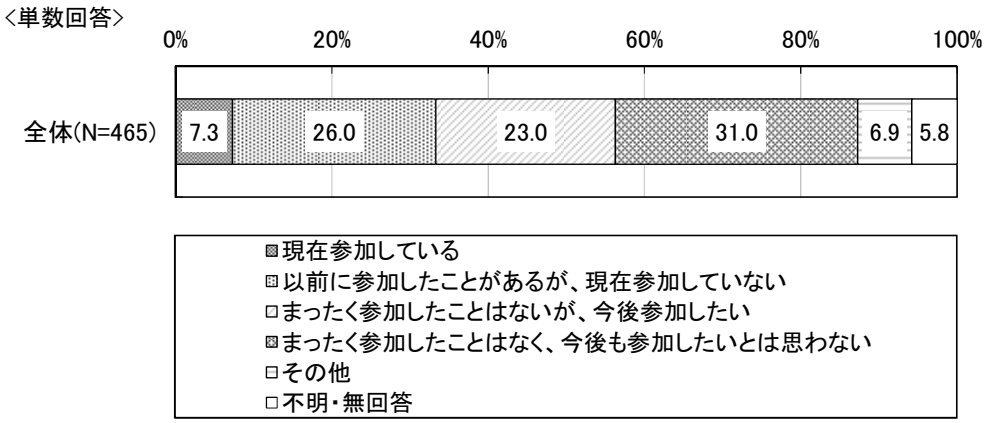



「勤務などの都合で機会がない」が 28.2%と最も高く、次いで「時間がない」が 10.0%、「体調がすぐれない」が 9.7%となっています。

**【その他回答】**

・高齢のため（6）　・入院中のため（2）　・持病があるから　・介護があるため（3）
・家族に障害者がいるため　・子どもが大きくなったから（4）　・家族に対象者がいない（2）
・長い間身内の介護をしていたため、今はゆっくりと過ごしたい
・老人会が解散した　・いろんな事があり自治会を退会したいが、退会させてもらえない
・当番ではない（2）　・交代制のため（夜間パトロール）　・輪番制のため
・対象時期ではない　・特に理由はない

**問 17 あなたは、問 16 のような地域での活動以外に、個人的にボランティア活動に参加したことがありますか。（１つだけ○）**

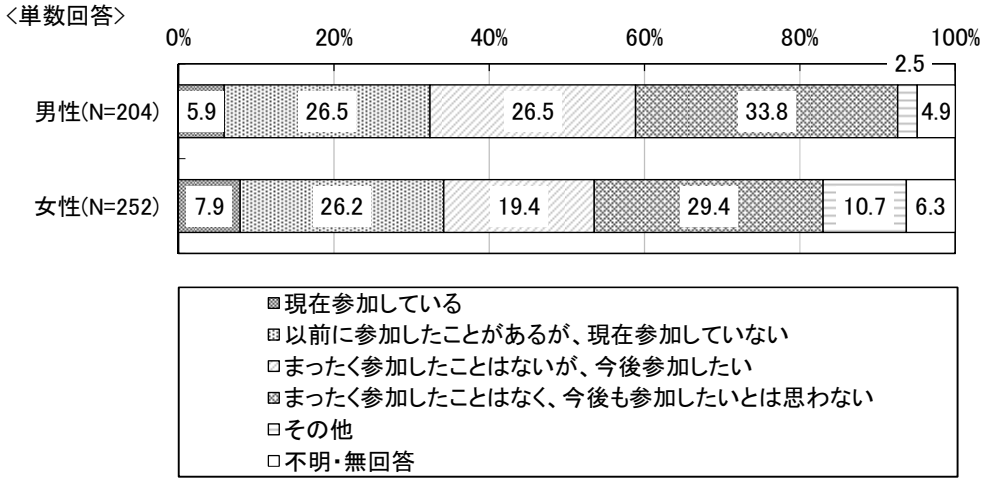



「まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」が 31.0%と最も高く、次いで「以前に参加したことがあるが、現在参加していない」が 26.0%、「まったく参加したことはないが、今後参加したい」が 23.0%となっています。

**【その他回答】**

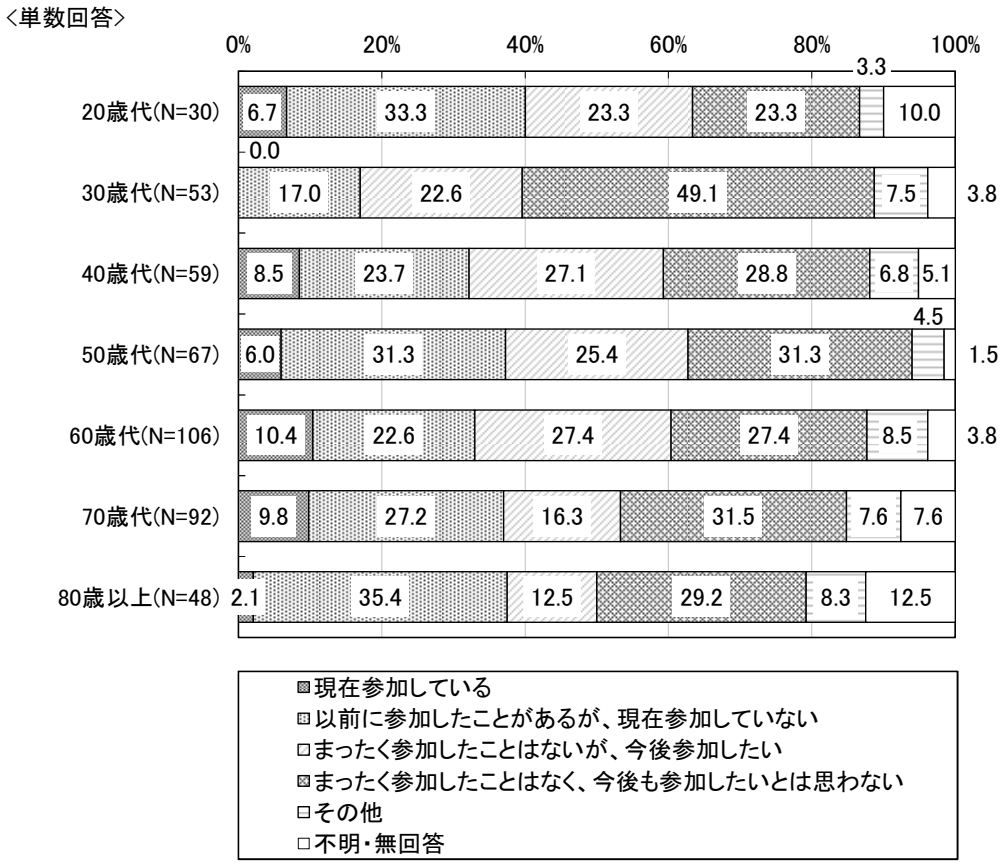
・時間が取れるようになったら参加したい
・内容により関心があれば参加したい
・昨年までＮＰＯ法人の理事長を 11 年勤めました
・体調が良ければ参加したいが自信がない
・時間的に余裕ができて、その時の家族の状況を見なければわからない
・高齢のため困難（４）
・介護のため困難（２）
・家事、その他病院通いで時間がない
・仕事に追われ時間に余裕がない
・自分のことで精一杯
・病気のため何もできない
・参加できそうなものがない

【性別グラフ】



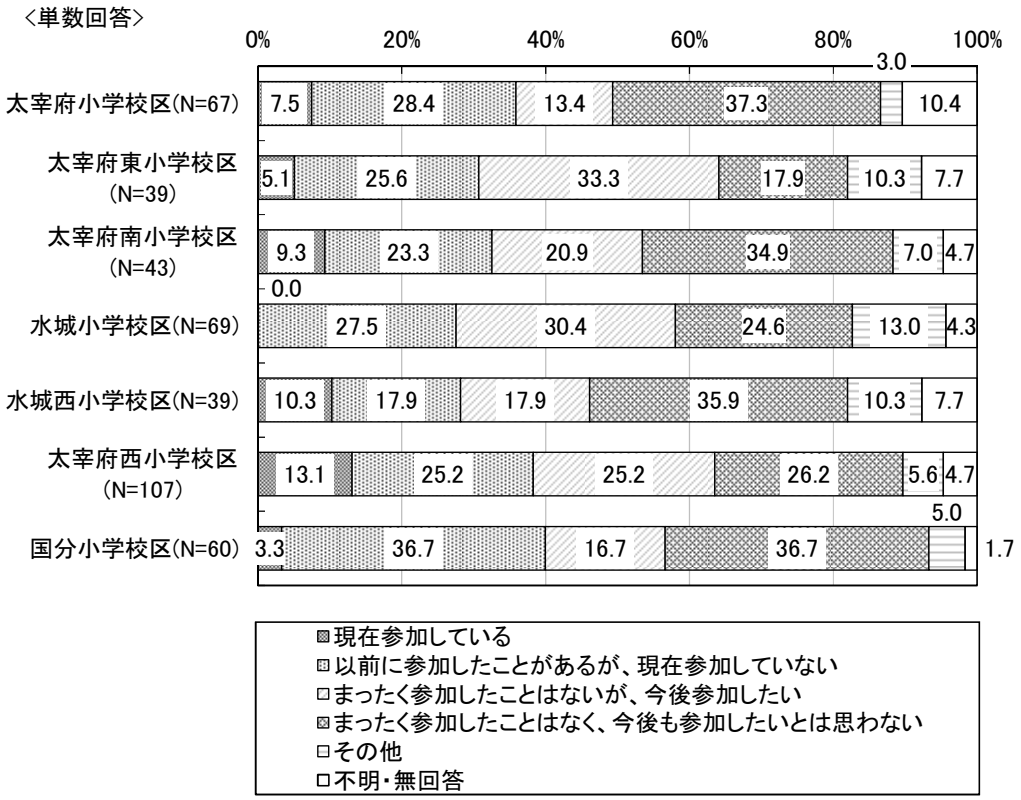

性別でみると、男女ともに「まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」の割合が高くなっています。また、「まったく参加したことはないが、今後参加したい」では、男性が 26.5%、女性は 19.4%と男性が女性を 7.1 ポイント上回っています。

【年代別グラフ】



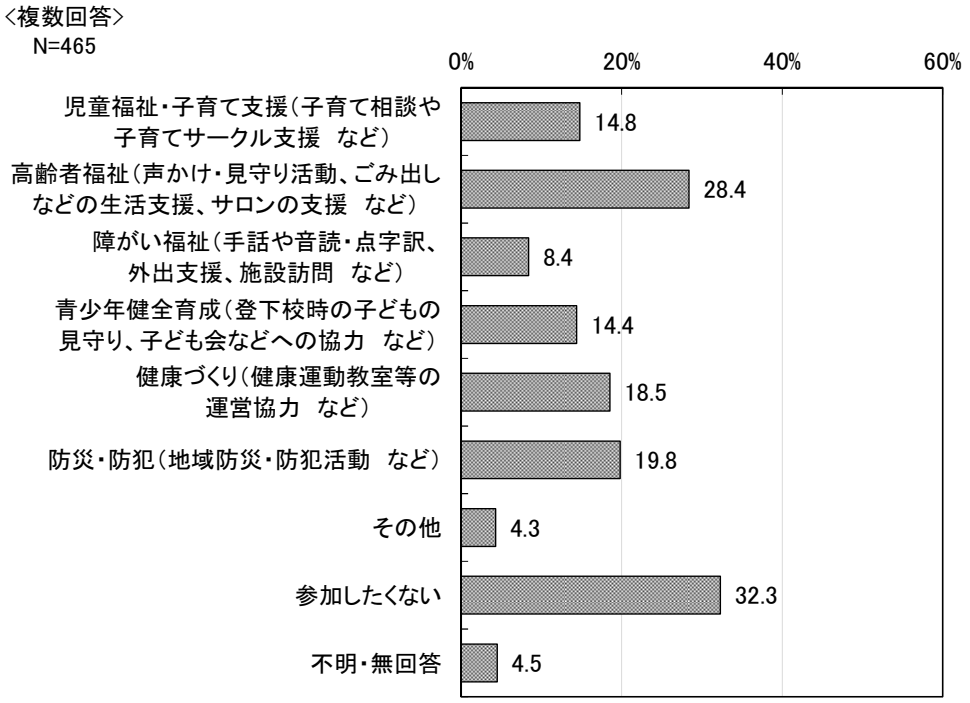

年代別にみると、60 歳代では「現在参加している」が 10.4%と、他の年代と比較してやや高くなっています。また、30 歳代では「まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」が 49.1%と、他の年代と比較して高くなっています。

【小学校区別グラフ】




小学校区別にみると、太宰府西小学校区では「現在参加している」が 13.1%と、他の小学校区と比較してやや高くなっています。また、太宰府小学校区では「まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」が 37.3%と、他の小学校区と比較してやや高くなっています。

**問 18 あなたは、今後、次のような福祉にかかわる地域活動やボランティア活動などに参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）**

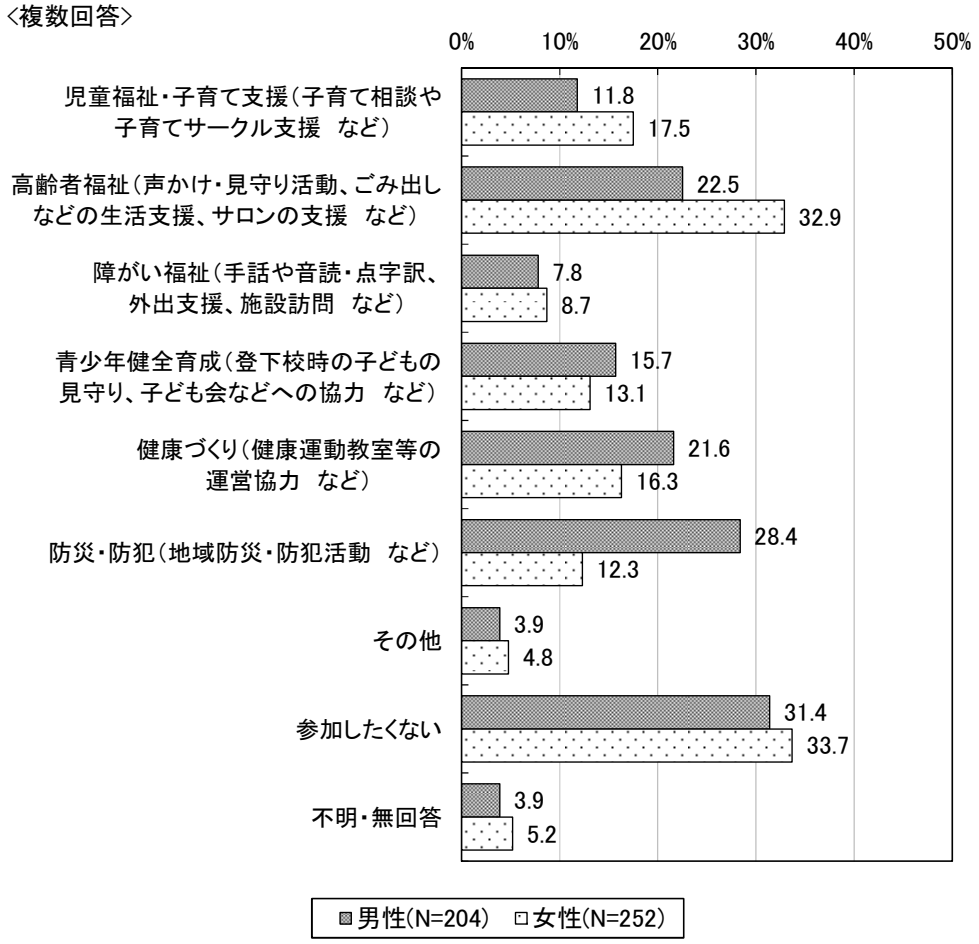



「参加したくない」が 32.3%と最も高く、次いで「高齢者福祉（声かけ・見守り活動、ごみ出しなどの生活支援、サロン支援　など）」が 28.4%、「防災・防犯（地域防災・防犯活動など）」が 19.8%となっています。

**【その他回答】**

・お年寄りが好きなので、サロン等でお話し相手をしたい
・高齢者の話し相手
・慰問
・町の美化
・時間など合えば
・高齢のためできない（５）
・参加できない状況

【性別グラフ】




性別にみると、男女ともに「参加したくない」の割合が最も高くなっています。また「高齢者福祉（声かけ・見守り活動、ごみ出しなどの生活支援、サロンの支援　など）」では、女性が 32.9%、男性は 22.5%と女性が男性を 10.4 ポイント、「防災・防犯（地域防災・防犯活動　など）」では、男性が 28.4%、女性は 12.3%と男性が女性を 16.1 ポイント上回っています。

【年齢別表】

単位：%

| 〈複数回答〉 | 児童福祉・子育て支援（子育て相談や子育てサークル支援　など） | 高齢者福祉（声かけ・見守り活動、ごみ出しなどの生活支援、サロンの支援　など） | 障がい福祉（手話や音読・点字訳、外出支援、施設訪問　など） | 青少年健全育成（登下校時の子どもの見守り、子ども会などへの協力　など） | 健康づくり（健康運動教室等の運営協力　など） | 防災・防犯（地域防災・防犯活動　など） | その他 | 参加したくない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=30) | 26.7 | 30.0 | 16.7 | 20.0 | 13.3 | 23.3 | 0.0 | 36.7 | 3.3 |
| 30 歳代(N=53) | 32.1 | 18.9 | 9.4 | 17.0 | 15.1 | 26.4 | 3.8 | 39.6 | 0.0 |
| 40 歳代(N=59) | 25.4 | 25.4 | 5.1 | 23.7 | 10.2 | 18.6 | 1.7 | 35.6 | 1.7 |
| 50 歳代(N=67) | 17.9 | 41.8 | 14.9 | 14.9 | 20.9 | 19.4 | 1.5 | 22.4 | 4.5 |
| 60 歳代(N=106) | 11.3 | 30.2 | 8.5 | 12.3 | 24.5 | 17.0 | 4.7 | 32.1 | 4.7 |
| 70 歳代(N=92) | 2.2 | 26.1 | 4.3 | 12.0 | 19.6 | 22.8 | 6.5 | 30.4 | 6.5 |
| 80 歳以上(N=48) | 4.2 | 22.9 | 4.2 | 2.1 | 18.8 | 10.4 | 10.4 | 39.6 | 10.4 |

50 歳代では「高齢者福祉（声かけ・見守り活動、ごみ出しなどの生活支援、サロンの支援　など）」の割合が高く、その他の年代では「参加したくない」の割合が最も高くなっています。また、「児童福祉・子育て支援（子育て相談や子育てサークル支援　など）」では、20 歳代から 40 歳代で他の年代と比較して高くなっています。

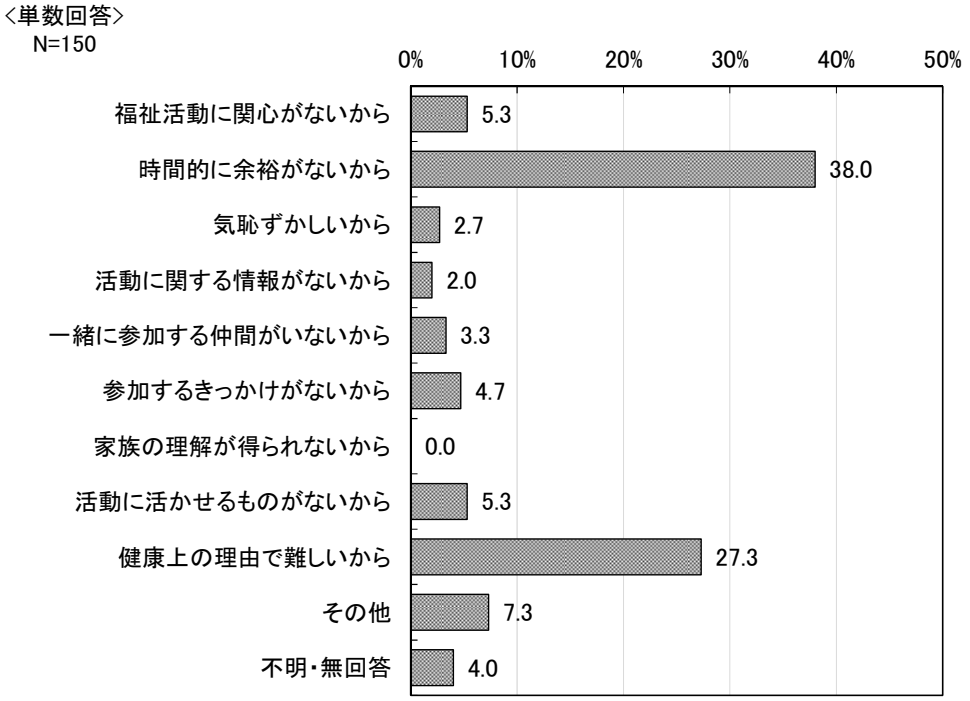
【小学校区別表】

単位：%

| 〈複数回答〉 | 児童福祉・子育て支援（子育て相談や子育てサークル支援　など） | 高齢者福祉（声かけ・見守り活動、ごみ出しなどの生活支援、サロンの支援　など） | 障がい福祉（手話や音読・点字訳、外出支援、施設訪問　など） | 青少年健全育成（登下校時の子どもの見守り、子ども会など への協力　など） | 健康づくり（健康運動教室等の運営協力　など） | 防災・防犯（地域防災・防犯活動　など） | その他 | 参加したくない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区 (N=67) | 13.4 | 25.4 | 10.4 | 13.4 | 20.9 | 22.4 | 1.5 | 40.3 | 3.0 |
| 太宰府東小学校区 (N=39) | 15.4 | 28.2 | 0.0 | 15.4 | 15.4 | 28.2 | 10.3 | 12.8 | 5.1 |
| 太宰府南小学校区 (N=43) | 20.9 | 27.9 | 9.3 | 16.3 | 23.3 | 23.3 | 2.3 | 37.2 | 0.0 |
| 水城小学校区 (N=69) | 17.4 | 26.1 | 10.1 | 15.9 | 26.1 | 17.4 | 0.0 | 29.0 | 7.2 |
| 水城西小学校区 (N=39) | 12.8 | 17.9 | 10.3 | 7.7 | 23.1 | 17.9 | 5.1 | 30.8 | 5.1 |
| 太宰府西小学校区 (N=107) | 13.1 | 37.4 | 6.5 | 20.6 | 15.0 | 22.4 | 4.7 | 30.8 | 1.9 |
| 国分小学校区 (N=60) | 11.7 | 30.0 | 11.7 | 10.0 | 16.7 | 11.7 | 6.7 | 36.7 | 11.7 |

小学校区別にみると、太宰府東小学校区、太宰府西小学校区では「高齢者福祉（声かけ・見守り活動、ごみ出しなどの生活支援、サロン支援　など）」の割合が高く、その他の小学校区では「参加したくない」の割合が高くなっています。また、太宰府東小学校区では「防災・防犯（地域防災・防犯活動　など）」の割合も高くなっています。

**※問 18 で「８ 参加したくない」と回答した人にうかがいます。**
**問 18-1 参加したくないのはなぜですか。（１つだけ○）**

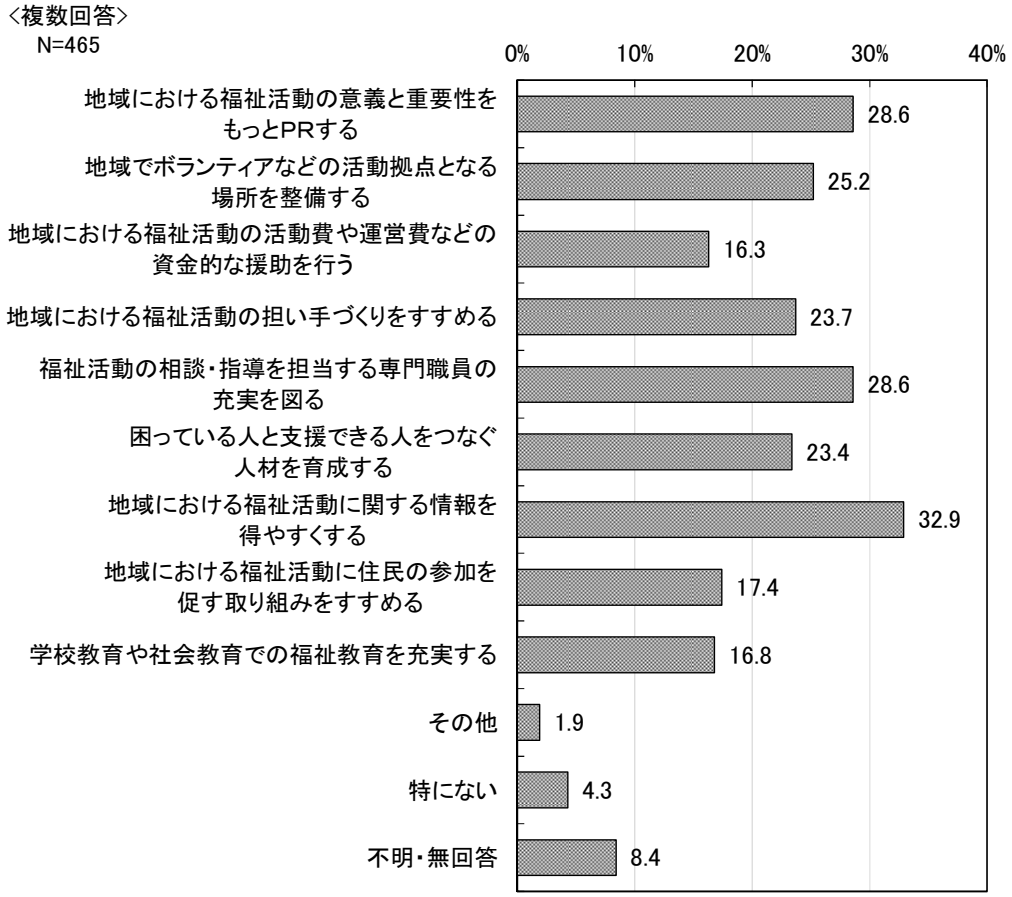



「時間に余裕がないから」が 38.0%と最も高く、次いで「健康上の理由で難しいから」が 27.3%、「福祉活動に関心がないから」、「活動に活かせるものがないから」が 5.3%となっています。

**【その他回答】**

・高齢のため（５）
・自分自身および家族の事でいっぱいだから
・介護をしている
・それどころではない
・人づきあいが苦手
・団体行動が苦手
・ボランティアだから

**問 19 今後、地域における支え合いや助け合いの活動を活発にしていくことが大切になってきます。そのためには、どのようなことが重要だと思いますか。（○は３つまで）**

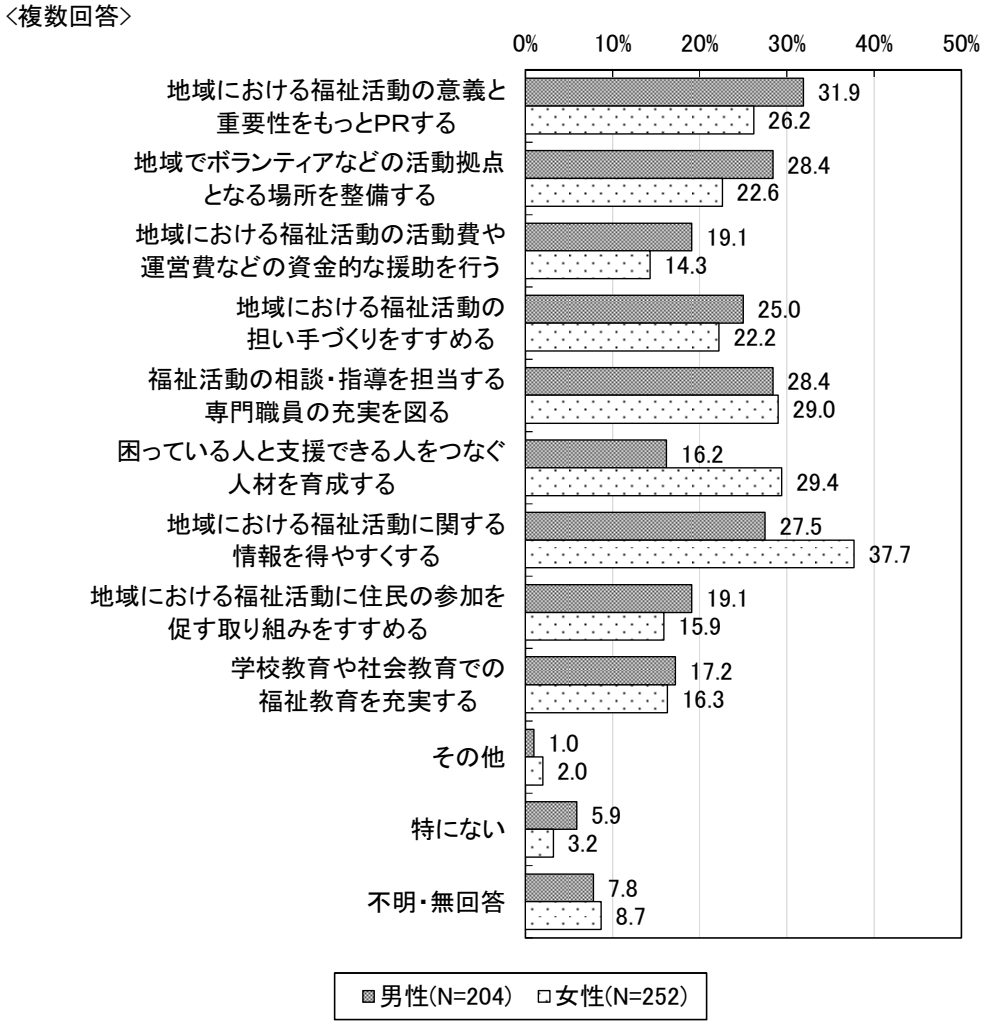



「地域における福祉活動に関する情報を得やすくする」が 32.9%と最も高く、次いで「地域における福祉活動の意義と重要性をもっと PR する」、「福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る」が 28.6%となっています。

**【その他回答】**

・自分が人に迷惑をかけないよう、自分の事は自分でできるように頑張っている
・会社の理解
・行政が重要性をＰＲする
・行政の積極的な関与
・役所の職員が土日、夜も仕事をする

【性別グラフ】




性別にみると、男性では「地域における福祉活動の意義と重要性をもっと PR する」が31.9%と女性を 5.7 ポイント、女性では「地域における福祉活動に関する情報を得やすくする」が 37.7%と男性を 10.2 ポイント上回っています。

【年齢別表】

単位：%

| 〈複数回答〉 | 地域における福祉活動の意義と重要性をもっとＰＲする | 地域でボランティアなどの活動拠点となる場所を整備する | 地域における福祉活動の活動費や運営費などの資金的な援助を行う | 地域における福祉活動の担い手づくりをすすめる | 福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る | 困っている人と支援できる人をつなぐ人材を育成する | 地域における福祉活動に関する情報を得やすくする | 地域における福祉活動に住民の参加を促す取り組みをすすめる | 学校教育や社会教育での福祉教育を充実する | その他 | 特にない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=30) | 26.7 | 36.7 | 16.7 | 23.3 | 33.3 | 20.0 | 36.7 | 13.3 | 20.0 | 3.3 | 3.3 | 6.7 |
| 30 歳代(N=53) | 26.4 | 24.5 | 13.2 | 18.9 | 35.8 | 24.5 | 39.6 | 11.3 | 18.9 | 1.9 | 1.9 | 7.5 |
| 40 歳代(N=59) | 23.7 | 23.7 | 22.0 | 8.5 | 28.8 | 25.4 | 39.0 | 13.6 | 22.0 | 5.1 | 5.1 | 8.5 |
| 50 歳代(N=67) | 34.3 | 23.9 | 19.4 | 20.9 | 38.8 | 20.9 | 47.8 | 16.4 | 22.4 | 0.0 | 1.5 | 4.5 |
| 60 歳代(N=106) | 24.5 | 31.1 | 19.8 | 27.4 | 23.6 | 28.3 | 32.1 | 20.8 | 12.3 | 0.9 | 4.7 | 4.7 |
| 70 歳代(N=92) | 33.7 | 26.1 | 10.9 | 29.3 | 23.9 | 17.4 | 22.8 | 25.0 | 10.9 | 1.1 | 4.3 | 13.0 |
| 80 歳以上(N=48) | 29.2 | 8.3 | 12.5 | 29.2 | 25.0 | 25.0 | 18.8 | 10.4 | 18.8 | 0.0 | 10.4 | 14.6 |

年代別にみると、20 歳代から 60 歳代では「地域における福祉活動に関する情報を得やすくする」、70 歳代、80 歳以上では「地域における福祉活動の意義と重要性をもっと PR する」の割合が高くなっています。また、20 歳代では「地域でボランティアなどの活動拠点となる場所を整備する」、80 歳以上では「地域における福祉活動の担い手づくりをすすめる」の割合が高くなっています。

【小学校区別表】

単位：%

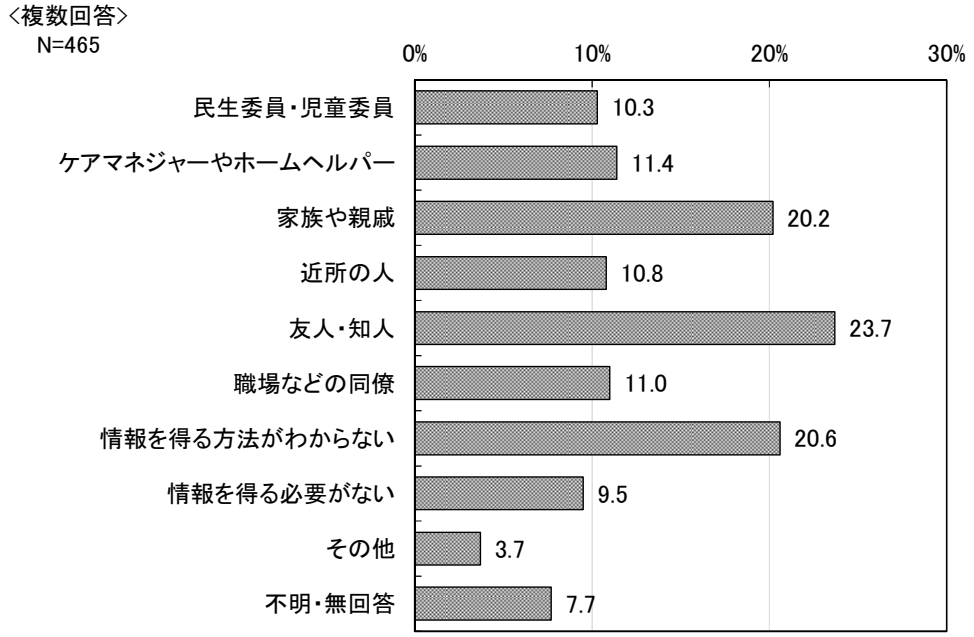
| 〈複数回答〉 | 地域における福祉活動の意義と重要性をもっとＰＲする | 地域でボランティアなどの活動拠点となる場所を整備する | 地域における福祉活動の活動費や運営費などの資金的な援助を行う | 地域における福祉活動の担い手づくりをすすめる | 福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る | 困っている人と支援できる人をつなぐ人材を育成する | 地域における福祉活動に関する情報を得やすくする | 地域における福祉活動に住民の参加を促す取り組みをすすめる | 学校教育や社会教育での福祉教育を充実する | その他 | 特にない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区 (N=67) | 31.3 | 28.4 | 14.9 | 26.9 | 29.9 | 19.4 | 37.3 | 19.4 | 10.4 | 3.0 | 6.0 | 6.0 |
| 太宰府東小学校区 (N=39) | 25.6 | 25.6 | 15.4 | 28.2 | 28.2 | 33.3 | 25.6 | 28.2 | 12.8 | 2.6 | 2.6 | 10.3 |
| 太宰府南小学校区 (N=43) | 20.9 | 16.3 | 20.9 | 23.3 | 32.6 | 27.9 | 30.2 | 18.6 | 18.6 | 2.3 | 4.7 | 7.0 |
| 水城小学校区 (N=69) | 29.0 | 27.5 | 13.0 | 26.1 | 30.4 | 29.0 | 33.3 | 17.4 | 18.8 | 0.0 | 2.9 | 10.1 |
| 水城西小学校区 (N=39) | 38.5 | 30.8 | 7.7 | 12.8 | 28.2 | 10.3 | 30.8 | 15.4 | 10.3 | 0.0 | 5.1 | 10.3 |
| 太宰府西小学校区 (N=107) | 27.1 | 25.2 | 16.8 | 27.1 | 22.4 | 28.0 | 32.7 | 19.6 | 19.6 | 0.9 | 2.8 | 7.5 |
| 国分小学校区 (N=60) | 28.3 | 25.0 | 23.3 | 23.3 | 35.0 | 16.7 | 35.0 | 6.7 | 23.3 | 0.0 | 5.0 | 10.0 |

小学校区別にみると、太宰府小学校区、水城小学校区、太宰府西小学校区では「地域における福祉活動に関する情報を得やすくする」、太宰府東小学校区では「困っている人と支援できる人をつなぐ人材を育成する」、太宰府南小学校区では「福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る」、水城西小学校区では「地域における福祉活動の意義と重要性をもっと PR する」の割合が高くなっています。国分小学校区では「福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る」、「地域における福祉活動に関する情報を得やすくする」の割合が高くなっています。

# ５．福祉サービスについて

**問 20 あなたは、現在、「福祉サービス」に関する情報について、誰から、どんな媒体から、どこの施設から入手していますか。**

**誰から？**

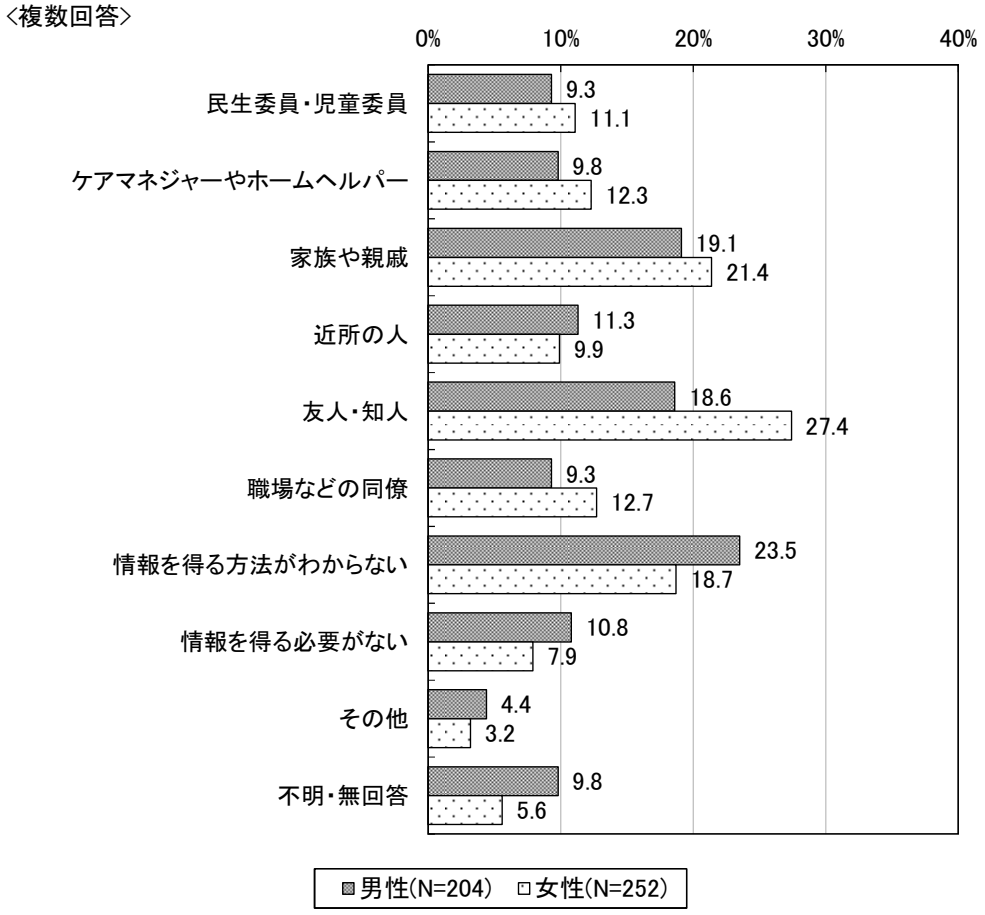



「友人・知人」が 23.7%と最も高く、次いで「情報を得る方法がわからない」が 20.6%、「家族や親戚」が 20.2%となっています。

**【その他回答】**

・町内会の会長
・長寿クラブ
・障害者施設（福祉の仕事をしているので）
・病院の先生
・病院の患者支援センターの人
・通っている施設の人
・サークル
・嫁にまかせている
・気にしたことがない

【性別グラフ】




性別にみると、男性では「情報を得る方法がわからない」が 23.5%と女性を 4.8 ポイント、女性では「友人・知人」が 27.4%と男性を 8.8 ポイント上回っています。

【年齢別表】

単位：%

| 〈複数回答〉 | 民生委員・児童委員 | ケアマネジャーやホームヘルパー | 家族や親戚 | 近所の人 | 友人・知人 | 職場などの同僚 | 情報を得る方法がわからない | 情報を得る必要がない | その他 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=30) | 0.0 | 3.3 | 33.3 | 3.3 | 23.3 | 23.3 | 26.7 | 3.3 | 0.0 | 3.3 |
| 30 歳代(N=53) | 9.4 | 7.5 | 32.1 | 1.9 | 11.3 | 15.1 | 35.8 | 9.4 | 1.9 | 5.7 |
| 40 歳代(N=59) | 0.0 | 1.7 | 22.0 | 5.1 | 20.3 | 23.7 | 16.9 | 16.9 | 8.5 | 6.8 |
| 50 歳代(N=67) | 4.5 | 9.0 | 20.9 | 6.0 | 28.4 | 16.4 | 19.4 | 11.9 | 4.5 | 7.5 |
| 60 歳代(N=106) | 11.3 | 14.2 | 13.2 | 17.0 | 18.9 | 7.5 | 27.4 | 7.5 | 2.8 | 7.5 |
| 70 歳代(N=92) | 19.6 | 9.8 | 18.5 | 16.3 | 35.9 | 3.3 | 12.0 | 6.5 | 2.2 | 9.8 |
| 80 歳以上(N=48) | 16.7 | 31.3 | 16.7 | 12.5 | 20.8 | 0.0 | 8.3 | 8.3 | 6.3 | 8.3 |

年代別にみると、20 歳代では「家族や親戚」、30 歳代、60 歳代では「情報を得る方法がわからない」、40 歳代では「職場などの同僚」、50 歳代、70 歳代では「友人・知人」、80 歳以上では「ケアマネジャーやホームヘルパー」の割合が高くなっています。

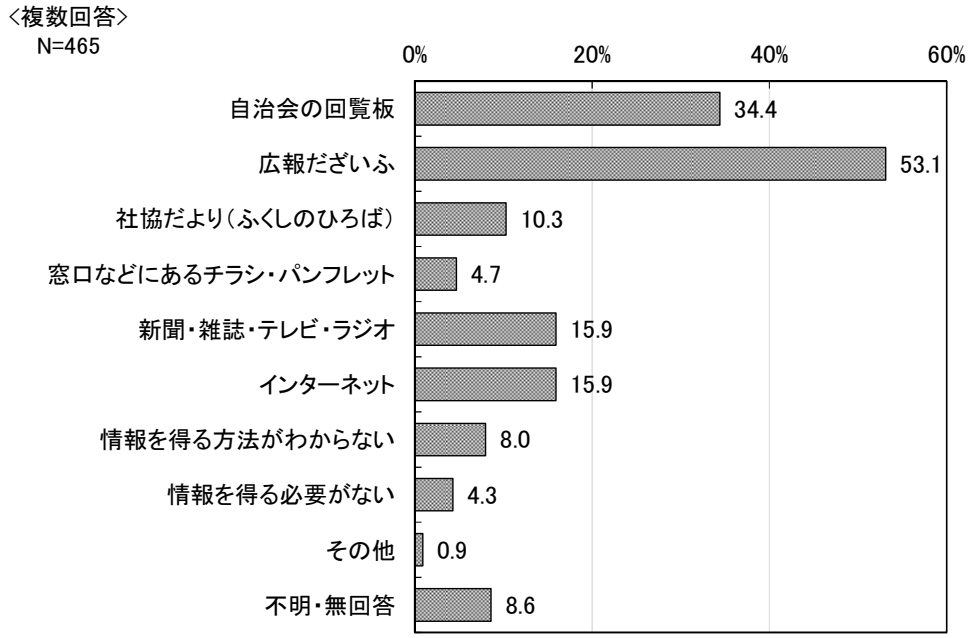
【小学校区別表】

単位：%

| 〈複数回答〉 | 民生委員・児童委員 | ケアマネジャーやホームヘルパー | 家族や親戚 | 近所の人 | 友人・知人 | 職場などの同僚 | 情報を得る方法がわからない | 情報を得る必要がない | その他 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区 (N=67) | 11.9 | 7.5 | 22.4 | 10.4 | 23.9 | 10.4 | 14.9 | 17.9 | 6.0 | 7.5 |
| 太宰府東小学校区 (N=39) | 10.3 | 17.9 | 30.8 | 12.8 | 38.5 | 12.8 | 15.4 | 5.1 | 2.6 | 5.1 |
| 太宰府南小学校区 (N=43) | 11.6 | 16.3 | 16.3 | 20.9 | 9.3 | 4.7 | 23.3 | 4.7 | 9.3 | 7.0 |
| 水城小学校区 (N=69) | 4.3 | 8.7 | 14.5 | 4.3 | 31.9 | 13.0 | 18.8 | 10.1 | 4.3 | 11.6 |
| 水城西小学校区 (N=39) | 5.1 | 17.9 | 25.6 | 17.9 | 17.9 | 0.0 | 28.2 | 5.1 | 2.6 | 7.7 |
| 太宰府西小学校区 (N=107) | 11.2 | 6.5 | 19.6 | 11.2 | 27.1 | 15.0 | 23.4 | 6.5 | 1.9 | 3.7 |
| 国分小学校区 (N=60) | 13.3 | 10.0 | 21.7 | 5.0 | 16.7 | 11.7 | 23.3 | 8.3 | 3.3 | 10.0 |

小学校区別にみると、太宰府小学校区、太宰府東小学校区、水城小学校区、太宰府西小学校区では「友人・知人」、太宰府南小学校区、水城西小学校区、国分小学校区では「情報を得る方法がわからない」の割合が高くなっています。

**どんな媒体から？**

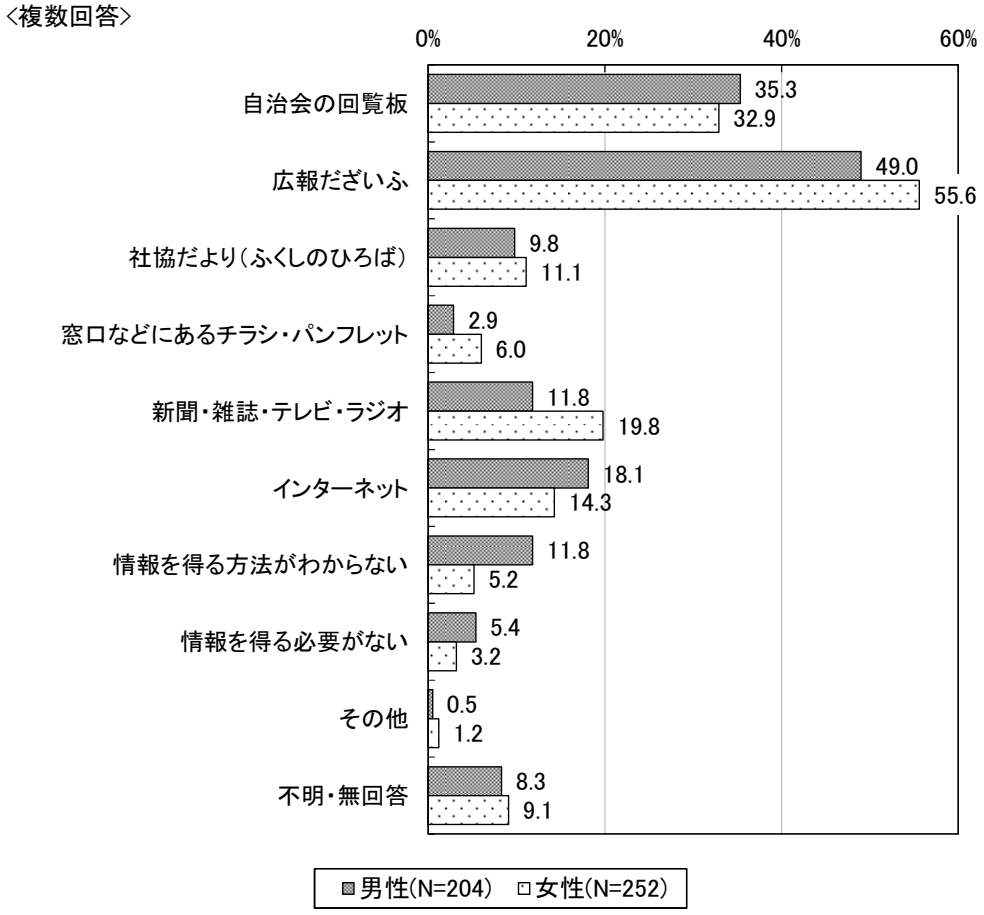



「広報だざいふ」が 53.1％と最も高く、次いで「自治会の回覧板」が 34.4％、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」、「インターネット」が 15.9％となっています。

**【その他回答】**

・気にしたことがない

【性別グラフ】




性別にみると、男女ともに「広報だざいふ」が最も高く、女性が 55.6%、男性は 49.0%と女性が男性を 6.6 ポイント上回っています。また、「情報を得る方法がわからない」では、男性が 11.8%、女性は 5.2%と男性が女性を 6.6 ポイント上回っています。

【年齢別表】

単位：%

| 〈複数回答〉 | 自治会の回覧板 | 広報ださいふ | 社協だより（ふくしのひろば） | 窓口などにあるチラシ・パンフレット | 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ | インターネット | 情報を得る方法がわからない | 情報を得る必要がない | その他 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=30) | 20.0 | 46.7 | 10.0 | 3.3 | 10.0 | 26.7 | 13.3 | 3.3 | 3.3 | 10.0 |
| 30 歳代(N=53) | 24.5 | 45.3 | 5.7 | 7.5 | 15.1 | 30.2 | 15.1 | 3.8 | 1.9 | 5.7 |
| 40 歳代(N=59) | 23.7 | 52.5 | 3.4 | 3.4 | 22.0 | 27.1 | 5.1 | 8.5 | 0.0 | 3.4 |
| 50 歳代(N=67) | 28.4 | 46.3 | 14.9 | 10.4 | 13.4 | 23.9 | 6.0 | 6.0 | 3.0 | 7.5 |
| 60 歳代(N=106) | 41.5 | 61.3 | 14.2 | 1.9 | 16.0 | 13.2 | 7.5 | 1.9 | 0.0 | 5.7 |
| 70 歳代(N=92) | 44.6 | 55.4 | 8.7 | 4.3 | 17.4 | 3.3 | 6.5 | 2.2 | 0.0 | 14.1 |
| 80 歳代以上(N=48) | 37.5 | 47.9 | 14.6 | 2.1 | 14.6 | 0.0 | 8.3 | 6.3 | 0.0 | 16.7 |

年代別にみると、どの年代においても「広報ださいふ」の割合が最も高く、60 歳代では61.3%と他の年代と比較して高くなっています。また、60 歳代、70 歳代では「自治会の回覧板」の割合が他の年代と比較して高くなっています。

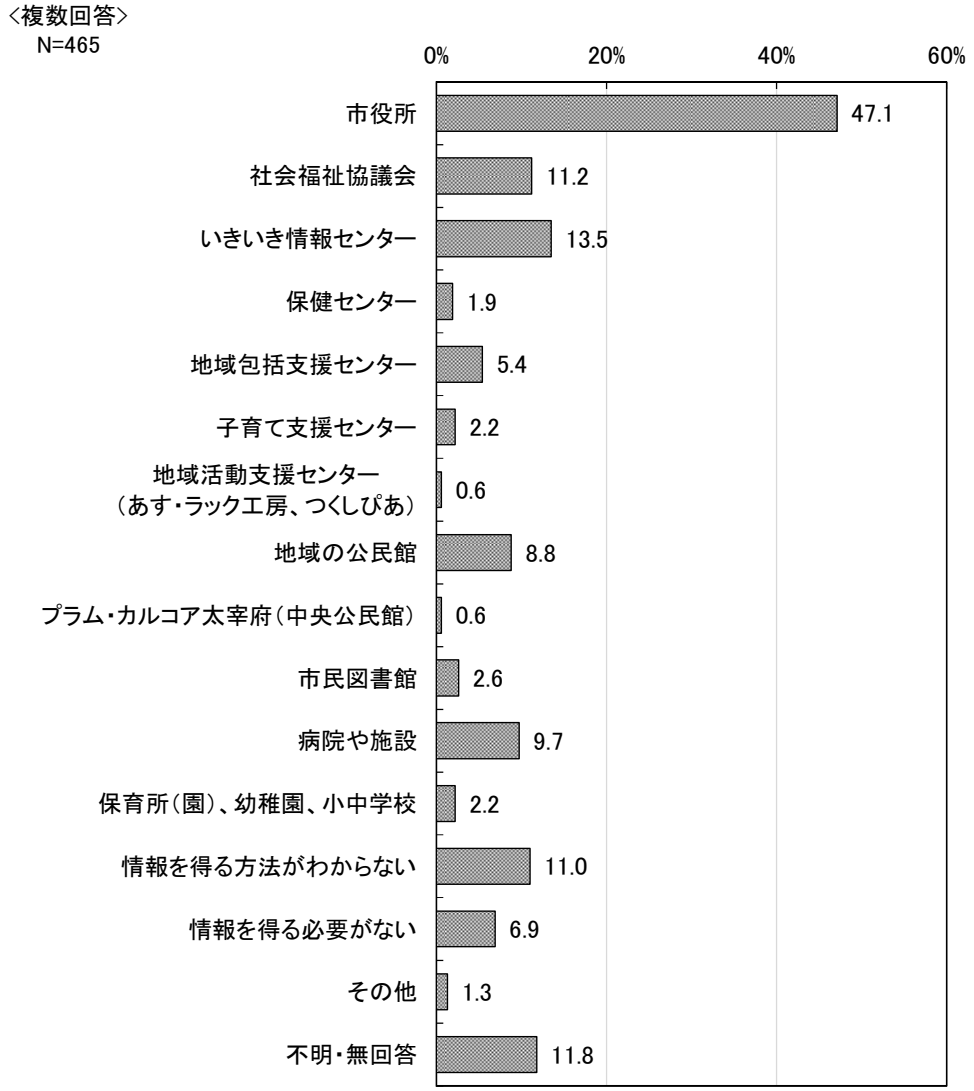
【小学校区別表】

単位：%

| 〈複数回答〉 | 自治会の回覧板 | 広報ださいふ | 社協だより（ふくしのひろば） | 窓口などにあるチラシ・パンフレット | 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ | インターネット | 情報を得る方法がわからない | 情報を得る必要がない | その他 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区 (N=67) | 26.9 | 49.3 | 11.9 | 4.5 | 10.4 | 22.4 | 6.0 | 9.0 | 0.0 | 10.4 |
| 太宰府東小学校区 (N=39) | 38.5 | 53.8 | 12.8 | 7.7 | 15.4 | 25.6 | 7.7 | 0.0 | 0.0 | 5.1 |
| 太宰府南小学校区 (N=43) | 20.9 | 58.1 | 18.6 | 4.7 | 16.3 | 2.3 | 11.6 | 2.3 | 4.7 | 11.6 |
| 水城小学校区 (N=69) | 37.7 | 52.2 | 13.0 | 4.3 | 18.8 | 15.9 | 5.8 | 2.9 | 2.9 | 10.1 |
| 水城西小学校区 (N=39) | 38.5 | 51.3 | 15.4 | 2.6 | 15.4 | 10.3 | 15.4 | 2.6 | 0.0 | 2.6 |
| 太宰府西小学校区 (N=107) | 39.3 | 54.2 | 6.5 | 3.7 | 16.8 | 14.0 | 7.5 | 2.8 | 0.0 | 8.4 |
| 国分小学校区 (N=60) | 41.7 | 55.0 | 5.0 | 5.0 | 21.7 | 11.7 | 5.0 | 1.7 | 0.0 | 11.7 |

小学校区別にみると、どの小学校区においても「広報ださいふ」の割合が最も高くなっています。

**どこの施設から？**




「市役所」が 47.1％と最も高く、次いで「いきいき情報センター」が 13.5％、「社会福祉協議会」が 11.2％となっています。

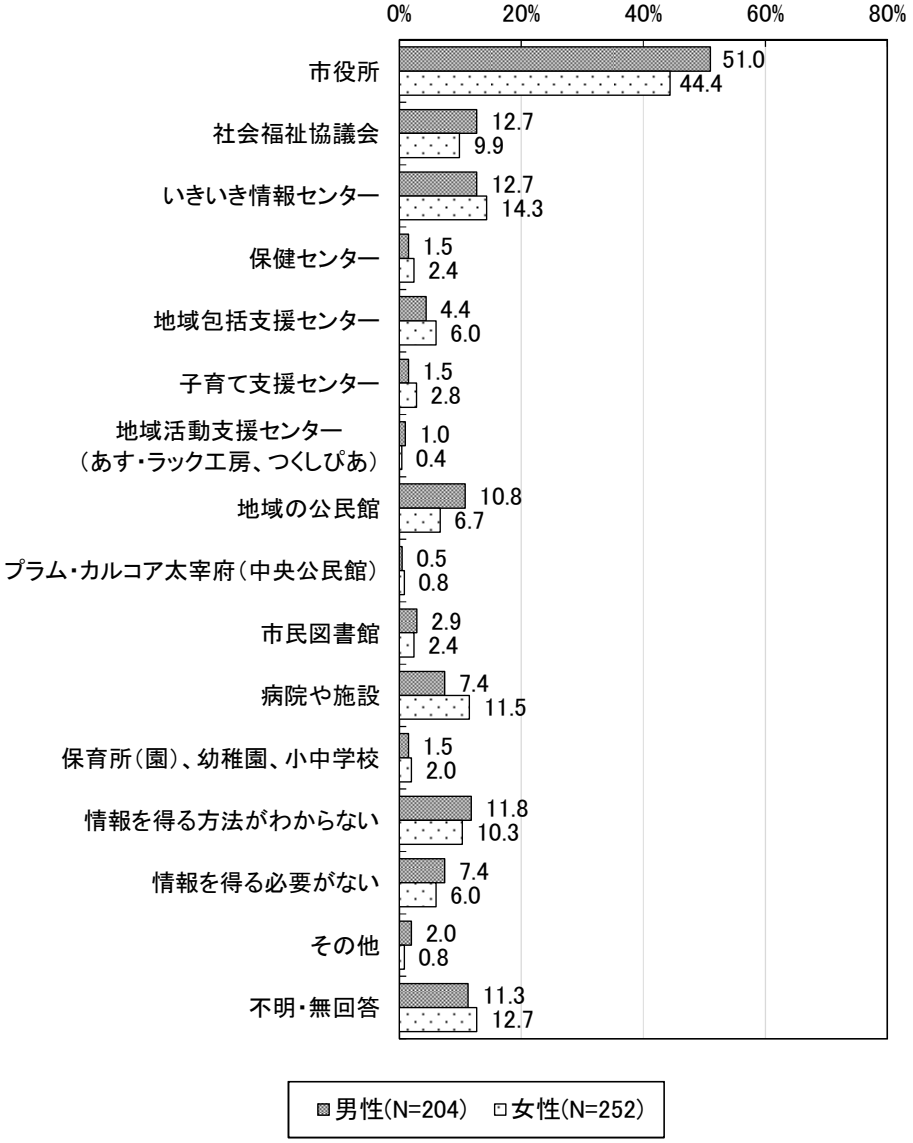
**【その他回答】**

・クローバープラザ

・気にしたことがない

【性別グラフ】

〈複数回答〉




性別にみると、男女ともに「市役所」が最も高く、男性が 51.0%、女性は 44.4%と男性が女性を 6.6 ポイント上回っています。また、「病院や施設」では、女性が 11.5%、男性は 7.4%と女性が男性を 4.1 ポイント上回っています。

【年齢別表】

単位：%

| 〈複数回答〉 | 市役所 | 社会福祉協議会 | いきいき情報センター | 保健センター | 地域包括支援センター | 子育て支援センター | 地域活動支援センター（あす・ラック工房、つくしぴあ） | 地域の公民館 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=63) | 23.3 | 3.3 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 3.3 | 0.0 | 3.3 |
| 30 歳代(N=127) | 41.5 | 5.7 | 18.9 | 1.9 | 1.9 | 11.3 | 0.0 | 5.7 |
| 40 歳代(N=142) | 50.8 | 3.4 | 10.2 | 5.1 | 1.7 | 1.7 | 0.0 | 1.7 |
| 50 歳代(N=104) | 52.2 | 9.0 | 11.9 | 1.5 | 4.5 | 3.0 | 0.0 | 1.5 |
| 60 歳代(N=176) | 53.8 | 13.2 | 17.9 | 0.9 | 9.4 | 0.0 | 0.0 | 8.5 |
| 70 歳代(N=140) | 52.2 | 17.4 | 10.9 | 3.3 | 4.3 | 0.0 | 1.1 | 18.5 |
| 80 歳代以上(N=35) | 33.3 | 18.8 | 8.3 | 0.0 | 10.4 | 0.0 | 4.2 | 12.5 |

| 〈複数回答〉 | プラム・カルコア太宰府（中央公民館） | 市民図書館 | 病院や施設 | 保育所（園）、幼稚園、小中学校 | 情報を得る方法がわからない | 情報を得る必要がない | その他 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=63) | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 3.3 | 23.3 | 6.7 | 3.3 | 20.0 |
| 30 歳代(N=127) | 0.0 | 0.0 | 1.9 | 3.8 | 18.9 | 3.8 | 1.9 | 11.3 |
| 40 歳代(N=142) | 1.7 | 3.4 | 6.8 | 6.8 | 13.6 | 20.3 | 0.0 | 6.8 |
| 50 歳代(N=104) | 0.0 | 0.0 | 20.9 | 1.5 | 13.4 | 9.0 | 1.5 | 9.0 |
| 60 歳代(N=176) | 0.9 | 4.7 | 7.5 | 0.0 | 7.5 | 2.8 | 1.9 | 7.5 |
| 70 歳代(N=140) | 1.1 | 2.2 | 7.6 | 0.0 | 4.3 | 2.2 | 0.0 | 20.7 |
| 80 歳代以上(N=35) | 0.0 | 0.0 | 20.8 | 0.0 | 8.3 | 6.3 | 2.1 | 12.5 |

年代別にみると、どの年代においても「市役所」の割合が最も高くなっています。また、20 歳代では「情報を得る方法がわからない」の割合が高くなっています。

【小学校区別表】

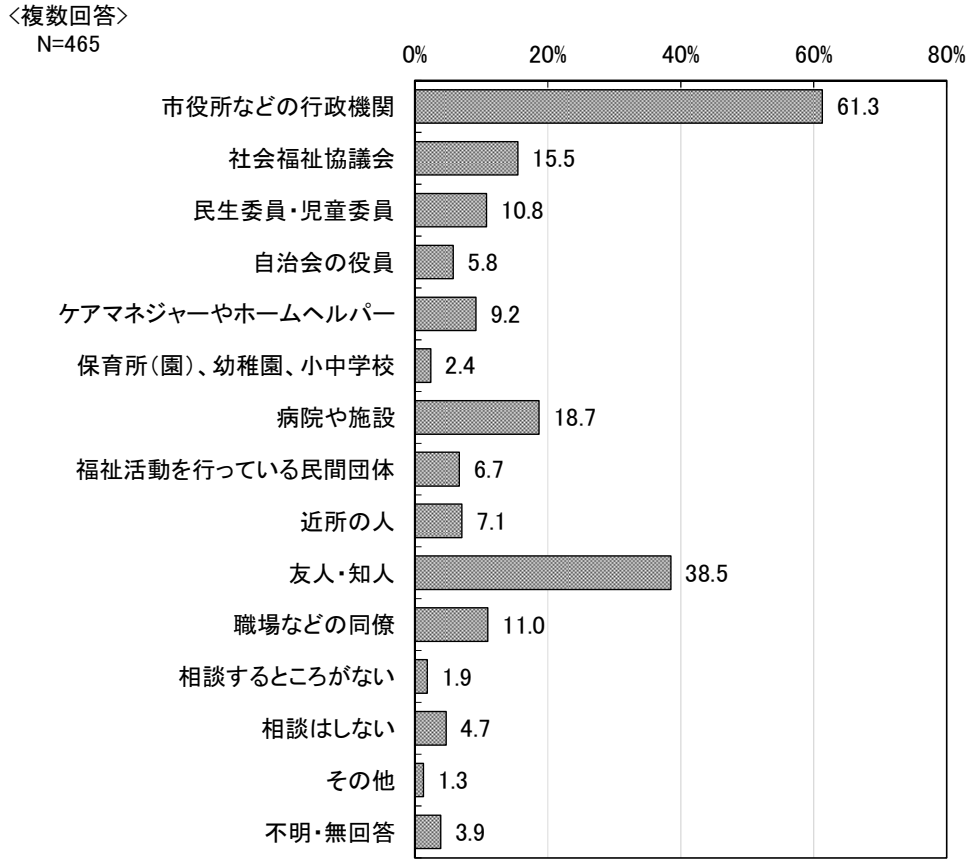
単位：%

| 〈複数回答〉 | 市役所 | 社会福祉協議会 | いきいき情報センター | 保健センター | 地域包括支援センター | 子育て支援センター | 地域活動支援センター（あす・ラック工房、つくしぴあ） | 地域の公民館 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区(N=67) | 50.7 | 10.4 | 13.4 | 0.0 | 4.5 | 0.0 | 0.0 | 7.5 |
| 太宰府東小学校区(N=39) | 43.6 | 15.4 | 15.4 | 0.0 | 5.1 | 0.0 | 0.0 | 15.4 |
| 太宰府南小学校区(N=43) | 46.5 | 14.0 | 23.3 | 4.7 | 9.3 | 2.3 | 0.0 | 9.3 |
| 水城小学校区(N=69) | 46.4 | 13.0 | 14.5 | 1.4 | 5.8 | 7.2 | 0.0 | 1.4 |
| 水城西小学校区(N=39) | 48.7 | 15.4 | 2.6 | 2.6 | 12.8 | 0.0 | 5.1 | 7.7 |
| 太宰府西小学校区(N=107) | 51.4 | 8.4 | 10.3 | 0.9 | 2.8 | 0.9 | 0.9 | 12.1 |
| 国分小学校区(N=60) | 45.0 | 6.7 | 11.7 | 5.0 | 3.3 | 3.3 | 0.0 | 11.7 |

| 〈複数回答〉 | プラム・カルコア太宰府（中央公民館） | 市民図書館 | 病院や施設 | 保育所（園）、幼稚園、小中学校 | 情報を得る方法がわからない | 情報を得る必要がない | その他 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区(N=67) | 0.0 | 3.0 | 4.5 | 0.0 | 9.0 | 10.4 | 0.0 | 11.9 |
| 太宰府東小学校区(N=39) | 0.0 | 10.3 | 15.4 | 0.0 | 12.8 | 0.0 | 2.6 | 7.7 |
| 太宰府南小学校区(N=43) | 0.0 | 0.0 | 16.3 | 0.0 | 9.3 | 0.0 | 2.3 | 9.3 |
| 水城小学校区(N=69) | 1.4 | 2.9 | 7.2 | 5.8 | 8.7 | 7.2 | 2.9 | 14.5 |
| 水城西小学校区(N=39) | 0.0 | 0.0 | 12.8 | 0.0 | 15.4 | 2.6 | 0.0 | 10.3 |
| 太宰府西小学校区(N=107) | 0.9 | 1.9 | 7.5 | 2.8 | 12.1 | 4.7 | 1.9 | 11.2 |
| 国分小学校区(N=60) | 1.7 | 0.0 | 11.7 | 1.7 | 11.7 | 10.0 | 0.0 | 16.7 |

小学校区別にみると、どの小学校区においても「市役所」の割合が最も高くなっています。

**問 21 あなた自身やご家族が、生活上の困りごとを抱えた時、家族以外で、どこ（誰）に相談しますか。（○は３つまで）**

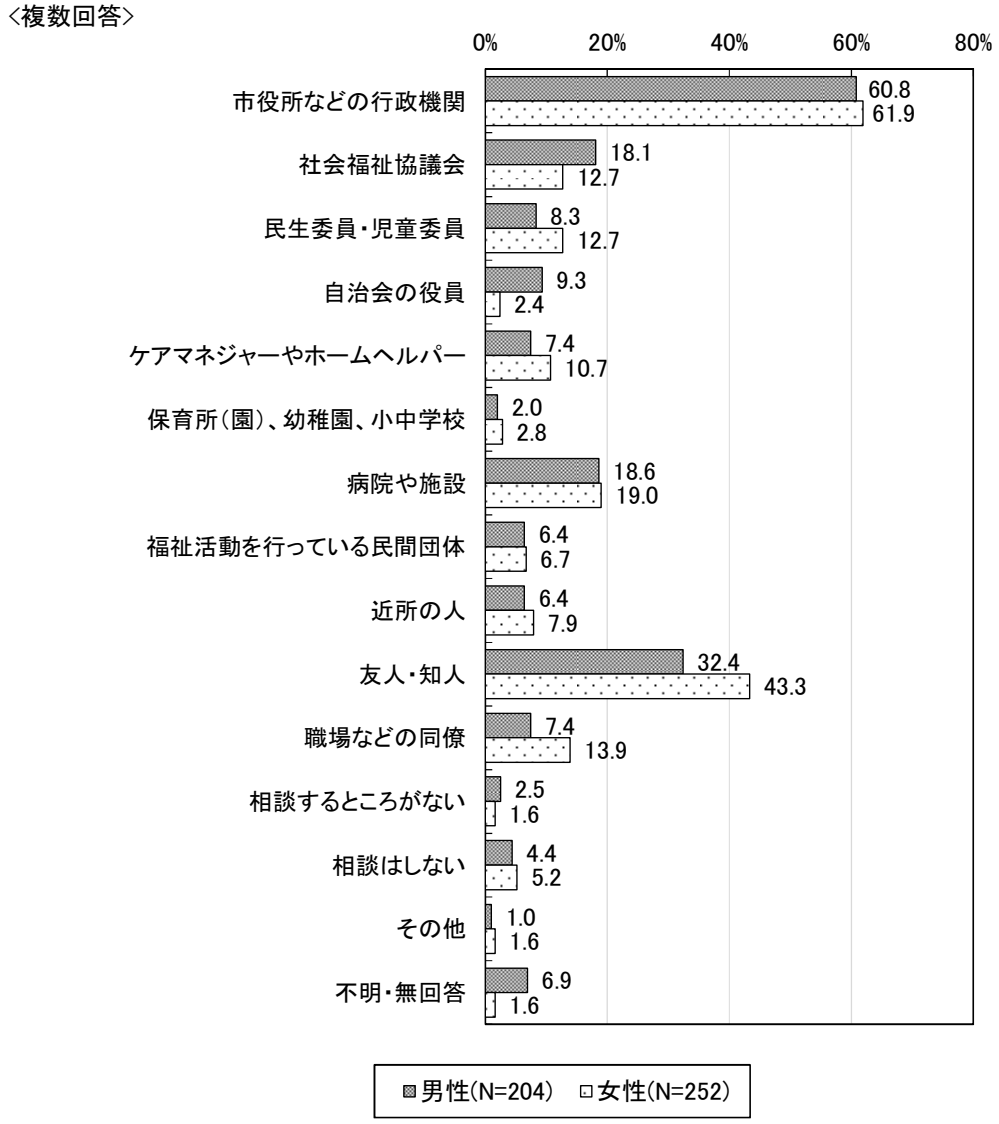



「市役所などの行政機関」が 61.3%と最も高く、次いで「友人・知人」が 38.5%、「病院や施設」が 18.7%となっています。

**【その他回答】**

・内容による（２）
・マンションの管理人、管理会社
・加入している保健サービス
・弁護士

【性別グラフ】




性別にみると、男女ともに「市役所などの行政機関」の割合が最も高くなっています。また、「友人・知人」では女性が男性を 10.9 ポイント、「社会福祉協議会」では男性が女性を 5.4 ポイント上回っています。

【年齢別表】

単位：%

| 〈複数回答〉 | 市役所などの行政機関 | 社会福祉協議会 | 民生委員・児童委員 | 自治会の役員 | ケアマネジャーやホームヘルパー | 保育所（園）、幼稚園、小中学校 | 病院や施設 | 福祉活動を行っている民間団体 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20歳代(N=30) | 43.3 | 6.7 | 3.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 6.7 |
| 30歳代(N=53) | 60.4 | 7.5 | 5.7 | 1.9 | 3.8 | 7.5 | 24.5 | 1.9 |
| 40歳代(N=59) | 69.5 | 5.1 | 3.4 | 0.0 | 5.1 | 10.2 | 11.9 | 5.1 |
| 50歳代(N=67) | 64.2 | 14.9 | 7.5 | 1.5 | 11.9 | 1.5 | 16.4 | 13.4 |
| 60歳代(N=106) | 67.0 | 23.6 | 11.3 | 5.7 | 9.4 | 0.0 | 21.7 | 3.8 |
| 70歳代(N=92) | 60.9 | 20.7 | 17.4 | 9.8 | 7.6 | 0.0 | 19.6 | 8.7 |
| 80歳以上(N=48) | 47.9 | 10.4 | 20.8 | 16.7 | 25.0 | 0.0 | 22.9 | 6.3 |

| 〈複数回答〉 | 近所の人 | 友人・知人 | 職場などの同僚 | 相談するところがない | 相談はしない | その他 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20歳代(N=30) | 10.0 | 63.3 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 |
| 30歳代(N=53) | 3.8 | 49.1 | 22.6 | 3.8 | 1.9 | 5.7 | 3.8 |
| 40歳代(N=59) | 1.7 | 52.5 | 33.9 | 3.4 | 5.1 | 0.0 | 0.0 |
| 50歳代(N=67) | 7.5 | 35.8 | 11.9 | 1.5 | 6.0 | 0.0 | 3.0 |
| 60歳代(N=106) | 5.7 | 27.4 | 2.8 | 1.9 | 6.6 | 0.9 | 4.7 |
| 70歳代(N=92) | 12.0 | 40.2 | 1.1 | 0.0 | 4.3 | 2.2 | 3.3 |
| 80歳以上(N=48) | 10.4 | 16.7 | 0.0 | 4.2 | 6.3 | 0.0 | 6.3 |

年代別にみると、20歳代では「友人・知人」、30歳代から80歳以上では「市役所などの行政機関」の割合が最も高くなっています。

【小学校区別表】

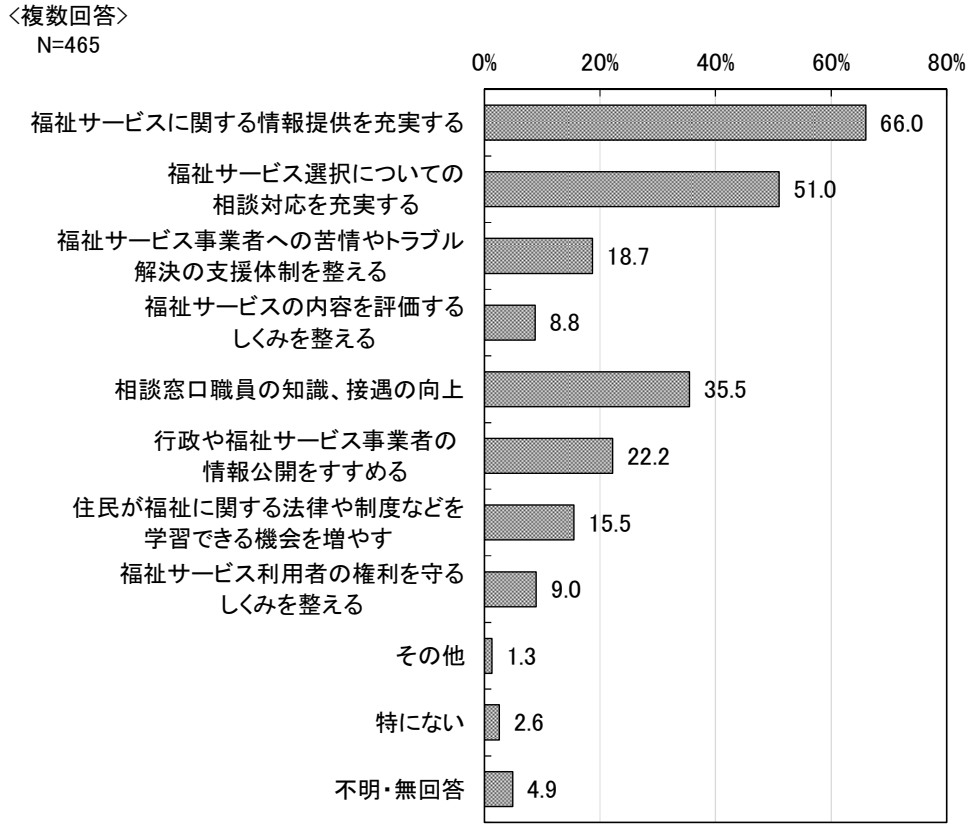
単位：%

| 〈複数回答〉 | 市役所などの行政機関 | 社会福祉協議会 | 民生委員・児童委員 | 自治会の役員 | ケアマネジャーやホームヘルパー | 保育所（園）、幼稚園、小中学校 | 病院や施設 | 福祉活動を行っている民間団体 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区(N=67) | 58.2 | 17.9 | 19.4 | 6.0 | 6.0 | 3.0 | 7.5 | 4.5 |
| 太宰府東小学校区(N=39) | 69.2 | 15.4 | 7.7 | 5.1 | 12.8 | 2.6 | 25.6 | 7.7 |
| 太宰府南小学校区(N=43) | 72.1 | 20.9 | 9.3 | 9.3 | 11.6 | 2.3 | 32.6 | 9.3 |
| 水城小学校区(N=69) | 59.4 | 13.0 | 5.8 | 1.4 | 5.8 | 7.2 | 18.8 | 8.7 |
| 水城西小学校区(N=39) | 56.4 | 17.9 | 7.7 | 10.3 | 10.3 | 2.6 | 12.8 | 5.1 |
| 太宰府西小学校区(N=107) | 58.9 | 14.0 | 10.3 | 7.5 | 4.7 | 0.9 | 18.7 | 7.5 |
| 国分小学校区(N=60) | 66.7 | 11.7 | 15.0 | 3.3 | 15.0 | 0.0 | 25.0 | 3.3 |

| 〈複数回答〉 | 近所の人 | 友人・知人 | 職場などの同僚 | 相談するところがない | 相談はしない | その他 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区(N=67) | 6.0 | 32.8 | 7.5 | 0.0 | 7.5 | 4.5 | 7.5 |
| 太宰府東小学校区(N=39) | 10.3 | 48.7 | 10.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 太宰府南小学校区(N=43) | 4.7 | 32.6 | 9.3 | 2.3 | 0.0 | 0.0 | 2.3 |
| 水城小学校区(N=69) | 10.1 | 50.7 | 10.1 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 1.4 |
| 水城西小学校区(N=39) | 15.4 | 20.5 | 7.7 | 2.6 | 7.7 | 0.0 | 5.1 |
| 太宰府西小学校区(N=107) | 4.7 | 41.1 | 15.9 | 2.8 | 4.7 | 0.0 | 3.7 |
| 国分小学校区(N=60) | 5.0 | 38.3 | 8.3 | 1.7 | 5.0 | 0.0 | 8.3 |

小学校区別にみると、どの小学校区においても「市役所などの行政機関」の割合が最も高くなっています。

**問 22 福祉サービス利用者が、自分に最適な福祉サービスを選び、安心して利用するため、市役所ではどのようなことに取り組む必要があると思いますか。（○は３つまで）**

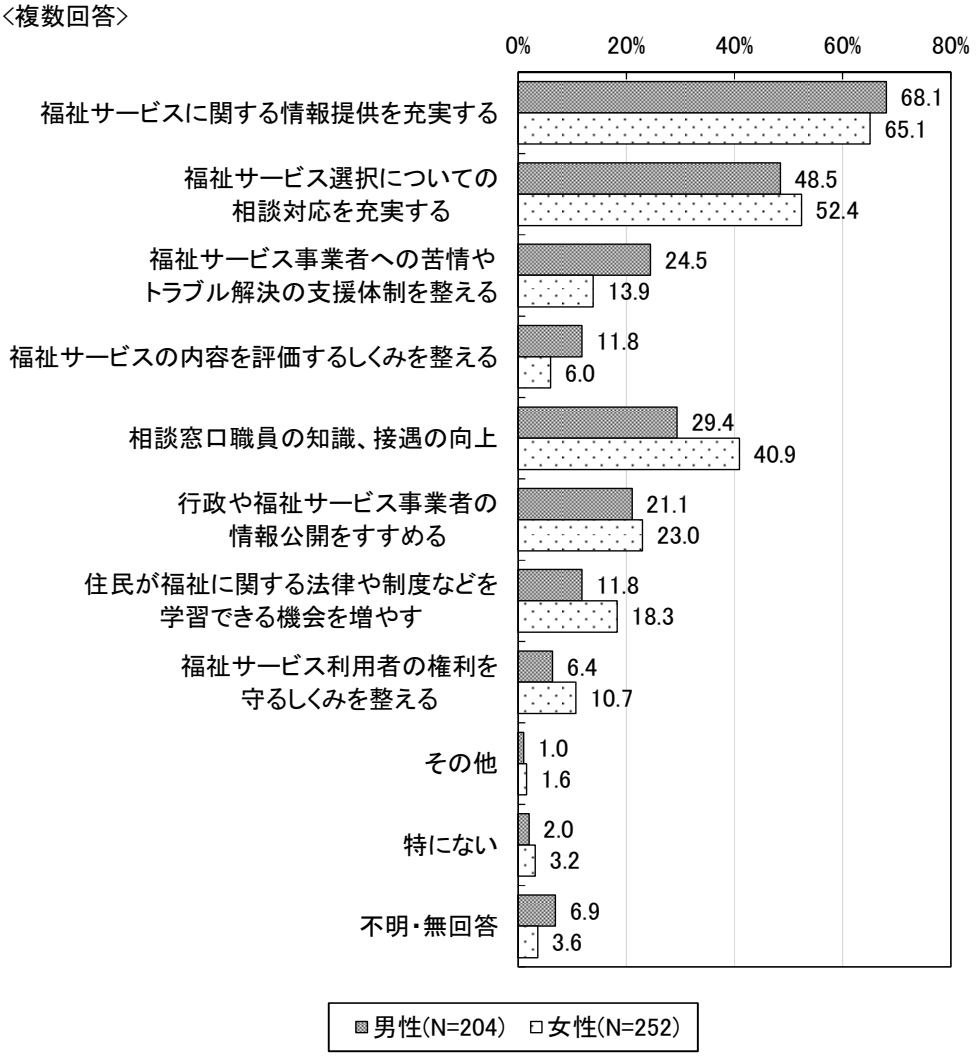



「福祉サービスに関する情報提供を充実する」が 66.0%と最も高く、次いで「福祉サービス選択についての相談対応を充実する」が 51.0%、「相談窓口職員の知識、接遇の向上」が 35.5%となっています。

**【その他回答】**

・家庭において必要な事はしっかり把握してほしい
・看護師やケアマネ資格を持っている人を把握し、災害や必要時に応じて出勤要請できるよう定期的に学習の場を設ける
・補償の充実（苦情、トラブル時に対して）
・職員が福祉に取り組む姿勢があるかないか
・市役所職員の人材育成、対応研修

【性別グラフ】




性別にみると、男女ともに「福祉サービスに関する情報提供を充実する」の割合が最も高くなっています。また、「相談窓口職員の知識、接遇の向上」では女性が男性を 11.5 ポイント上回っています。

【年齢別表】

単位：%

| 〈複数回答〉 | 福祉サービスに関する情報提供を充実する | 福祉サービス選択についての相談対応を充実する | 福祉サービス事業者への苦情やトラブル解決の支援体制を整える | 福祉サービスの内容を評価するしくみを整える | 相談窓口職員の知識、接遇の向上 | 行政や福祉サービス事業者の情報公開をすすめる | 住民が福祉に関する法律や制度などを学習できる機会を増やす | 福祉サービス利用者の権利を守るしくみを整える | その他 | 特にない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=30) | 56.7 | 40.0 | 16.7 | 16.7 | 30.0 | 33.3 | 23.3 | 3.3 | 0.0 | 0.0 | 10.0 |
| 30 歳代(N=53) | 71.7 | 58.5 | 11.3 | 9.4 | 41.5 | 15.1 | 9.4 | 7.5 | 1.9 | 3.8 | 3.8 |
| 40 歳代(N=59) | 69.5 | 49.2 | 28.8 | 6.8 | 39.0 | 16.9 | 15.3 | 3.4 | 3.4 | 6.8 | 1.7 |
| 50 歳代(N=67) | 68.7 | 56.7 | 25.4 | 3.0 | 41.8 | 28.4 | 16.4 | 10.4 | 1.5 | 1.5 | 3.0 |
| 60 歳代(N=106) | 61.3 | 54.7 | 21.7 | 12.3 | 35.8 | 22.6 | 15.1 | 9.4 | 0.9 | 0.0 | 3.8 |
| 70 歳代(N=92) | 76.1 | 54.3 | 14.1 | 7.6 | 34.8 | 23.9 | 12.0 | 13.0 | 1.1 | 1.1 | 3.3 |
| 80 歳以上(N=48) | 52.1 | 27.1 | 6.3 | 6.3 | 22.9 | 14.6 | 22.9 | 8.3 | 0.0 | 8.3 | 16.7 |

年代別にみると、どの年代においても「福祉サービスに関する情報提供を充実する」の割合が最も高くなっています。

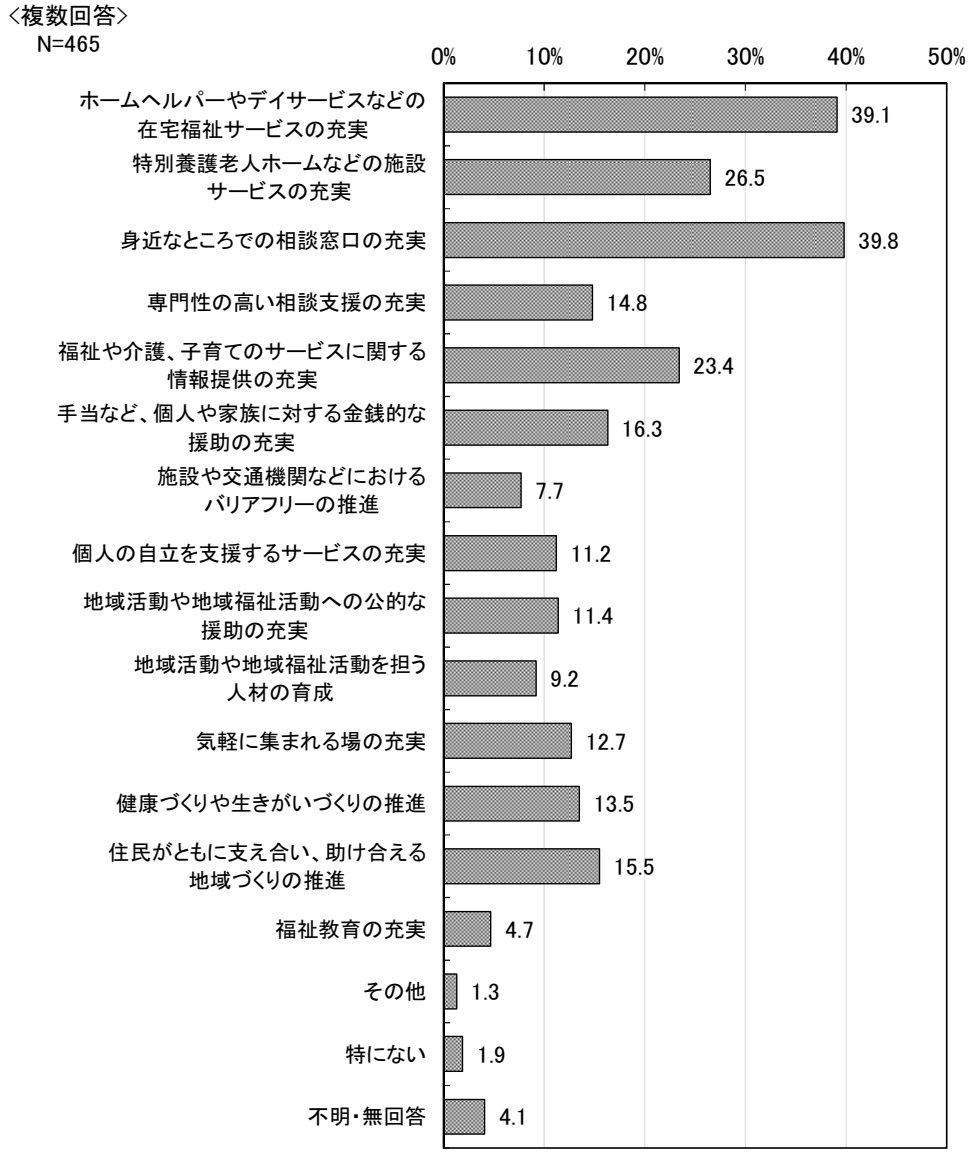
【小学校区別表】

単位：%

| 〈複数回答〉 | 福祉サービスに関する情報提供を充実する | 福祉サービス選択についての相談対応を充実する | 福祉サービス事業者への苦情やトラブル解決の支援体制を整える | 福祉サービスの内容を評価するしくみを整える | 相談窓口職員の知識、接遇の向上 | 行政や福祉サービス事業者の情報公開をすすめる | 住民が福祉に関する法律や制度などを学習できる機会を増やす | 福祉サービス利用者の権利を守るしくみを整える | その他 | 特にない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区 (N=67) | 74.6 | 50.7 | 22.4 | 4.5 | 32.8 | 23.9 | 14.9 | 6.0 | 1.5 | 4.5 | 4.5 |
| 太宰府東小学校区 (N=39) | 64.1 | 51.3 | 15.4 | 10.3 | 38.5 | 17.9 | 20.5 | 12.8 | 2.6 | 2.6 | 0.0 |
| 太宰府南小学校区 (N=43) | 62.8 | 58.1 | 16.3 | 2.3 | 37.2 | 25.6 | 16.3 | 7.0 | 2.3 | 0.0 | 4.7 |
| 水城小学校区 (N=69) | 69.6 | 44.9 | 23.2 | 10.1 | 37.7 | 18.8 | 24.6 | 10.1 | 2.9 | 0.0 | 1.4 |
| 水城西小学校区 (N=39) | 61.5 | 51.3 | 10.3 | 12.8 | 33.3 | 25.6 | 5.1 | 15.4 | 0.0 | 2.6 | 7.7 |
| 太宰府西小学校区 (N=107) | 71.0 | 48.6 | 12.1 | 14.0 | 38.3 | 24.3 | 15.0 | 6.5 | 0.0 | 3.7 | 5.6 |
| 国分小学校区 (N=60) | 61.7 | 55.0 | 25.0 | 5.0 | 31.7 | 25.0 | 11.7 | 6.7 | 0.0 | 1.7 | 10.0 |

小学校区別にみると、どの小学校区においても「福祉サービスに関する情報提供を充実する」の割合が最も高くなっています。

**問 23 住民が住み慣れた地域で、安心して暮らしていくためには、どのような福祉のあり方が大切だと思いますか。（○は３つまで）**

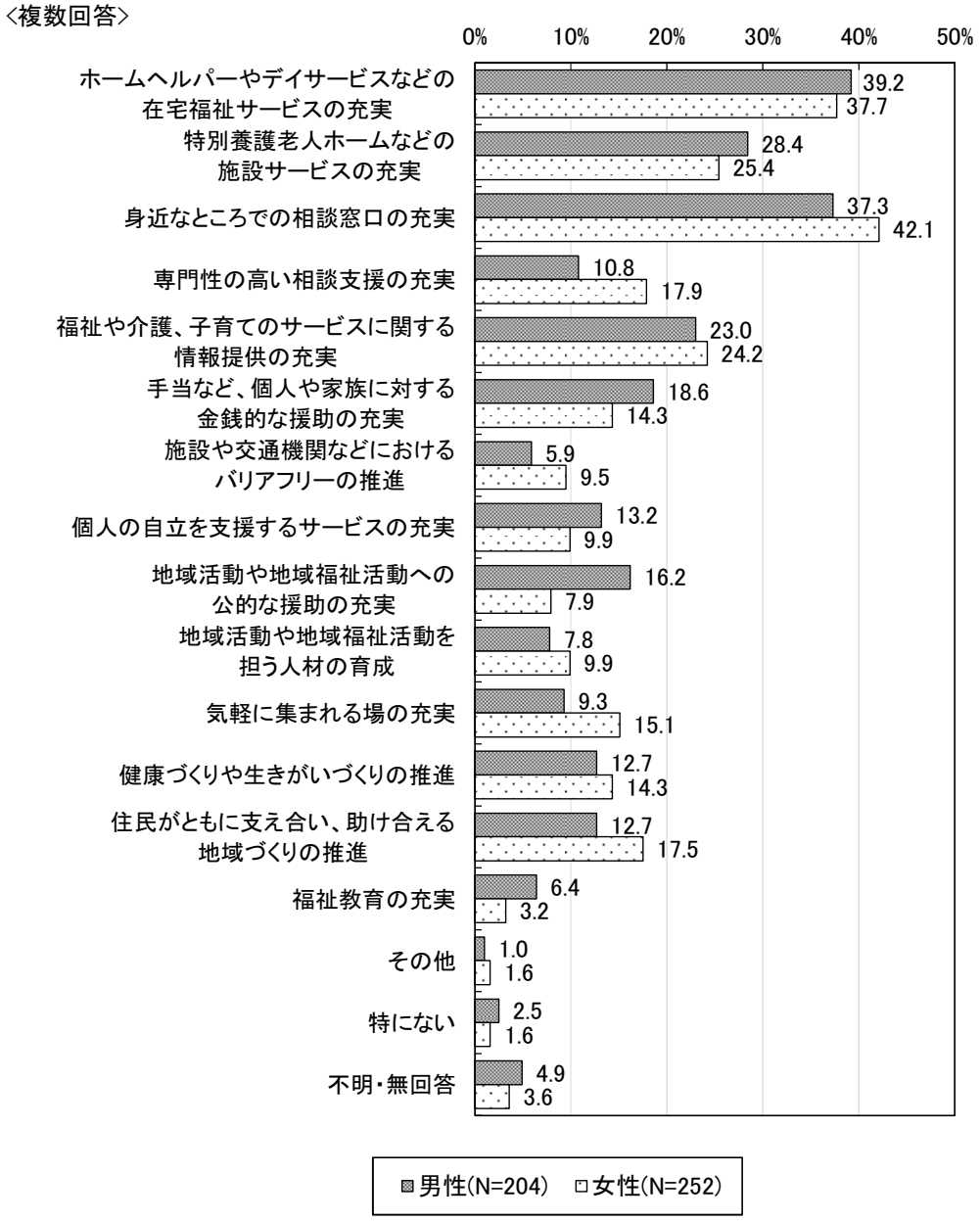



「身近なところでの相談窓口の充実」が 39.8%と最も高く、次いで「ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実」が 39.1%、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が 26.5%となっています。

**【その他回答】**

・福祉は充実していても本人がその気にならなきゃ話になりません
・家族によりニーズが異なるので一律サービスでは対応できない。細分化する
・子どもたちも興味を持つよう、学校等で教育
・会社に対して地域活動、福祉への理解や支援
・介護士の給料アップ

【性別グラフ】




性別にみると、男性では「ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実」、女性では「身近なところでの相談窓口の充実」の割合が最も高くなっています。また、「専門性の高い相談支援の充実」では女性が男性を 7.1 ポイント、「地域活動や地域福祉活動への公的な援助の充実」では男性が女性を 8.3 ポイント上回っています。

【年代別グラフ】

単位：%

| 〈複数回答〉 | ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実 | 特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実 | 身近なところでの相談窓口の充実 | 専門性の高い相談支援の充実 | 福祉や介護、子育てのサービスに関する情報提供の充実 | 手当など、個人や家族に対する金銭的な援助の充実 | 施設や交通機関などにおけるバリアフリーの推進 | 個人の自立を支援するサービスの充実 | 地域活動や地域福祉活動への公的な援助の充実 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=30) | 23.3 | 6.7 | 30.0 | 16.7 | 20.0 | 26.7 | 20.0 | 13.3 | 6.7 |
| 30 歳代(N=53) | 28.3 | 20.8 | 39.6 | 18.9 | 28.3 | 28.3 | 18.9 | 13.2 | 9.4 |
| 40 歳代(N=59) | 27.1 | 22.0 | 40.7 | 20.3 | 28.8 | 32.2 | 5.1 | 8.5 | 13.6 |
| 50 歳代(N=67) | 43.3 | 28.4 | 55.2 | 16.4 | 25.4 | 16.4 | 0.0 | 13.4 | 11.9 |
| 60 歳代(N=106) | 44.3 | 34.9 | 34.9 | 12.3 | 18.9 | 12.3 | 7.5 | 14.2 | 11.3 |
| 70 歳代(N=92) | 43.5 | 29.3 | 43.5 | 12.0 | 27.2 | 6.5 | 4.3 | 8.7 | 18.5 |
| 80 歳以上(N=48) | 43.8 | 25.0 | 29.2 | 10.4 | 14.6 | 4.2 | 10.4 | 8.3 | 2.1 |

| 〈複数回答〉 | 地域活動や地域福祉活動を担う人材の育成 | 気軽に集まれる場の充実 | 健康づくりや生きがいづくりの推進 | 住民がともに支え合い、助け合える地域づくりの推進 | 福祉教育の充実 | その他 | 特にない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=30) | 10.0 | 26.7 | 13.3 | 16.7 | 13.3 | 0.0 | 0.0 | 6.7 |
| 30 歳代(N=53) | 7.5 | 13.2 | 11.3 | 7.5 | 5.7 | 0.0 | 1.9 | 1.9 |
| 40 歳代(N=59) | 10.2 | 6.8 | 8.5 | 16.9 | 3.4 | 5.1 | 5.1 | 0.0 |
| 50 歳代(N=67) | 10.4 | 9.0 | 10.4 | 10.4 | 4.5 | 3.0 | 1.5 | 6.0 |
| 60 歳代(N=106) | 7.5 | 12.3 | 17.9 | 15.1 | 2.8 | 0.0 | 1.9 | 3.8 |
| 70 歳代(N=92) | 10.9 | 14.1 | 14.1 | 20.7 | 3.3 | 1.1 | 0.0 | 3.3 |
| 80 歳以上(N=48) | 6.3 | 12.5 | 16.7 | 18.8 | 4.2 | 0.0 | 4.2 | 10.4 |

年代別にみると、20 歳代から 50 歳代では「身近なところでの相談窓口の充実」、60 歳代から 80 歳以上では「ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実」の割合が最も高くなっています。また、70 歳代では「身近なところでの相談窓口の充実」の割合も高くなっています。

【小学校区別表】

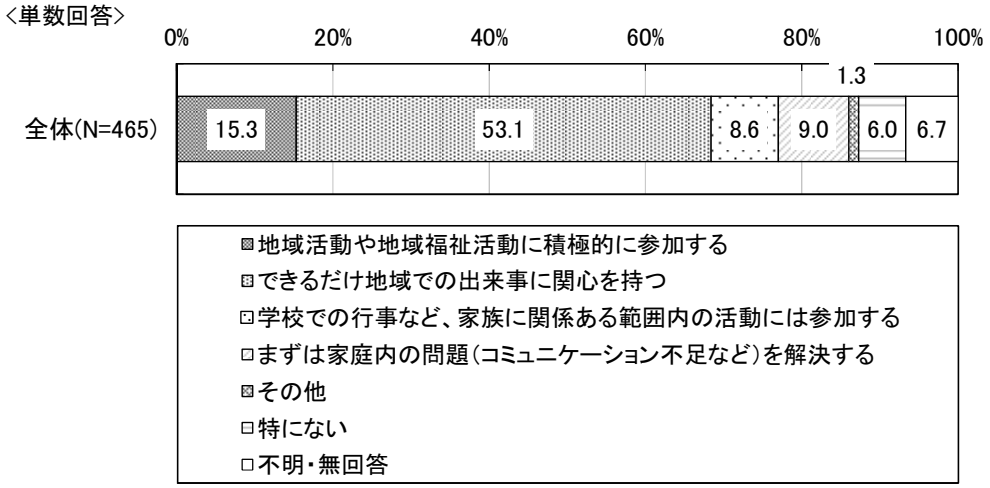
単位：%

| 〈複数回答〉 | ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実 | 特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実 | 身近なところでの相談窓口の充実 | 専門性の高い相談支援の充実 | 福祉や介護、子育てのサービスに関する情報提供の充実 | 手当など、個人や家族に対する金銭的な援助の充実 | 施設や交通機関などにおけるバリアフリーの推進 | 個人の自立を支援するサービスの充実 | 地域活動や地域福祉活動への公的な援助の充実 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区(N=67) | 37.3 | 26.9 | 34.3 | 23.9 | 23.9 | 9.0 | 11.9 | 9.0 | 10.4 |
| 太宰府東小学校区(N=39) | 35.9 | 25.6 | 43.6 | 10.3 | 28.2 | 7.7 | 5.1 | 17.9 | 12.8 |
| 太宰府南小学校区(N=43) | 44.2 | 37.2 | 37.2 | 11.6 | 23.3 | 23.3 | 7.0 | 2.3 | 11.6 |
| 水城小学校区(N=69) | 36.2 | 30.4 | 46.4 | 14.5 | 17.4 | 23.2 | 5.8 | 15.9 | 10.1 |
| 水城西小学校区(N=39) | 35.9 | 30.8 | 48.7 | 17.9 | 20.5 | 10.3 | 0.0 | 7.7 | 12.8 |
| 太宰府西小学校区(N=107) | 40.2 | 29.0 | 37.4 | 14.0 | 28.0 | 15.0 | 8.4 | 11.2 | 15.0 |
| 国分小学校区(N=60) | 40.0 | 16.7 | 43.3 | 15.0 | 25.0 | 16.7 | 6.7 | 13.3 | 11.7 |

| 〈複数回答〉 | 地域活動や地域福祉活動を担う人材の育成 | 気軽に集まれる場の充実 | 健康づくりや生きがいづくりの推進 | 住民がともに支え合い、助け合える地域づくりの推進 | 福祉教育の充実 | その他 | 特にない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区(N=67) | 13.4 | 14.9 | 11.9 | 11.9 | 7.5 | 0.0 | 4.5 | 3.0 |
| 太宰府東小学校区(N=39) | 7.7 | 23.1 | 5.1 | 30.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.6 |
| 太宰府南小学校区(N=43) | 7.0 | 9.3 | 11.6 | 9.3 | 4.7 | 4.7 | 2.3 | 2.3 |
| 水城小学校区(N=69) | 11.6 | 17.4 | 15.9 | 10.1 | 5.8 | 0.0 | 0.0 | 2.9 |
| 水城西小学校区(N=39) | 7.7 | 10.3 | 15.4 | 12.8 | 5.1 | 2.6 | 5.1 | 2.6 |
| 太宰府西小学校区(N=107) | 9.3 | 15.0 | 15.0 | 17.8 | 2.8 | 0.9 | 0.9 | 3.7 |
| 国分小学校区(N=60) | 6.7 | 1.7 | 15.0 | 18.3 | 5.0 | 1.7 | 0.0 | 10.0 |

小学校区別にみると、太宰府小学校区、太宰府南小学校区、太宰府西小学校区では「ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実」、太宰府東小学校区、水城小学校区、水城西小学校区、国分小学校区では「身近なところでの相談窓口の充実」の割合が最も高くなっています。

**問 24 私たち一人ひとりが安心して地域のなかで暮らしていくために、市民のひとりとして、あなたができることはどんなことがあると思いますか。（１つだけ○）**

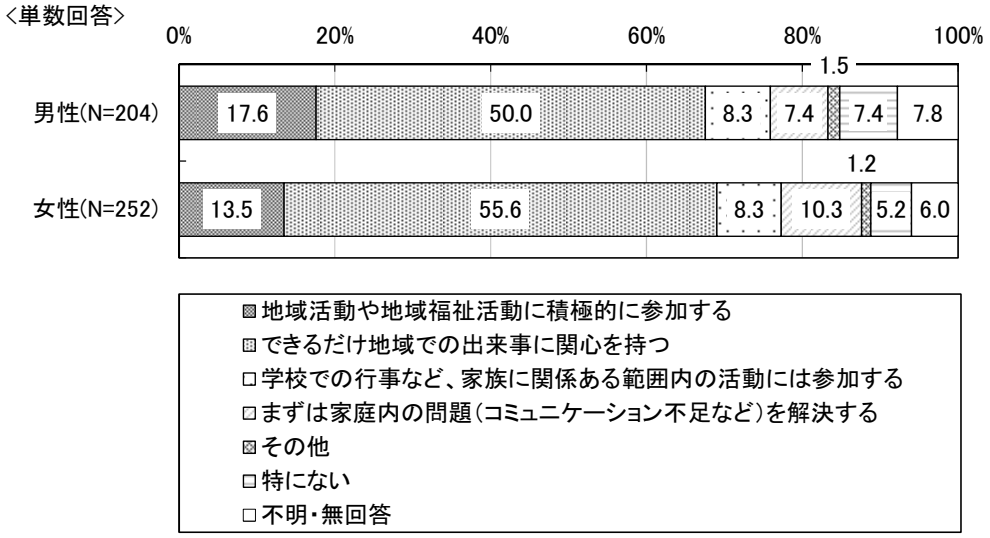



「できるだけ地域での出来事に関心を持つ」が 53.1％と最も高く、次いで「地域活動や地域福祉活動に積極的に参加する」が 15.3％、「まずは家庭内の問題（コミュニケーション不足など）を解決する」が 9.0％となっています。

**【その他回答】**

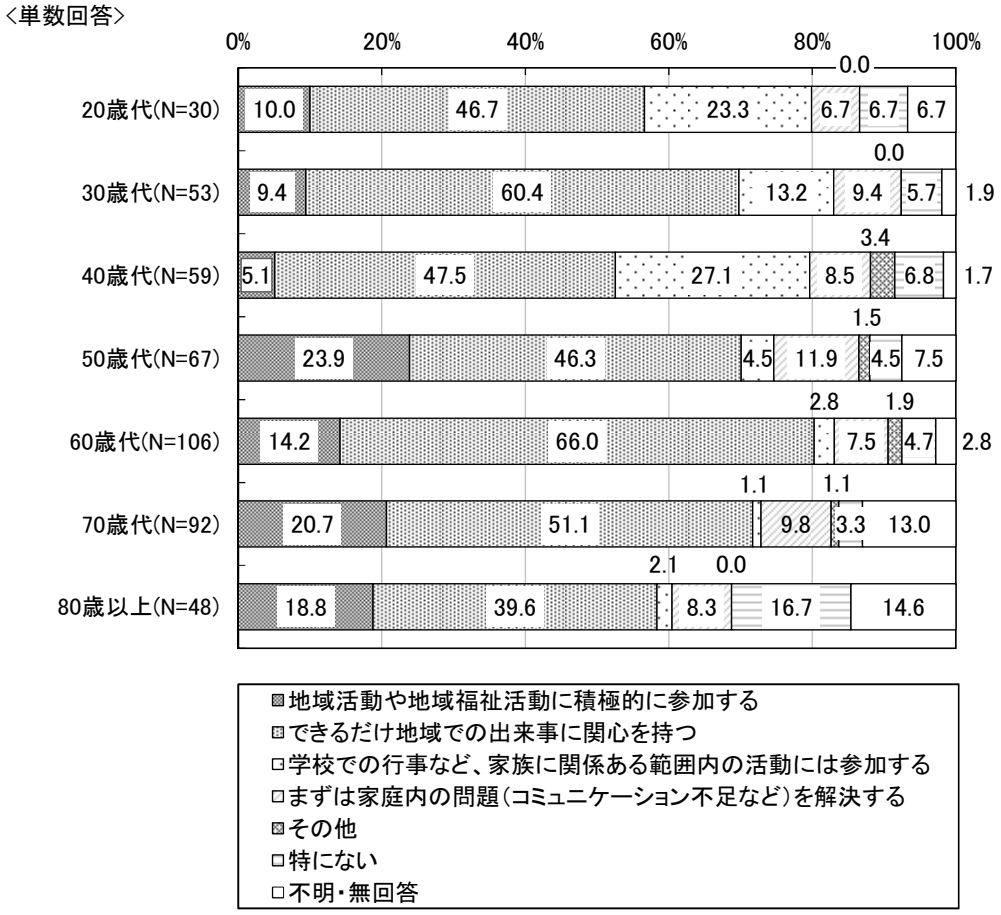
・できるだけ家族、身近な人に迷惑をかけたくない
・支援を受ける立場にあるので該当しない
・納税

【性別グラフ】



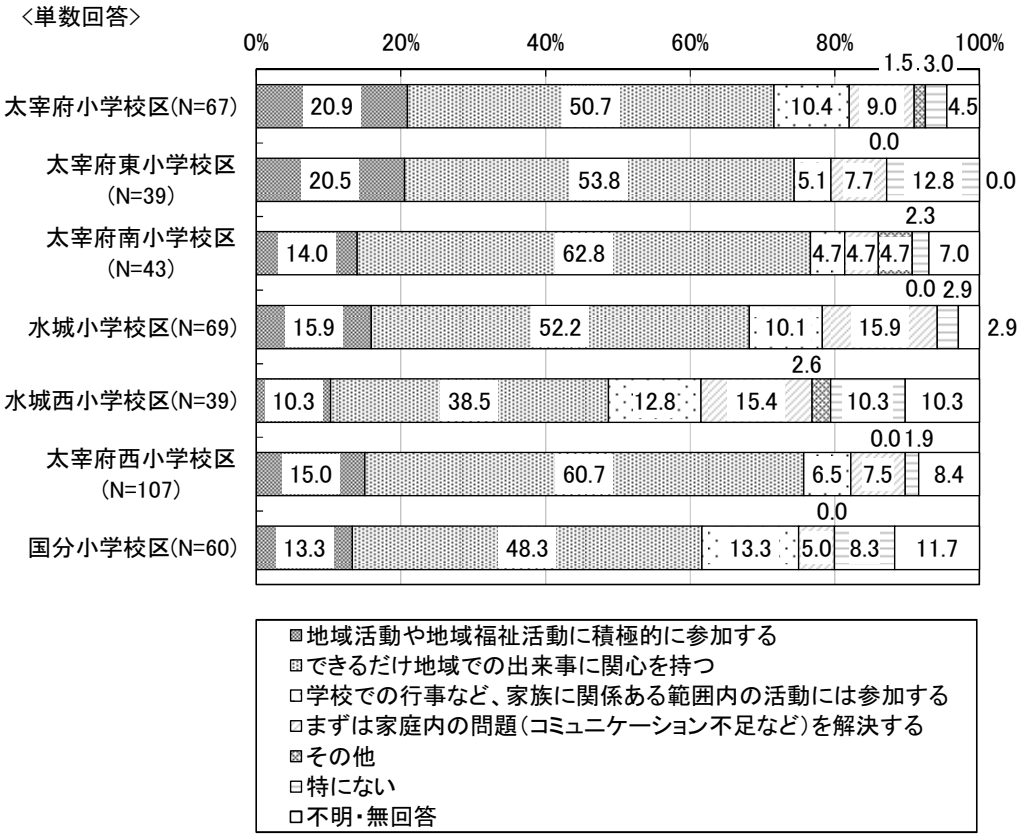

性別にみると、男女ともに「できるだけ地域での出来事に関心を持つ」の割合が最も高く、女性が 55.6%、男性は 50.0%と女性が男性を 5.6 ポイント上回っています。また、「地域活動や地域福祉活動に積極的に参加する」では、男性が女性を 4.1 ポイント上回っています。

【年代別グラフ】



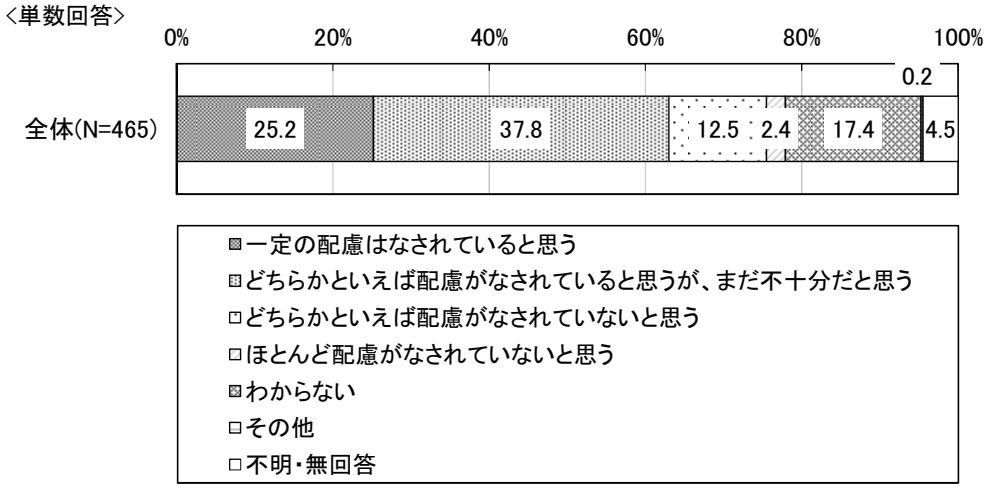

年代別にみると、どの年代においても「できるだけ地域での出来事に関心を持つ」が最も高くなっています。また、50 歳代では「地域活動や地域福祉活動に積極的に参加する」が23.9%と他の年代と比較して高くなっています。

【小学校区別グラフ】




小学校区別にみると、どの小学校区においても「できるだけ地域での出来事に関心を持つ」の割合が最も高くなっていますが、水城西小学校区では 38.5%と他の小学校区と比較してやや低くなっています。

**問 25 あなたは日ごろの生活のなかで、障がいのある人への配慮がなされている、または、なされていない（差別がある）と感じたことがありますか。（１つだけ○）**

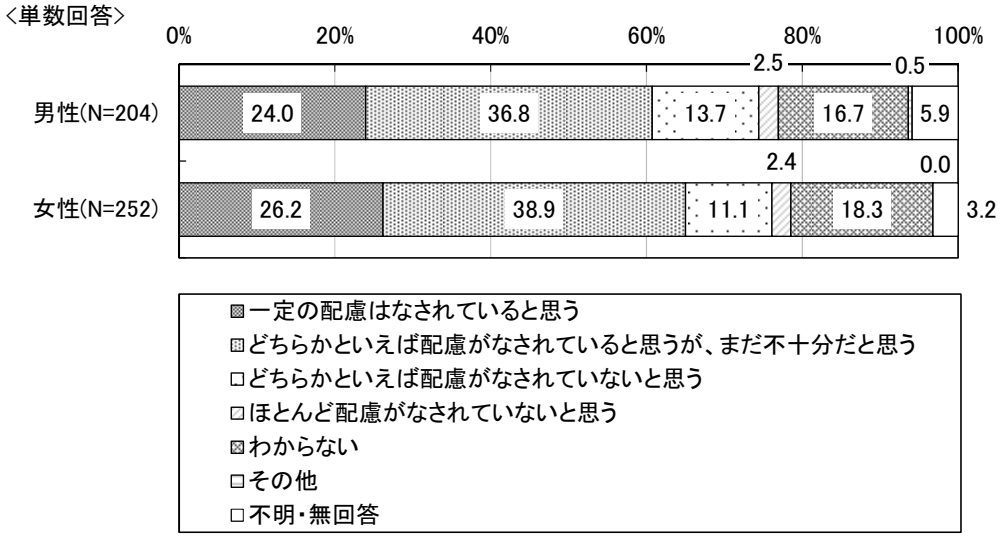



「どちらかといえば配慮がなされていると思うが、まだ不十分だと思う」が 37.8%と最も高く、次いで「一定の配慮はなされていると思う」が 25.2%、「どちらかといえば配慮がなされていないと思う」が 12.5%となっています。

**【その他回答】**

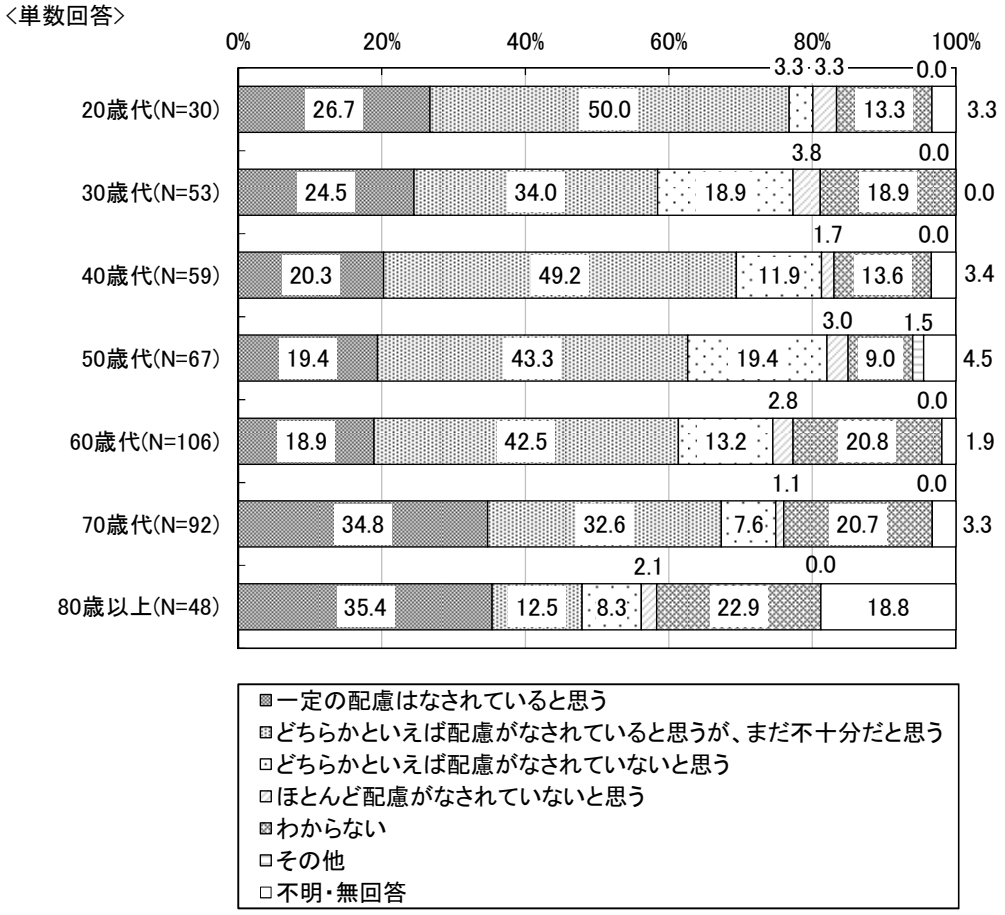
・思いやりの心が足りない

【性別グラフ】



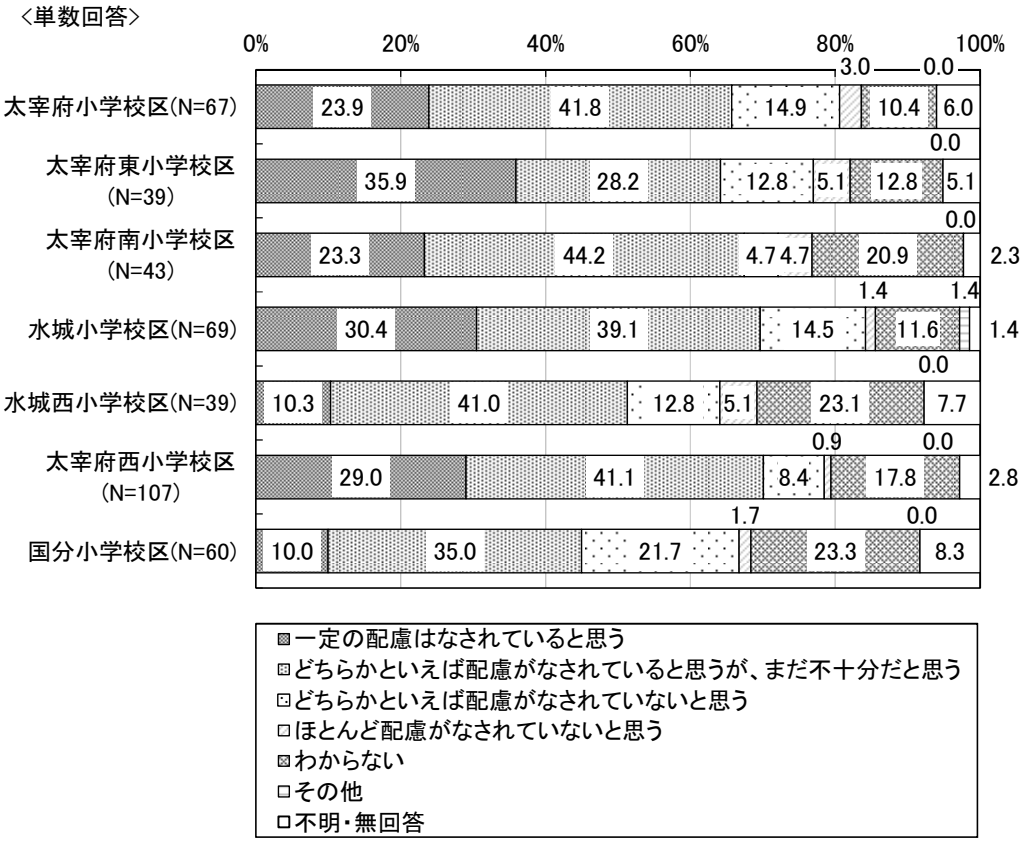

性別にみると、男女ともに「どちらかといえば配慮がなされていると思うが、まだ不十分だと思う」の割合が最も高くなっており、男女間での大きな差はみられません。

【年代別グラフ】



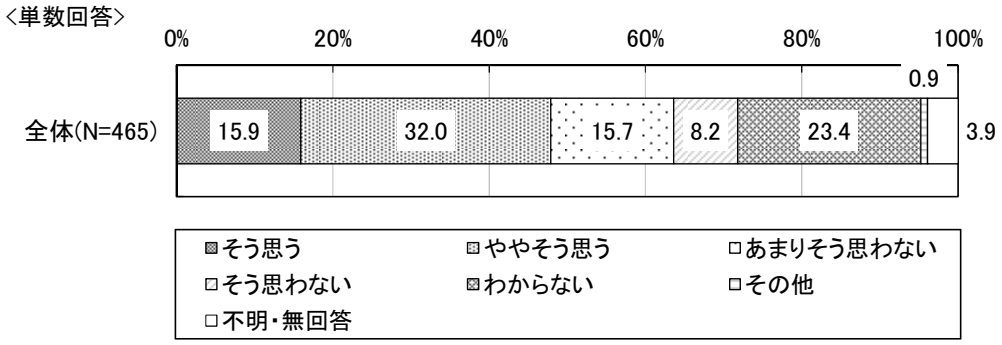

年代別にみると、20 歳代から 60 歳代では「どちらかといえば配慮がなされていると思うが、まだ不十分だと思う」、70 歳代、80 歳以上では「一定の配慮はなされていると思う」の割合が高くなっています。

【小学校区別グラフ】




小学校区別にみると、太宰府東小学校区では「一定の配慮はなされていると思う」、その他の小学校区では「どちらかといえば配慮がなされていると思うが、まだ不十分だと思う」の割合が高くなっています。

**問 26 あなたは市内の公共施設（市役所など）が高齢者や障がいのある人などに配慮されていると思いますか。（１つだけ○）**

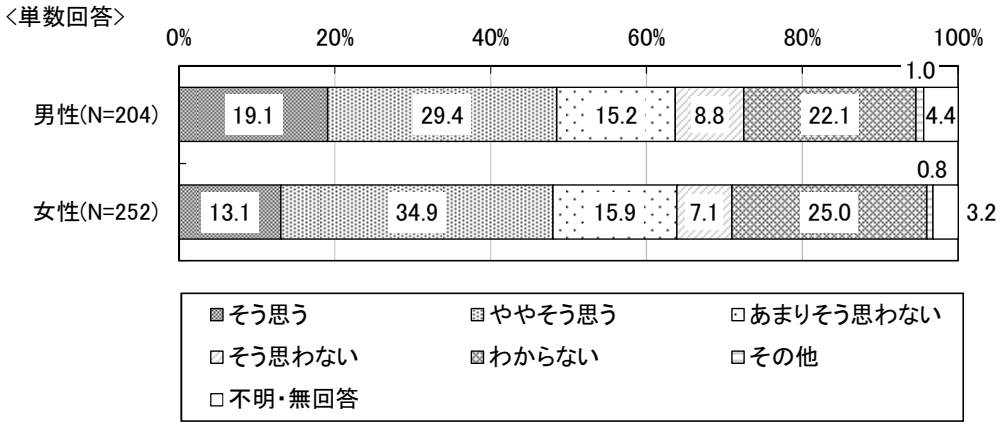



「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『配慮されていると思う』が 47.9%と半数を占めています。また、「あまりそう思わない」と「そう思わない」をあわせた『配慮されていると思わない』が 23.9%となっています。

**【その他回答】**

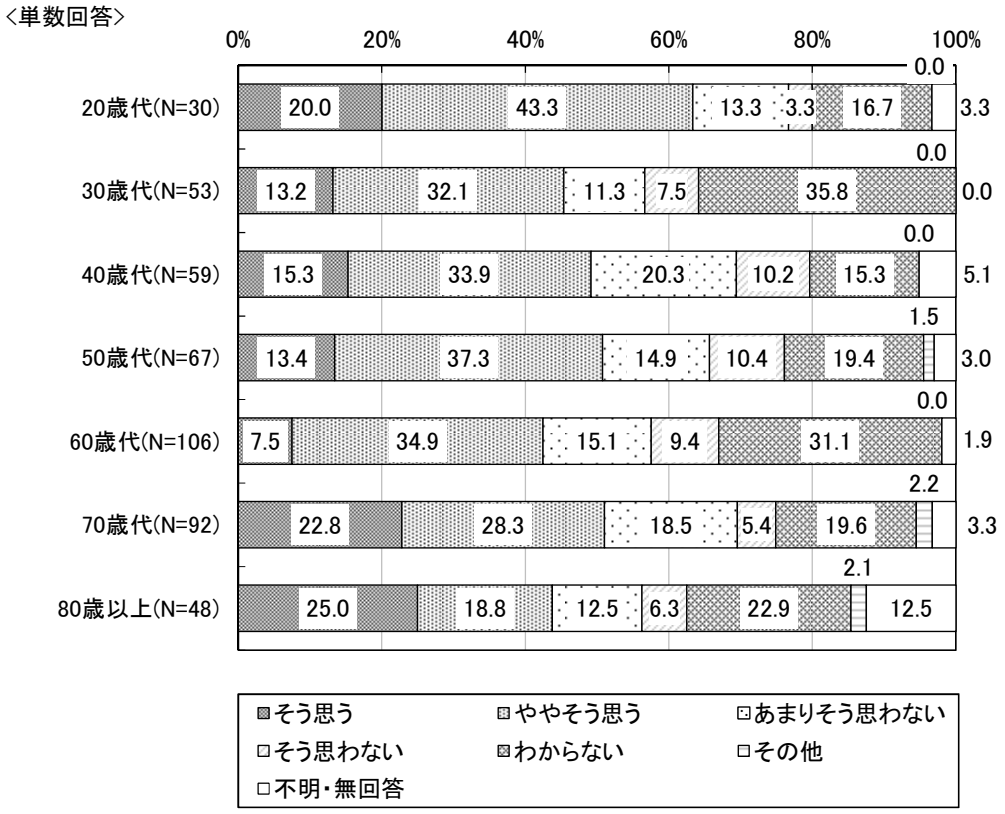
・トイレが少ない

**【性別グラフ】**



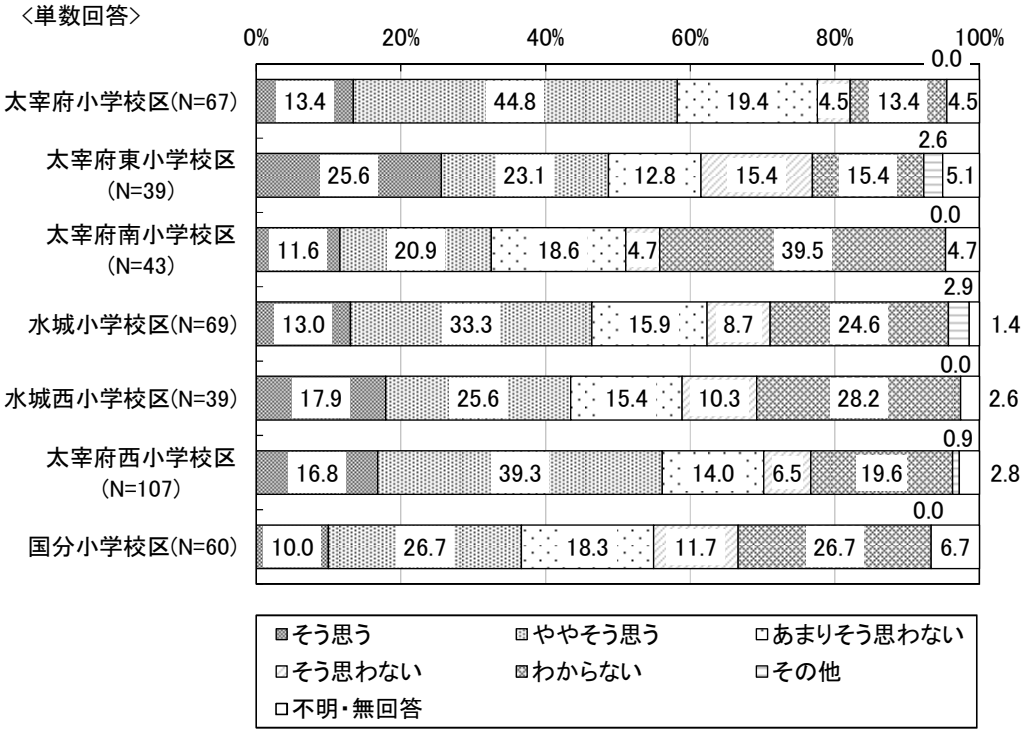

性別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『配慮されていると思う』が、男性で 48.5%、女性で 48.0%となっており、男女間で大きな差はみられません。

【年代別グラフ】



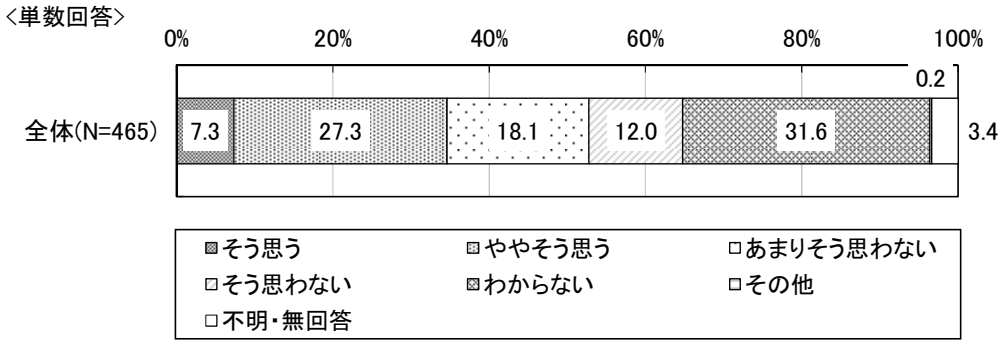

年代別にみると、どの年代においても「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『配慮されていると思う』の割合が高くなっていますが、60 歳代では 42.4%、80 歳以上では 43.8%と他の年代と比較してやや低くなっています。

【小学校区別グラフ】




小学校区別にみると、どの小学校区においても「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『配慮されていると思う』の割合が高くなっていますが、太宰府南小学校区では 32.5%、国分小学校区では 36.7%と他の小学校区と比較してやや低くなっています。

## 問 27 あなたは市内の民間施設が高齢者や障がいのある人などに配慮されていると思いますか。（１つだけ○）

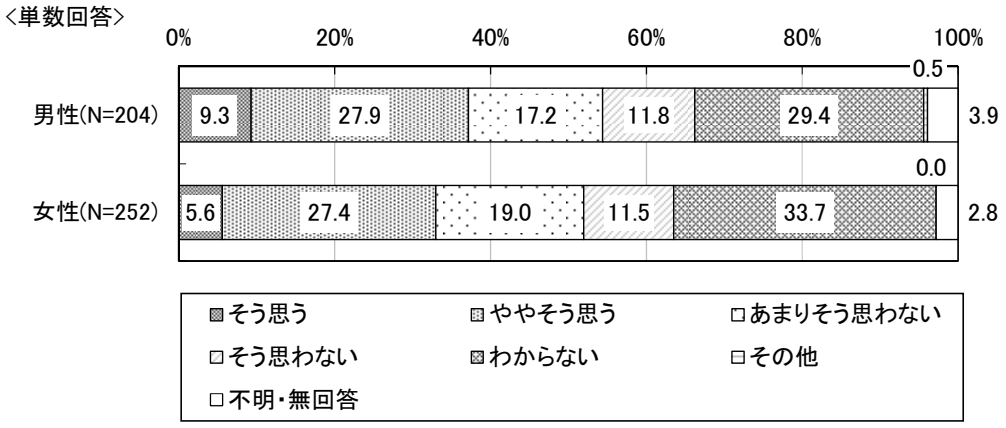



「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『配慮されていると思う』人が 34.6%、「あまりそう思わない」と「そう思わない」をあわせた『配慮されていると思わない』人が 30.1％となっています。

【その他回答】

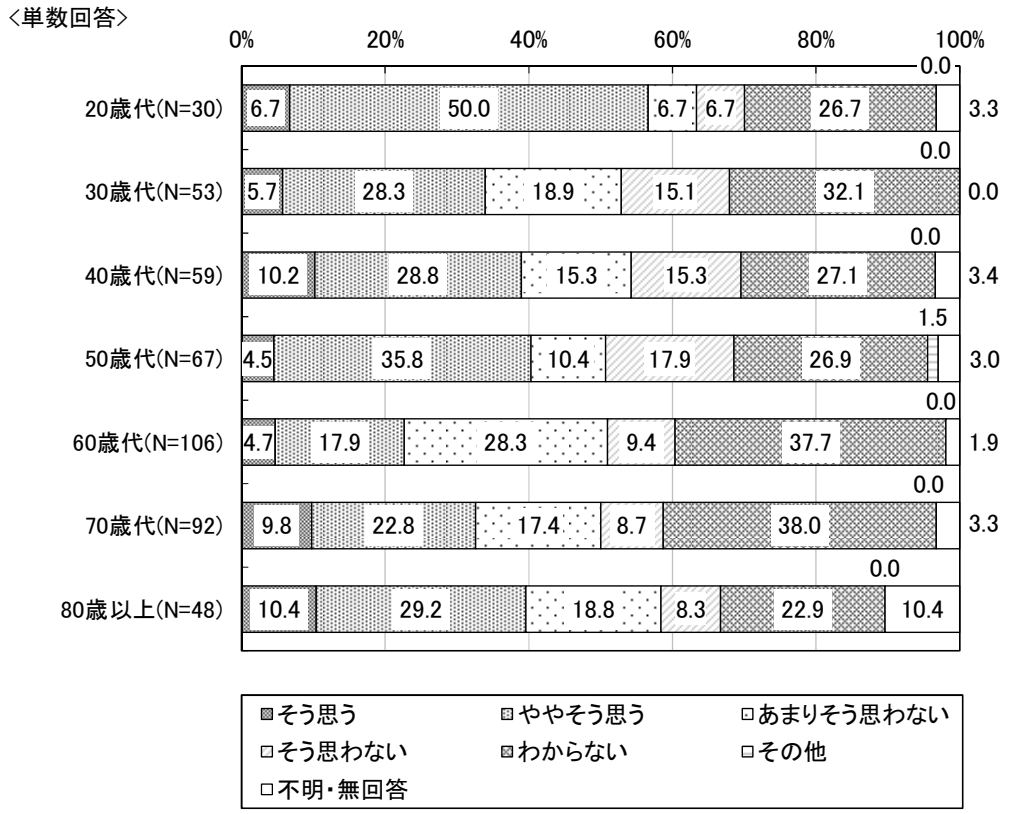
回答はありませんでした。

【性別グラフ】



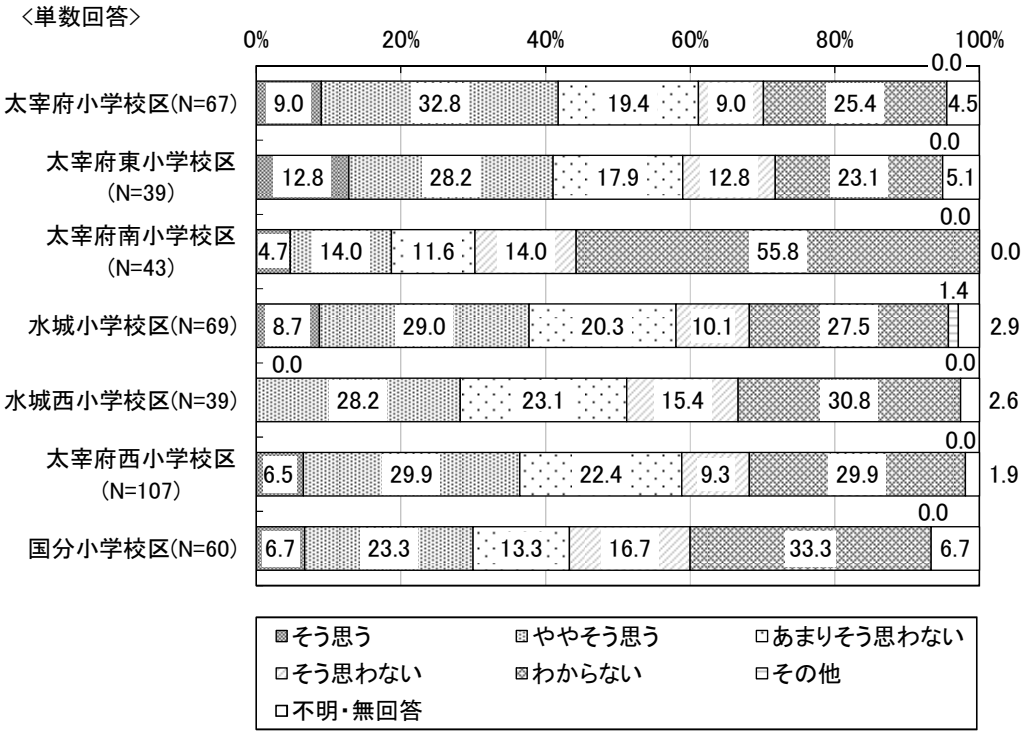

性別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『配慮されていると思う』が、男性で 37.2%、女性で 33.0%と男性が女性を 4.2 ポイント上回っています。

【年代別グラフ】



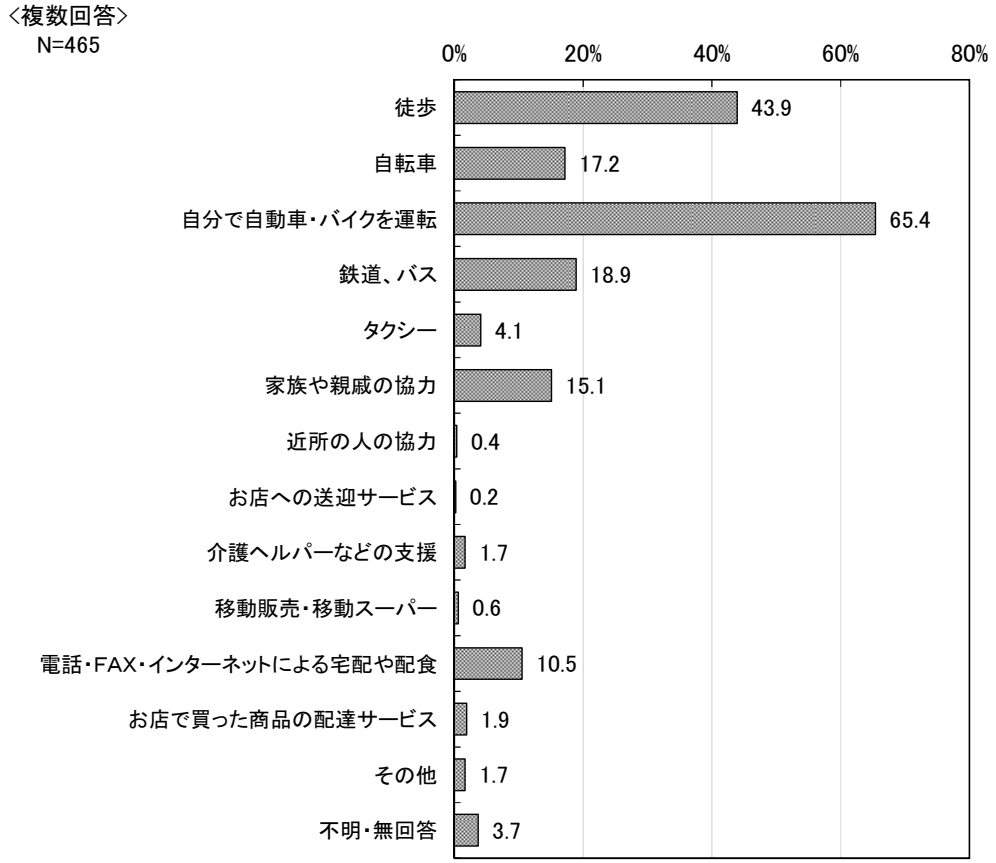

年代別にみると、20 歳代、40 歳代、50 歳代、70 歳代、80 歳以上では「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『配慮されていると思う』が、60 歳代では「あまりそう思わない」と「そう思わない」をあわせた『配慮されていると思わない』の割合が高くなっています。また、30 歳代では『配慮されていると思う』、『配慮されていると思わない』がともに 34.0%と同じ割合となっています。

【小学校区別グラフ】




小学校区別にみると、太宰府小学校区、太宰府東小学校区、水城小学校区、太宰府西小学校区では「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『配慮されていると思う』の割合が高くなっています。一方、太宰府南小学校区、水城西小学校区では「あまりそう思わない」と「そう思わない」をあわせた『配慮されていると思わない』の割合が高く、国分小学校区では『配慮されていると思う』と『配慮されていると思わない』は同じ割合となっています。

## 問 28 あなたはどのような方法で買い物を行っていますか。（○は３つまで）



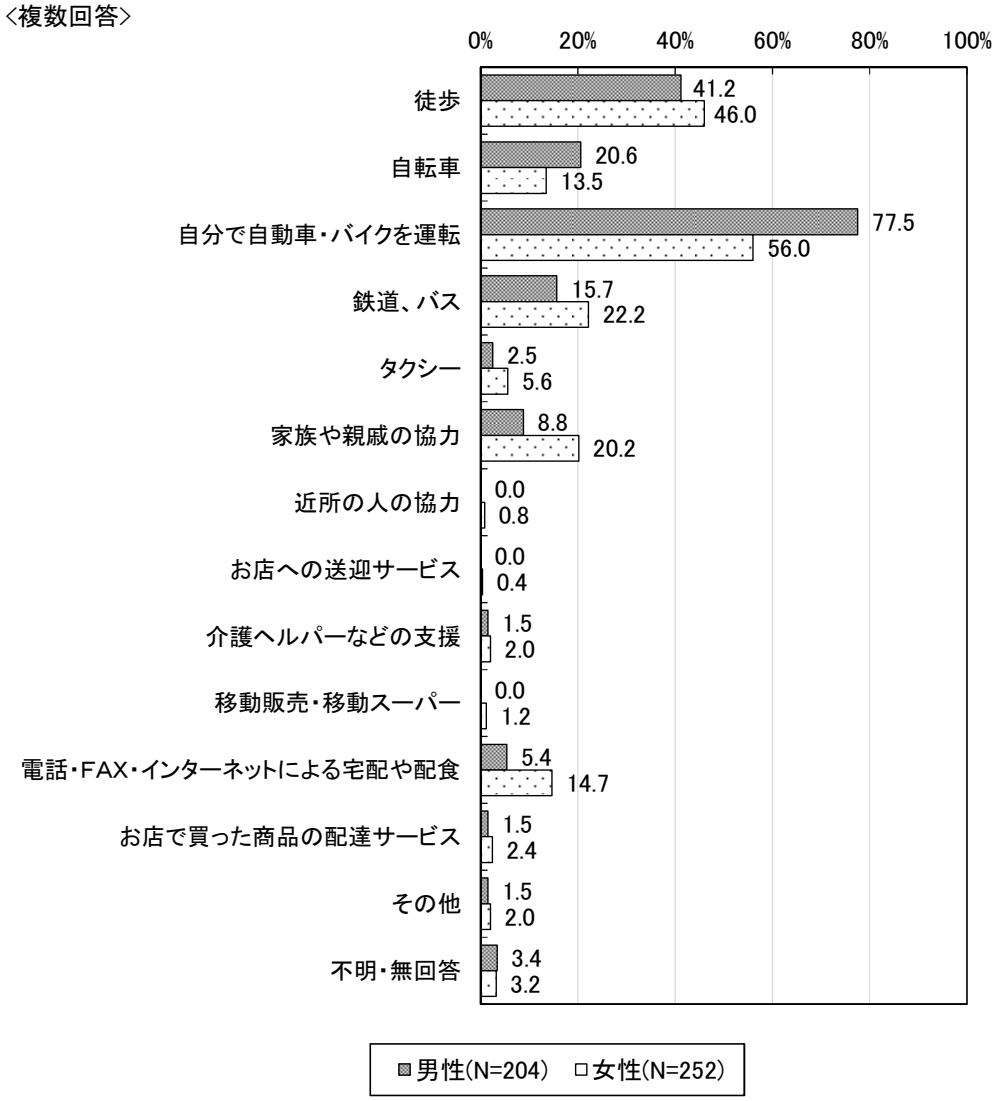

「自分で自動車・バイクを運転」が 65.4%と最も高く、次いで「徒歩」が 43.9%、「鉄道、バス」が 18.9%となっています。

**【その他回答】**

・生活協同組合（３）

・ネット通販

【性別グラフ】




性別にみると、男女ともに「自分で自動車・バイクを運転」の割合が最も高く、男性が 77.5%、女性は 56.0%と男性が女性を 21.5 ポイント上回っています。また、「家族や親戚の協力」では女性が男性を 11.4 ポイント上回っています。

【年齢別表】

単位：%

| 〈複数回答〉 | 徒歩 | 自転車 | 自分で自動車・バイクを運転 | 鉄道、バス | タクシー | 家族や親戚の協力 | 近所の人の協力 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=30) | 70.0 | 43.3 | 46.7 | 33.3 | 0.0 | 13.3 | 0.0 |
| 30 歳代(N=53) | 47.2 | 17.0 | 67.9 | 26.4 | 0.0 | 15.1 | 0.0 |
| 40 歳代(N=59) | 40.7 | 20.3 | 83.1 | 11.9 | 0.0 | 11.9 | 0.0 |
| 50 歳代(N=67) | 41.8 | 13.4 | 76.1 | 14.9 | 3.0 | 3.0 | 0.0 |
| 60 歳代(N=106) | 40.6 | 13.2 | 79.2 | 15.1 | 1.9 | 10.4 | 0.0 |
| 70 歳代(N=92) | 46.7 | 14.1 | 55.4 | 18.5 | 5.4 | 25.0 | 2.2 |
| 80 歳以上(N=48) | 33.3 | 12.5 | 27.1 | 29.2 | 20.8 | 29.2 | 0.0 |

| 〈複数回答〉 | お店への送迎サービス | 介護ヘルパーなどの支援 | 移動販売・移動スーパー | 電話・FAX・インターネットによる宅配や配食 | お店で買った商品の配達サービス | その他 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳代(N=30) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.3 | 0.0 | 0.0 | 6.7 |
| 30 歳代(N=53) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 9.4 | 3.8 | 0.0 | 0.0 |
| 40 歳代(N=59) | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 15.3 | 1.7 | 0.0 | 3.4 |
| 50 歳代(N=67) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 11.9 | 0.0 | 0.0 | 3.0 |
| 60 歳代(N=106) | 0.9 | 0.9 | 0.0 | 9.4 | 0.9 | 2.8 | 1.9 |
| 70 歳代(N=92) | 0.0 | 3.3 | 1.1 | 10.9 | 2.2 | 5.4 | 2.2 |
| 80 歳以上(N=48) | 0.0 | 8.3 | 2.1 | 10.4 | 6.3 | 0.0 | 10.4 |

年代別にみると、20 歳代、80 歳以上では「徒歩」、その他の年代では「自分で自動車・バイクを運転」の割合が高くなっています。

【小学校区別表】

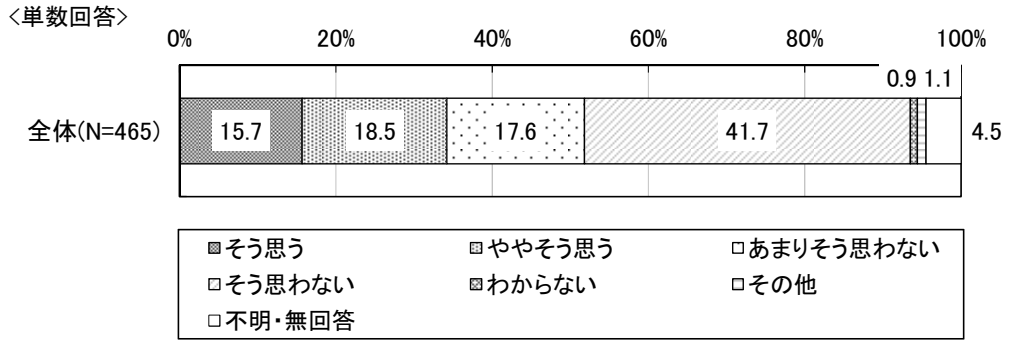
単位：％

| 〈複数回答〉 | 徒歩 | 自転車 | 自分で自動車・バイクを運転 | 鉄道、バス | タクシー | 家族や親戚の協力 | 近所の人の協力 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区(N=67) | 43.3 | 11.9 | 67.2 | 22.4 | 4.5 | 13.4 | 1.5 |
| 太宰府東小学校区(N=39) | 35.9 | 20.5 | 61.5 | 25.6 | 7.7 | 17.9 | 0.0 |
| 太宰府南小学校区(N=43) | 20.9 | 4.7 | 79.1 | 18.6 | 4.7 | 16.3 | 0.0 |
| 水城小学校区(N=69) | 59.4 | 26.1 | 60.9 | 17.4 | 2.9 | 14.5 | 0.0 |
| 水城西小学校区(N=39) | 41.0 | 33.3 | 53.8 | 12.8 | 2.6 | 15.4 | 0.0 |
| 太宰府西小学校区(N=107) | 46.7 | 8.4 | 69.2 | 18.7 | 2.8 | 18.7 | 0.9 |
| 国分小学校区(N=60) | 40.0 | 21.7 | 73.3 | 15.0 | 3.3 | 15.0 | 0.0 |

| 〈複数回答〉 | お店への送迎サービス | 介護ヘルパーなどの支援 | 移動販売・移動スーパー | 電話・FAX・インターネットによる宅配や配食 | お店で買った商品の配達サービス | その他 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 太宰府小学校区(N=67) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 11.9 | 4.5 | 1.5 | 3.0 |
| 太宰府東小学校区(N=39) | 0.0 | 2.6 | 2.6 | 7.7 | 0.0 | 5.1 | 7.7 |
| 太宰府南小学校区(N=43) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.0 | 4.7 | 0.0 | 0.0 |
| 水城小学校区(N=69) | 0.0 | 1.4 | 0.0 | 11.6 | 0.0 | 1.4 | 1.4 |
| 水城西小学校区(N=39) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 7.7 | 0.0 | 2.6 | 5.1 |
| 太宰府西小学校区(N=107) | 0.0 | 0.0 | 0.9 | 14.0 | 1.9 | 0.9 | 1.9 |
| 国分小学校区(N=60) | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 6.7 | 3.3 | 3.3 | 5.0 |

小学校区別にみると、どの小学校区においても「自分で自動車・バイクを運転」の割合が最も高くなっています。

**問 29 あなたは問 28 で○をつけた方法で買い物を行ったうえで、住んでいる場所が買い物に不便だと思いますか。（１つだけ○）**



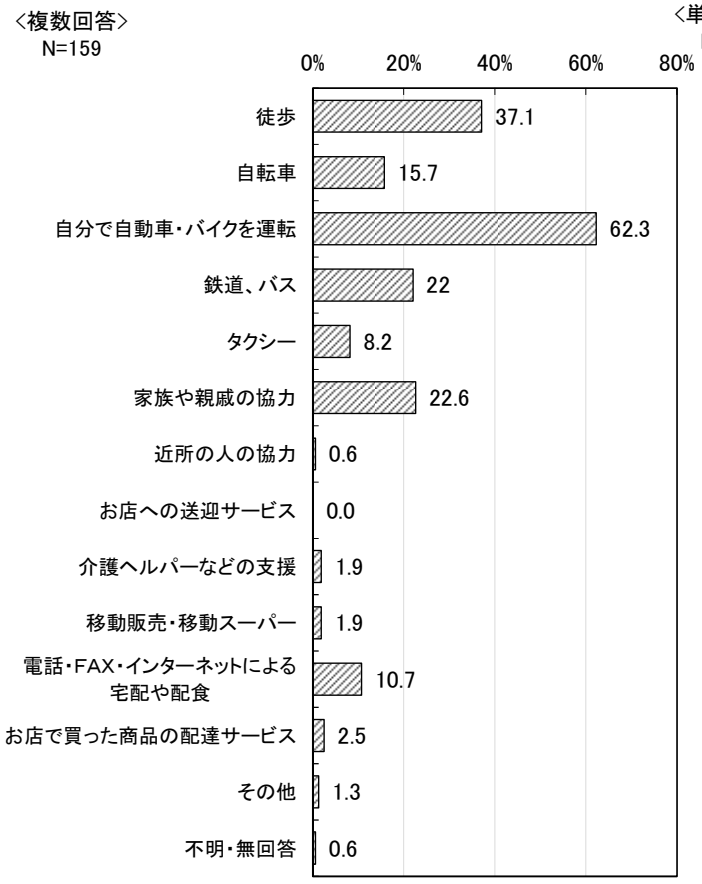

「そう思わない」と「あまりそう思わない」をあわせた『不便だと思わない』が 59.3%と約６割を占めています。また、「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『不便だと思う』が 34.2%となっています。

**【その他回答】**

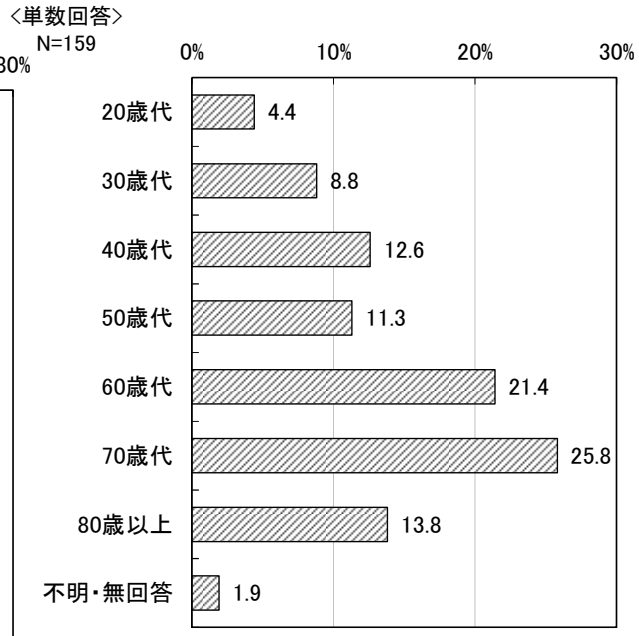
・とても便利だと思う（２）

・今は運転できるので不便と思わないが、将来運転ができなくなると不便だと思う

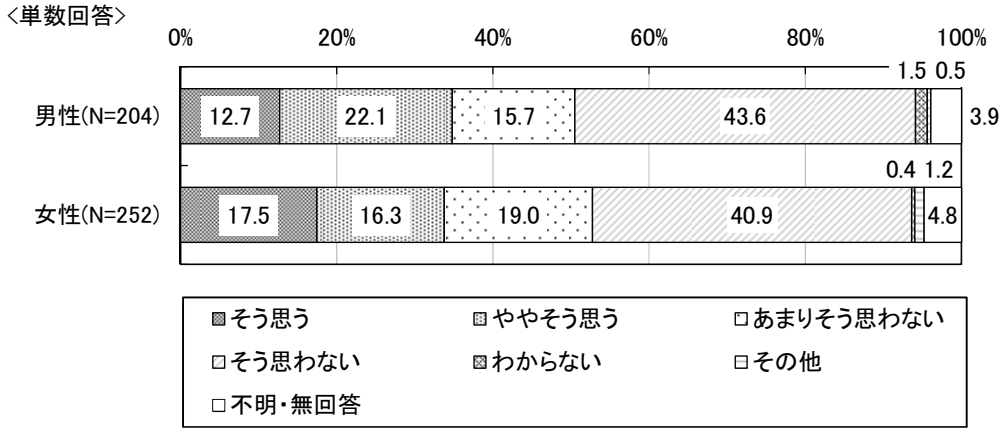
**『不便だと思う』と答えた人の買い物の方法**




**『不便だと思う』と答えた人の年代の内訳**

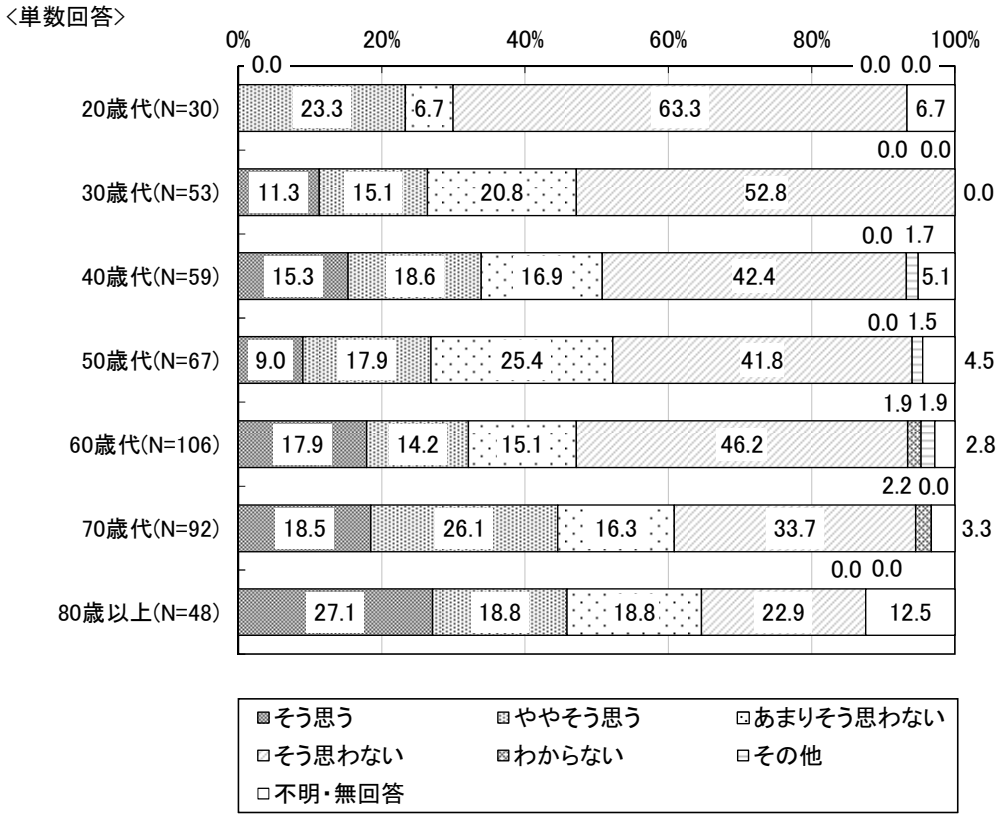


【性別グラフ】



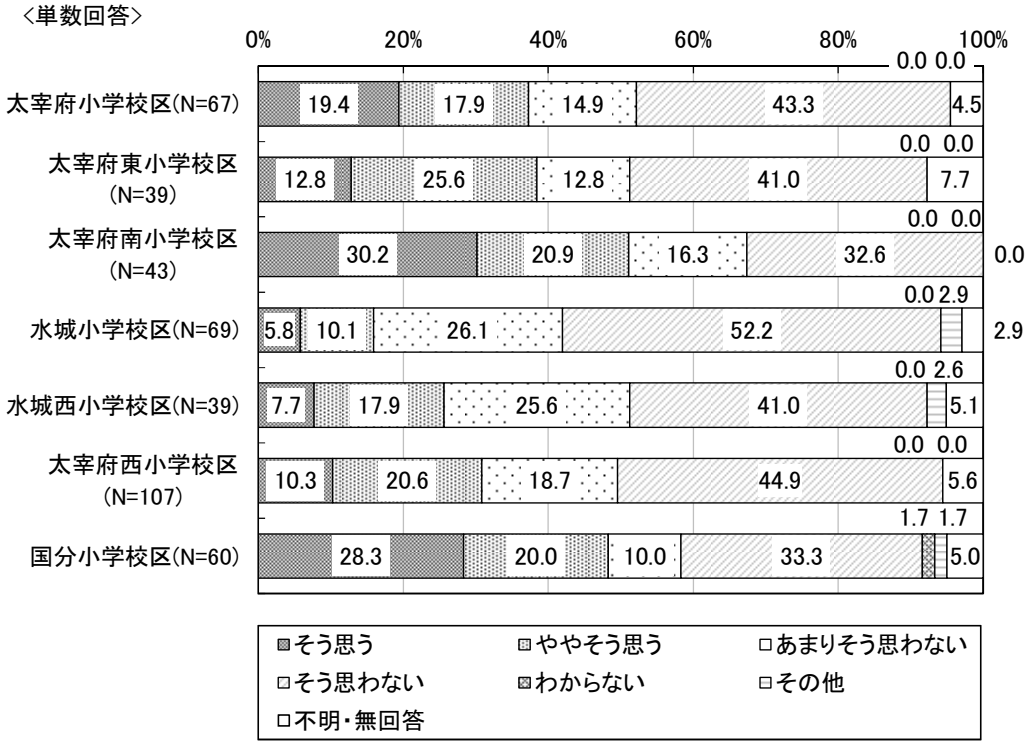

性別にみると、男女ともに「そう思わない」と「あまりそう思わない」をあわせた『不便だと思わない』の割合が最も高く、女性が 59.9%、男性は 59.3%と男女間での大きな差はみられません。

【年代別グラフ】




年代別にみると、20 歳代から 70 歳代では「そう思わない」と「あまりそう思わない」をあわせた『不便だと思わない』が、80 歳以上では「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『不便だと思う』の割合が高くなっています。

【小学校区別グラフ】




小学校区別にみると、太宰府南小学校区、国分小学校区では「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『不便だと思う』の割合が高く、その他の小学校区では「そう思わない」と「あまりそう思わない」をあわせた『不便だと思わない』の割合が高くなっています。とくに水城小学校区では『不便だと思わない』が 78.3%と他の小学校区と比較して高くなっています。

# （附属資料）使用した調査票

# 太宰府市の地域福祉に関する市民アンケート

市民の皆さまにおかれましては、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、太宰府市では、「地域での支え合いと助け合いによる福祉（地域福祉）」の推進を目的とした「第三次太宰府市地域福祉計画」を策定することになりました。この計画は、地域においてさまざまな人たちが協力して提供する福祉サービスの充実や、市民の理解と協力によりすすめていく地域福祉活動について示していくものです。

つきましては、市民の皆さまの「地域福祉」に関するご意見をお聴きし、計画づくりに反映していきたいと考えております。なお、この調査は、市内にお住まいの20歳以上の無作為に選んだ1,000名の方を対象に実施しております。

**お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、皆さまのご意見をお聴かせくださいますようお願い申し上げます。**

平成28年７月

太宰府市長　芦刈　茂

## ご記入にあたってのお願い

- ○ あて名のご本人がお答えください。
- ○ ご本人が記入できない場合は、ご家族などがご本人のお考えや思いを代理でご記入ください。
- ○ 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」の回答については、（　　）内に内容を記入してください。
- ○ 氏名や住所は記入しないでください。
- ○ この調査の結果は、すべて統計的に処理され、個別の内容が公表されることはありませんので、思いのままをお答えいただきますようお願い申し上げます。
- ○ ご記入いただいた調査票は、<u>7月25日（月）</u>までに、同封の返信用封筒に入れて投函してください。その際、切手を貼ったり、差出人の名前を書く必要はありません。

**【調査に関するお問い合わせ先】**

太宰府市市民福祉部福祉課福祉政策係
電話代表：092－921－2121（内線363）／FAX：092－925－0294

**※「地域福祉」とは・・・**

少子高齢化や家族形態の変化にともない、一人ひとりが抱える生活課題も多様化しています。これらに対応するには、個人の努力や行政による福祉サービスだけでは十分でなく、地域でともに暮らす私たち自身が、身近にあるさまざまな福祉課題に目をむけ、地域全体で課題の解決に取り組むことが求められています。

私たち一人ひとりが、地域社会の一員であることを認識し、地域とのつながりを大切にしながらお互いができることを持ち寄ること、それが「地域福祉」の考え方です。

## 1．あなたご自身についておたずねします。

○　あなたの戸籍上の性別は？（１つだけ○）

| | |
|---|---|
| １ 男性 | ２ 女性 |

○　あなたの年齢は、何歳ですか。（１つだけ○）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1．20歳代 | 3．40歳代 | 5．60歳代 | 7．80歳以上 |
| 2．30歳代 | 4．50歳代 | 6．70歳代 | |

○　あなたが住んでいる小学校区はどちらですか。（１つだけ○）

| | | |
|---|---|---|
| １ 太宰府小学校区 | ４ 水城小学校区 | ７ 国分小学校区 |
| ２ 太宰府東小学校区 | ５ 水城西小学校区 | ８ わからない |
| ３ 太宰府南小学校区 | ６ 太宰府西小学校区 | |

○　あなたの主な職業は何ですか。（１つだけ○）

| | | |
|---|---|---|
| １ 会社員、団体職員 | ４ 農業など | ７ パート・アルバイト |
| ２ 公務員 | ５ 学生 | ８ 無職 |
| ３ 自営業（農業などを除く） | ６ 家事専業 | ９ その他（　　） |

○　あなたの家族構成はどのようになっていますか。（１つだけ○）

| | | |
|---|---|---|
| １ ひとり暮らし（単身） | ３ 二世代世帯（親と子） | ５ その他（　　） |
| ２ 夫婦のみ | ４ 三世代世帯（親と子と孫） | |

○　あなたが現在一緒に住んでいるご家族のなかに、つぎのような人（あなた自身も含みます）はいますか。（あてはまるものすべてに○）

| | | |
|---|---|---|
| 1．乳児（１歳未満） | 4．中学生 | 7．介護を必要とする人 |
| 2．幼児（１歳から就学前） | 5．高校生 | 8．障がいのある人 |
| 3．小学生 | 6．65歳以上の人 | 9．いずれもいない |

○　あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。（１つだけ○）

| | | |
|---|---|---|
| 1．1年未満 | 3．5年以上10年未満 | 5．20年以上30年未満 |
| 2．1年以上5年未満 | 4．10年以上20年未満 | 6．30年以上 |

## 2.「福祉」についておたずねします。

問１　あなたは「福祉」に関心をお持ちですか。（１つだけ○）

| | | | |
|---|---|---|---|
| １ とても関心がある | ⇒問１－１へ進む | ３ あまり関心がない | ⇒問２へ進む |
| ２ やや関心がある | ⇒問１－１へ進む | ４ まったく関心がない | ⇒問２へ進む |

問１－１　「福祉」のどのような分野にもっとも関心がありますか。（１つだけ○）

１ 子どもに関する福祉
２ 高齢者に関する福祉
３ 障がいのある人に関する福祉
４ 生活困窮者※に関する福祉
５ その他（　　）

※生活困窮者…「経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある人」

問２　これからの「福祉」のあり方は、どのようであるべきだと思いますか。（１つだけ○）

１ 福祉を必要とする人は、家族や親戚が面倒をみればよい
２ 福祉は、国や市町村といった行政の責任で行うべき
３ 福祉は、行政と住民が協力しながら、地域で支え合うべき
４ その他（　　）

問３　あなたは、住民が福祉について理解を深めるためには、どのような機会が必要だと思いますか。（○は３つまで）

１ 福祉の制度、サービス、理念や考え方などについて学ぶこと
２ 住民が地域の福祉についての課題を話し合える場をつくること
３ 子どもへの虐待など、近年クローズアップされている福祉問題について学ぶこと
４ 母子保健や子育ての方法などについて学ぶこと
５ 介護体験や介護を必要とする人の疑似体験など、体験学習をすること
６ 介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること
７ 手話や点字、介護方法などの技術を習得すること
８ その他（　　）
９ 特に必要なことはない

## ３．地域での生活についておたずねします。

問４　あなたは、これからも現在住んでいるところに住み続けたいと思いますか。

（１つだけ○）

１　住み続けたい　　２　住み続けたくない　　３　どちらともいえない

問４－１へ進む　　問４－２へ進む　　問５へ進む

問４－１　どのような点で住み続けたいと思いますか。（○は３つまで）

１　自分の土地や家があるから
２　近くに家族、親族がいるから
３　近くに友人、知人がいるから
４　近所づきあいがよいから
５　買い物や交通の便がよいから
６　働く場（職場）があるから
７　子育てや教育環境が整っているから
８　福祉・医療などのサービスが整っているから
９　気候・風土・自然環境が気に入っているから
10　文化・スポーツなどの環境が整っているから
11　その他（　　）

問４－２　どのような点で住み続けたくないと思いますか。（○は３つまで）

１　地域の慣習・文化になじめないから
２　近所づきあいがよくないから
３　買い物や交通の便が悪いから
４　働く場所がないから
５　子育てや教育環境が整っていないから
６　福祉・医療などのサービスが整っていないから
７　気候・風土・自然環境が気に入らないから
８　文化・スポーツなどの環境が整っていないから
９　楽しめる場所がないから
10　その他（　　）

問５　あなたは、普段近所の人とどの程度のつきあいをされていますか。（１つだけ○）

１　親しくおつきあいしているお宅がある
２　たまに立ち話をする程度
３　会えばあいさつはするが、それ以上の話はしない
４　つきあいがほとんどない

問６へ進む

問５－１へ進む

問５－１　つきあいがほとんどないのはなぜですか。（１つだけ○）

１　あまり知らないから
２　かかわる機会や時間がないから
３　家族にまかせているから
４　特に必要を感じないから
５　わずらわしいから
６　時間を割くのが惜しいから
７　人とのつきあいが苦手だから
８　どうしたらよいかわからないから
９　その他（　　）

問６　毎日の暮らしのなかでのあなたの困りごとはどのようなことですか。また、それについて支援は必要ですか。（①～⑬それぞれ、Ａ、Ｂの項目ごとに１つだけ○）

| | A | | B | |
|---|---|---|---|---|
| | 困っている | 困っていない | 支援が必要 | 支援は必要ない |
| 記入例⇒ | ① | 2 | 1 | ② |
| ① 買い物や通院などの外出が不便 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ② 力仕事（家具の移動など）ができない | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ③ 家事労働（炊事、洗濯など）がきつい | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ④ 庭・畑仕事（草取りなど）ができない | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑤ 機械類・電化製品の使い方や修理方法がわからない | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑥ 話し相手、遊び相手、相談相手が少ない | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑦ ごみ出しが困難 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑧ 近所づきあいがうまくいかない | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑨ 運動する場所や機会の不足 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑩ 生涯学習などの場所や機会の不足 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑪ 生活費の不足 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑫ 経済的な理由や多忙により食事の準備が十分にできない | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑬ その他（　　） | 1 | 2 | 1 | 2 |

問７　日々の暮らしのなかで困りごとを抱える人から助けを求められた時、あなた自身はどう対応したいと思いますか。（１つだけ○）

１　積極的に対応したい
２　できるだけ対応したい
　　→ 問８へ進む
３　対応したいができれば避けたい
４　かかわりたくないので何もしない
５　その他（　　）

→ 問７－１へ進む

問７－１　そのように考えるのはどのような理由からですか。（１つだけ○）

１　対応したいが忙しいから
２　対応したいが家族が反対するから
３　対応の方法がわからず不安だから
４　人とのかかわりが苦手だから
５　時間を割くのが惜しいから
６　他人の問題で自分には関係ないから
７　興味関心がないから
８　その他（　　）

問８　あなたやご家族に助けが必要になった時、地域の人たちにどのような支援をしてほしいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

１　安否確認の声かけ
２　心配ごとなどの相談相手
３　子どもの短時間の預かり
４　買い物の手伝い
５　通院の手伝い
６　家事の手伝い
７　外出の手伝い
８　家具の移動などの力仕事
９　草取りなどの庭・畑仕事
10　電球の交換や電化製品の簡単な修理
11　ごみ出しの手伝い
12　急病になった時の家族や親戚への連絡
13　急病になった時の看病
14　介護を必要とする人の短時間の預かり
15　災害時の手助け
16　日常的な話し相手
17　生活費の援助
18　食材や食事の提供
19　その他（　　）
20　特にない

問９　地域での人と人とのかかわりについて、あなたのお考えに近いものをお選びください。（１つだけ○）

１　地域をよくする活動をみんなで協力し合って行いたい
２　隣近所の人とのつきあいは大切にしたい
３　地域の人や隣近所の人とはかかわりを持ちたくない
４　他人の協力は期待していない（自分のことは自分でする）
５　興味関心がない
６　その他（　　）

問10 地震や台風などの災害時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。

（○は３つまで）

1 自分や同居する家族の避難方法の確認
2 災害時の緊急の連絡方法を家族や知り合い同士で話しておくこと
3 日ごろからの隣近所とのあいさつ、声かけやつきあい
4 災害対策の学習会の開催
5 地域での避難訓練の実施
6 危険箇所の把握
7 地域における支援団体の組織づくり
8 避難の際に手助けが必要な人の把握
9 避難の際に手助けが必要な人に対する情報伝達の体制づくり
10 避難の際に手助けが必要な人を支援する人たちの把握
11 その他（　　）
12 特にない

問11 あなたがお住まいの地域の出来事として、家族などによる虐待について耳にしたことがありますか。（１つだけ○）

1 聞いたことがある　　2 聞いたことがない

問12 あなたがお住まいの地域の出来事として、夫婦間の暴力について耳にしたことがありますか。（１つだけ○）

1 聞いたことがある　　2 聞いたことがない

問13 もしあなたの周囲で、虐待が発生しているとあなた自身が思われたら、最初にどのように対応しますか。（１つだけ○）

1 近隣の人に連絡する
2 自治会の役員に連絡する
3 民生委員・児童委員に連絡する
4 市役所へ連絡する
5 警察へ連絡する
6 学校へ連絡する
7 直接自分で様子をみるため訪問する
8 かかわりたくないので何もしない
9 その他（　　）

問14 認知症と思われる人がまちのなかで戸惑っている様子を見かけた時、あなた自身はどのように対応したいと思いますか。（１つだけ○）

1 積極的に声かけしたい
2 できるだけ声かけしたい
3 声かけしたいができれば避けたい
4 かかわりたくないので何もしない
5 その他（　　）

問15へ進む

問14-１へ進む

問14-１ そのように考えるのはどのような理由からですか。（１つだけ○）

1 対応の方法がわからないから
2 人とのかかわりが苦手だから
3 時間を割くのが惜しいから
4 他人の問題で自分には関係ないから
5 興味関心がないから
6 その他（　　）

問15 あなたの身近なところで、困っている人がいた場合、あなた自身はどのような支援ができると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1 安否確認の声かけ
2 心配ごとなどの相談相手
3 子どもの短時間の預かり
4 買い物の手伝い
5 通院の手伝い
6 家事の手伝い
7 外出の手伝い
8 家具の移動などの力仕事
9 草取りなどの庭・畑仕事
10 電球の交換や電化製品の簡単な修理
11 ごみ出しの手伝い
12 急病になった時の家族や親戚への連絡
13 急病になった時の看病
14 介護を必要とする人の短時間の預かり
15 災害時の手助け
16 日常的な話し相手
17 生活費の援助
18 食材や食事の提供
19 その他（　　）
20 特にない

## ４．地域活動やボランティア活動についておたずねします。

問16 あなたは現在、自治会や子ども会、長寿クラブ（老人クラブ）の活動など、地域活動をしていますか。（１つだけ○）

１ 現在活動している
２ 過去に活動したことがあるが、現在は活動していない
３ 活動したことがない

問16-1 へ進む

問16-3 へ進む

問16-1 どんな活動をしていますか。

（あてはまるものすべてに○）

１ 校区自治協議会の活動
２ 自治会の活動
３ 子ども会・ＰＴＡの活動
４ 長寿クラブ（老人クラブ）の活動
５ 消防団の活動
６ その他（　　）

問16-2 どのような目的で活動していますか。

（１つだけ○）

１ 地域での支え合い
２ 隣近所とのふれあいを求めて
３ 自分自身の勉強や意識の向上
４ 役回りなどで仕方なく
５ ただなんとなく
６ その他（　　）

問16-3 現在活動していない理由は何ですか。

（１つだけ○）

１ 勤務などの都合で機会がない
２ 引越して間もない
３ 活動の方法がわからない
４ 時間がない
５ 興味がない
６ 活動内容が大変だから
７ 体調がすぐれない
８ 知り合いがいない
９ いやな思いをしたくない
10 役が回ってこない
11 家の人が気にする
12 自信がない
13 自治会に入っていない
14 その他（　　）

問17 あなたは、問16のような地域での活動以外に、個人的にボランティア活動に参加したことがありますか。（１つだけ○）

１ 現在参加している
２ 以前に参加したことがあるが、現在参加していない
３ まったく参加したことはないが、今後参加したい
４ まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない
５ その他（　　）

問18 あなたは、今後、次のような福祉にかかわる地域活動やボランティア活動などに参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1 児童福祉・子育て支援（子育て相談や子育てサークル支援　など）
2 高齢者福祉（声かけ・見守り活動、ごみ出しなどの生活支援、サロンの支援　など）
3 障がい福祉（手話や音読・点字訳、外出支援、施設訪問　など）
4 青少年健全育成（登下校時の子どもの見守り、子ども会などへの協力　など）
5 健康づくり（健康運動教室等の運営協力　など）
6 防災・防犯（地域防災・防犯活動　など）
7 その他（　　）
8 参加したくない　　問19へ進む

問18-1へ進む

問18-1 参加したくないのはなぜですか。（１つだけ○）

1 福祉活動に関心がないから
2 時間的に余裕がないから
3 気恥ずかしいから
4 活動に関する情報がないから
5 一緒に参加する仲間がいないから
6 参加するきっかけがないから
7 家族の理解が得られないから
8 活動に活かせるものがないから
9 健康上の理由で難しいから
10 その他（　　）

問19 今後、地域における支え合いや助け合いの活動を活発にしていくことが大切になってきます。そのためには、どのようなことが重要だと思いますか。（○は3つまで）

1 地域における福祉活動の意義と重要性をもっとＰＲする
2 地域でボランティアなどの活動拠点となる場所を整備する
3 地域における福祉活動の活動費や運営費などの資金的な援助を行う
4 地域における福祉活動の担い手づくりをすすめる
5 福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る
6 困っている人と支援できる人をつなぐ人材を育成する
7 地域における福祉活動に関する情報を得やすくする
8 地域における福祉活動に住民の参加を促す取り組みをすすめる
9 学校教育や社会教育での福祉教育を充実する
10 その他（　　）
11 特にない

## 5．福祉サービスについておたずねします。

問20 あなたは、現在、「福祉サービス」に関する情報について、誰から、どんな媒体から、どこの施設から入手していますか。

【誰から？】（○は２つまで）

| | |
|---|---|
| １ 民生委員・児童委員 | ６ 職場などの同僚 |
| ２ ケアマネジャーやホームヘルパー | ７ 情報を得る方法がわからない |
| ３ 家族や親戚 | ８ 情報を得る必要がない |
| ４ 近所の人 | ９ その他（　　） |
| ５ 友人・知人 | |

【どんな媒体から？】（○は２つまで）

| | |
|---|---|
| １ 自治会の回覧板 | ６ インターネット |
| ２ 広報ざいふ | ７ 情報を得る方法がわからない |
| ３ 社協だより（ふくしのひろば） | ８ 情報を得る必要がない |
| ４ 窓口などにあるチラシ・パンフレット | ９ その他（　　） |
| ５ 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ | |

【どこの施設から？】（○は２つまで）

| | |
|---|---|
| １ 市役所 | ８ 地域の公民館 |
| ２ 社会福祉協議会 | ９ プラム・カルコア太宰府（中央公民館） |
| ３ いきいき情報センター | 10 市民図書館 |
| ４ 保健センター | 11 病院や施設 |
| ５ 地域包括支援センター | 12 保育所（園）、幼稚園、小中学校 |
| ６ 子育て支援センター | 13 情報を得る方法がわからない |
| ７ 地域活動支援センター | 14 情報を得る必要がない |
| （あす・ラック工房、つくしぴあ） | 15 その他（　　） |

問21 あなた自身やご家族が、生活上の困りごとを抱えた時、家族以外で、どこ（誰）に相談しますか。（○は3つまで）

1 市役所などの行政機関
2 社会福祉協議会
3 民生委員・児童委員
4 自治会の役員
5 ケアマネジャーやホームヘルパー
6 保育所（園）、幼稚園、小中学校
7 病院や施設
8 福祉活動を行っている民間団体
9 近所の人
10 友人・知人
11 職場などの同僚
12 相談するところがない
13 相談はしない
14 その他（　　）

問22 福祉サービス利用者が、自分に最適な福祉サービスを選び、安心して利用するため、市役所ではどのようなことに取り組む必要があると思いますか。（○は3つまで）

1 福祉サービスに関する情報提供を充実する
2 福祉サービス選択についての相談対応を充実する
3 福祉サービス事業者への苦情やトラブル解決の支援体制を整える
4 福祉サービスの内容を評価するしくみを整える
5 相談窓口職員の知識、接遇の向上
6 行政や福祉サービス事業者の情報公開をすすめる
7 住民が福祉に関する法律や制度などを学習できる機会を増やす
8 福祉サービス利用者の権利を守るしくみを整える
9 その他（　　）
10 特にない

問23 住民が住み慣れた地域で、安心して暮らしていくためには、どのような福祉のあり方が大切だと思いますか。（○は３つまで）

1 ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実
2 特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実
3 身近なところでの相談窓口の充実
4 専門性の高い相談支援の充実
5 福祉や介護、子育てのサービスに関する情報提供の充実
6 手当など、個人や家族に対する金銭的な援助の充実
7 施設や交通機関などにおけるバリアフリーの推進
8 個人の自立を支援するサービスの充実
9 地域活動や地域福祉活動への公的な援助の充実
10 地域活動や地域福祉活動を担う人材の育成
11 気軽に集まれる場の充実
12 健康づくりや生きがいづくりの推進
13 住民がともに支え合い、助け合える地域づくりの推進
14 福祉教育の充実
15 その他（　　）
16 特にない

問24 私たち一人ひとりが安心して地域のなかで暮らしていくために、市民のひとりとして、あなたができることはどんなことがあると思いますか。（１つだけ○）

1 地域活動や地域福祉活動に積極的に参加する
2 できるだけ地域での出来事に関心を持つ
3 学校での行事など、家族に関係ある範囲内の活動には参加する
4 まずは家庭内の問題（コミュニケーション不足など）を解決する
5 その他（　　）
6 特にない

問25 あなたは日ごろの生活のなかで、障がいのある人への配慮がなされている、または、なされていない（差別がある）と感じたことがありますか。（１つだけ○）

１ 一定の配慮はなされていると思う
２ どちらかといえば配慮がなされていると思うが、まだ不十分だと思う
３ どちらかといえば配慮がなされていないと思う
４ ほとんど配慮がなされていないと思う
５ わからない
６ その他（　　）

問26 あなたは市内の公共施設（市役所など）が高齢者や障がいのある人などに配慮されていると思いますか。（１つだけ○）

１ そう思う
２ ややそう思う
３ あまりそう思わない
４ そう思わない
５ わからない
６ その他（　　）

問27 あなたは市内の民間施設が高齢者や障がいのある人などに配慮されていると思いますか。（１つだけ○）

１ そう思う
２ ややそう思う
３ あまりそう思わない
４ そう思わない
５ わからない
６ その他（　　）

問28 あなたはどのような方法で買い物を行っていますか。（○は３つまで）

１ 徒歩
２ 自転車
３ 自分で自動車・バイクを運転
４ 鉄道、バス
５ タクシー
６ 家族や親戚の協力
７ 近所の人の協力
８ お店への送迎サービス
９ 介護ヘルパーなどの支援
10 移動販売・移動スーパー
11 電話・ＦＡＸ・インターネットによる宅配や配食
12 お店で買った商品の配達サービス
13 その他（　　）

問29 あなたは問28で○をつけた方法で買い物を行ったうえで、住んでいる場所が買い物に不便だと思いますか。（１つだけ○）

| | |
|---|---|
| １ そう思う | ４ そう思わない |
| ２ ややそう思う | ５ わからない |
| ３ あまりそう思わない | ６ その他（　　） |

○ 地域と行政が共に支えあい、すべての人が地域社会で安心して暮らすことができる「ここに住んでよかった。住み続けたい。」と思える「福祉のまちづくり」を進めていくため、太宰府市に対するご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

太宰府市の地域福祉に関する
市民アンケート
結果報告書

発行年月日/平成 28 年 10 月
編集・発行 /太宰府市 市民福祉部 福祉課
〒818-0198
福岡県太宰府市観世音寺一丁目 1 番 1 号
TEL 092-921-2121
FAX 092-925-0294